

第七十九回帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第七回

會議

昭和十七年一月三十日(金曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 信房君

理事岩瀨 亮君 理事古田喜三太君

理事濱地 文平君 理事森田重次郎君

理事森 幸太郎君 理事前川 正一君

理事松本治一郎君

石井徳久次君 小串 清一君

岡田喜久治君 川島正次郎君

北 勝太郎君 北原阿智之助君

坂下仙一郎君 高田 耘平君

坪山 徳彌君 東郷 實君

西川 貞一君 服部 崎市君

松浦周太郎君 松田喜三郎君

村上 國吉君 山田 六郎君

山川頼三郎君 吉田 賢一君

林 讓治君 淺沼稻次郎君

野溝 勝君 平野 力三君

田代 正治君 土屋清三郎君

富吉 榮二君

同日委員由谷義治君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ土屋清三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 湯澤三千男君

農林地方局長 成田 一郎君

農林次官 三浦 一雄君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省水產局長 平岡 梓君

農林省食品局長 辻 謹吾君

農林省資材部長 岡本 直人君

農林書記官 笹山茂太郎君

食糧管理局長 湯河 元威君

商工省纖維局長 梶原 茂嘉君

樺太廳長官 小川 正儀君

厚生省生活局長 川村 秀文君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員大島 寅吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

木炭需給調節特別會計法中改正法律案

補足ニ關スル法律案(政府提出)

食糧管理法案(政府提出)

○濱地委員長代理 是ヨリ委員會ヲ開キマ
ス、順位ノ質問者ガ居リマセヌカラ、便宜

坪山君ニ質問ヲ許シマス

○北(勝)委員 一寸議事進行ニ付テ――委
員會モ終末ニ近イノデスガ、先日御願ヒシテ置

キマシタ衣料切符ノ問題ニ付テ、商工省ト

御交渉ノ上御答辯ヲ願フコトニナツテ居リ

マシタガ、ドウカ成ベク早く此ノ委員會中

ニ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○湯河政府委員 能ク關係ノ當局ト御相談
致シマシテ御返事申上ゲルヤウニ致シマス

○濱地委員長代理 坪山君

○坪山委員 簡單ニ御尋ネ致シタイト思ヒ
マス、此ノ食糧營團ガ出來マシタ結果、謂

ハバ本法施行ノ結果失業者ガ相當出來ヨウ

ト思ヒマスガ、其ノ率デモ結構デスガ、大

體下ノ程度位失業スルモノデアルト云フ其

ノ人數ノ御發表ヲ願ヒタイ、ソレカラ從來

使用シタ工場或ハ機械機具等、是等モ相當

整理サレル御積リデスカ、ソレ等モ相當不

必要ナモノガアラウト思ヒマスガ、ソレ等

ノ點ニ付テ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○湯河政府委員 食糧營團ノ成立ニ伴ヒマ
シテ、從來ノ配給業者ニ轉失業ノ問題ガ起

ルト云フコトハ豫想致シテ居リマスガ、之
ニ付キマシテハ私ノ方ト致シマシテハ意識

的ニドレダケ減ラスノダト云フヤウナ考ヘ

デ計畫的ニヤツテ參ルト云フコトデハナク、

實ハ此ノ一兩年既ニ各地方デソレノ企業

合同ナリ統制共販ナリガ進行シテ居リマス

ノデ、是ハ大體吾々ノ方ト致シマシテモ地

方廳當局ト能ク御相談ヲ致シマシテ、實情

ニ適スルヤウニ措置ヲ執ツテ來タ積リデアリ

マス、今後ト雖モ決シテ或ル目途ヲ立テテ

ソコマデ整理スレバ宜イト云フ問題デナク、

此ノ配給徑路ノ合理化ト云フコトニ付キマ

シテハ出來ルダケヤツテ參ル積リデゴザイ

マス、具體的ニ一々ノ場合ニソレノ處

置ヲ執リマスルヤウニ、例ヘバ更生金庫ノ

當局ト御相談致シマシタリ、或ハ農林省ノ

方ニ於キマシテモ中小工業者ノ轉失業ノ助

成ノ施設モ持ツテ居リマスノデ、是等ヲ十

分活用致シマシテ、落チノナイヤウニシテ

參リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ一番初メ

ニ申上ゲマシタヤウニ、此ノ營團ニ吸收サ

レマシテ、又營團ニ依ツテ働クコトノ出來

ル人達ノ所謂共助施設ヲ能ク指導致シマシ

テ、此ノ營團ノ設立ノ際ニ失業狀態ニ陷ツ

タ人達ヲ彼等自身ノ間デ共済シ合フト云フ

付託議案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五號)

木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第一三號)

食糧管理法案(政府提出)(第三九號)

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)(貴族院送付)(第七五號)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(關虎臨獸醫藥禁止ニ關スル件)(政府提出)(貴族院送付)(第七六號)

風ナ施設モ講ゼシメタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ失業ガドノ位現ハレルデアラウカ、或ハ設備ガドノ位過剰ニナルダラウカト云フコトハ、一寸申上ゲニクイノデアリマス

○坪山委員 米穀ハ國營検査ニナリマス結果、從來地方費ヲ以テ、例ヘバ縣費其ノ他手數料等ヲ以テヤツテ居リマシタガ、今度國營ニナリマス結果、地方費ハ餘程輕減サレルモノト考ヘテ宜ウゴザイマスカ

○湯河政府委員 其ノ點ハ吾々ノ考ヘハ、地方費負擔ヲ輕減サセナイ積リデゴザイマス、無論國費ヲ以テマシテ検査職員ヲ設置致シマスカラ、其ノ部分ハ地方費ノ負擔ハ減ルコトニモナリマスガ、一方手數料ノ收入ヲ國ニ納メルコトニナリマスノデ、地方廳ト致シマシテハ其ノ點ニ於キマシテハ得ル所アリ失フ所アリ、斯ウ云フコトニナリマス、尙ホ此ノ米麥ノ検査ニ付キマシテハ、其ノ差引ニ加ヘマシテ相當ノ金額ヲ國費ヨリ出ス考ヘテ持ツテ居リマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ從來ノ検査ノ費用ガ寧ロ「ブラス」サレルコトニナリマス、ソレカラ此ノ間申上ゲマシタヤウニ、米麥以外ノ検査ニ付キマシテハ、是ハ從來通り地方費ニ於キマシテ負擔ヲ致シ、又手數料收入ハ地方經濟ニ收入スルト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデゴザイマス、地方廳ニ對シマシテハ検査ノ費用、検査設備ヲ米麥ニ付キマシテハ國デ持チ、更ニ從來ヨリ其ノ點金額ヲ増スヤウニスルケレドモ、地方廳ニ於テ之ヲ目當ニシテ從來ノ地方機關ヲ減ラシテ其ノ金ヲ外ニ廻ハスト云フ風ナコトハ嚴ニ止メテ貰ヒタイ、詰リ中央地方協力シテ國家管理ヲヤツテ貰ヒタイト云フコトデ、地方廳ヲ指導

シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○坪山委員 勿論米穀ノ検査ニ付キマシテハ、貯藏トカ、運搬、或ハ搬出、俵裝等ノコトニ付テハ十分考慮ニ入レネバナリマセヌケレドモ、ドウカ非常ニ農村モ努力ノ不足ヲ來シテ居ル場合デアリマスカラ、成ベク生産者ノ手數ノ掛ラスヤウニ是非御配慮ヲ願ヒタイと思フノデスガ、サウ云フ點ニ付キマシテノ政府ノ御考ヘテ伺ヒタイ

○湯河政府委員 其ノ點ハ坪山サンノ御考ヘ御尤モダト存ズルノデアリマス、從來検査ノヤリ方ガ往々ニシテ商人ノ要求等ヲ相當ニ考ヘマシテ、實ハ必要以上ニ手ノ込シタ部分ガアツタカト存ジマス、國家管理ニナリマシテカラ、米麥等ハ國民經濟的ニ見テ必要ナ性質ヲ備ヘテ居レバ宜イノデアリマスカラ、サウ從來ノヤウニ喧シイコトヲ色々申ス必要ハナカラウト思ヒマスガ、併シ一方ニ於キマシテ國家管理ニナル米麥デゴザイマスカラ、必要ナ所ハ嚴重ニ検査スル積リデゴザイマス、不必要ニ從來ノ複雑ナ手間ハ出來ルダケ省キタイト考ヘテ居リマス、色々ノ検査ノ規格等ハ今後中央ニ於キマシテ地方ヲ指導シテ、出來ルダケ改善シテ御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト考ヘマス

○坪山委員 過般來馬事團體ノ統合問題ニ付キマシテ、總動員法ニ依リマシテ馬事團體ガ統合セラレマシテ相當強力ナ統制ガ行ハレ、其ノ爲ニ移動ト云フヤウナ問題モ統制サレルト思フノデアリマスガ、一方ニ於テハ町村農會關係デヤハリ役畜ノ移動等ニ付キマシテハ或ル點ノ統制ヲ行フ、一方ハサウ云フ農會、一方ハ馬事團體、ソレガ時ニ依ツテ衝突ヲ來スヤウナ虞ガ實際問題ト

シテアルノデハナイカト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテノ御考ヘハ如何デゴザイマスカ

○岸政府委員 馬事團體ノ馬ノ移動統制ト、ソレカラ生産統制令ニ基ク農會ノ役畜ノ移動統制トノ關係ハ、勿論御指摘ノヤウナ懸念ガアリマスノデ、ソレ等ニ付テハ十分連絡ヲ執ルヤウニ機會ヲ捉ヘテ指示シテ居リマス、此ノ間ノ農會ノ集リニ於キマシテモ其ノ點ヲ注意シテ置キマシタ

○坪山委員 次ニハ薪炭ノ問題デ御尋ネ致シタイと思ヒマスガ、食糧ト同様、ヤハリ國民ノ生活上必要ナノハ薪炭デアリマス、寧ロ食糧問題ヨリモ至難ナ問題デナカラウカト思ヒマス、正確ナ數字ハ或ハ御示シガ困難カト思ヒマスケレドモ、内地、外地ヲ含シテ結構ダト思ヒマスガ、日本ニ於テ現在薪炭用材ハ大體ドレ位ノ材積ガアルノデゴザイマセウカ、更ニ又一箇年ドレ位ノ材積ヲ薪炭用材トシテ使用出來ルカ、更ニ又一箇年ドレ位成長スル材積ヲ持ツテ居ルカ、大體ノ所ヲ御示シ願ヒタイと思ヒマス

○岡本政府委員 只今御尋ネノ、大體我が國ノ薪炭資源ガドレ位アルカト云フ點デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ外地方面ハ私共ニ於テ餘リ内容ヲ詳カニ致シテ居リマセスガ、大體木炭、薪炭材等ニ最モ多ク消費致シ、又生産致シテ居リマスノハ、何ト申シマシテモ北海道ヲ含ム内地デアリマス、此ノ森林蓄積中ノ薪炭資源ガドレ位アルカト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ算定ガ困難デアリマスガ、御承知ノヤウニ大體薪炭ノ主ナルモノハ潤葉樹デアリマスカラ、ソコデ是等ノ區域内ニ於キマス潤葉樹ノ蓄積ヲ以テ大體之ヲ計ル尺度ト致シテ居ル譯

デアリマス、ソレガ現在大體三十五億石ト云フコトニ推定サレテ居ル譯デアリマス、之ニ對シマシテ最近ノ薪炭材トシテノ伐採量、其ノ中ニハ木炭トシテソレガ生産サレ、或ハ薪トシテ生産サレルモノヲ含メマシテ、年ニ約一億二千七百萬石程度ヲ使ツテ居ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、唯御承知ノヤウニ兩三年來殊ニ木炭ノ需要ガ増加致シマシテ、過般御手許ヘ御配リ申上ゲデアリマス木炭ノ昭和十年頃カラノ生産消費量ノ資料デ御覽戴イテ御分リ戴ケルコトト思ツテ居リマスガ、最近相當増シテ居リマス、ソレ等ノ増伐量ヲ大體加ヘマシテ、昭和十六年度ニ於キマス薪炭ノ生産豫定數量ヲ私共トシテハ一億五千萬石程度、斯様ニ抑ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ最後ノ御尋ネノ成長量、是ハ中々難カシイ問題デアリマシテ、其ノ點ニ付テハ餘リハツキリシタコトハ一寸申上ゲラレナイノデゴザイマス、唯場所ニ依ツテ違ヒマスガ、薪炭林ノ大體ノ伐期ヲ三十五年乃至早イ所デ十年ト云フ風ナ程度ニナル譯デアリマス

○坪山委員 燃料ガ十分デアルカ、不十分デアルカト云フコトハ、石炭ノ產出ノ状態ニ依ルモノデスガ、石炭ノ產出ノ現況ハドシナ風ニナツテ居リマスカ

○湯河政府委員 石炭ノコトハ一寸今關係政府委員ガ居リマセスカラ、他ノ適當ナ機會ニ御答ヘスルコトニシテ勘辨シテ戴キタイと思ヒマス

○坪山委員 各府縣デ別々ノ木炭ノ検査ヲ施行シテ、謂ハバ粗製濫造ト云ヒマセウカ、ソレナ非難ガ大分アルガ、ヤハリ米穀同様ニ木炭ノ検査ヲ統一スルヤウナ御考ヘハアリマセウカ

○岡本政府委員 木炭検査ノ統一ニ付キマシテノ御尋ネデゴザイマスガ、木炭検査ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ只今各道府縣ノ検査ニ之ヲ依ラシメテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ検査ノ基準ニ付キマシテハ、全國一率ノ検査標準ヲ示シマシテ、ソレニ依ツテ各府縣デ検査標準ヲ定メサセ、極ク稀ニ地方ノ特殊規格ヲ許スト云フ風ナ程度ニ致シマシテ、木炭ノ検査基準、之ニ對スル等級區分等ハ全國一率ニ實ハ致シテ居リマシテ、更ニ其ノ検査ノ實行方法モ、検査員ノ検査方法及ビ監視眼ト云フ風ナモノニ付キマシテモ、共通ニ是ガ出來マシヤウニ適當ナ「ブロック」ニ分ケマシテ検査員ノ打合セ等モ致サセ、極力検査ノ實行ノ統一モ圖ツテ居ルノデアリマシテ、大體之ニ依ツテ各府縣ヲ通ジテ検査ノ統一ノ實行ガ期セラレテ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、更ニ之ヲ進メマシメ米穀ノ如キヤウナ國營検査ニマデ移ス必要ガアルカナイカト云フコトハ、今後慎重ニ考究ヲ致スベキ問題デアラウカト考ヘテ居リマス

○坪山委員 或ハ是モ商工省ノ關係ニナルカモ知レマセスガ、代用燃料ノ點ニ付テノ何カ新シイ御研究デモアリマセスカ

○岡本政府委員 御尋ネノ代用燃料、殊ニ家庭用ノ燃料ニ付テノ新シイ代用品ノ研究ノ問題デゴザイマスガ、之ニ付テハ、主トシテ木炭ヲ中心ト致シマス從來ノ家庭ノ燃料ニ對シテハ、各般ノ事情カラ、又一方ニ於テ國內ノ木炭ノ生産資源ノ關係カラ、需要ニ對シテ中々應ジ切レナイ部分ガアリマスノデ、當然他ノ資材ニ依ル代用燃料ノ研究ヲシ、之ヲ木炭ト合セテ消費セシメ配給セシメルト云フコトガ必要デアリ、左様ナ

點ニ付テハ農林省ニ於テモ商工省ト十分連絡ヲ取りマシテ、例ヘバ石炭系統、煉炭、豆炭等ノ生産配給ノ問題、其ノ他十分ニ考究シテ居ル次第デアリマス、今後モサウ云フ點ニ付テハ十分ニ商工省方面トモ御相談、連絡ヲ致シテ遺憾ナキヲ期シテ参リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○坪山委員 現在農村ニ於テハ自分ノ家ノ前ニ林ヲ見ツツ燃料ニ困ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、農村デハ元來脱穀シタ穀類ヲ可ナリ燃料トシテ使ツテ居リマスガ、此ノ頃デハ此ノ穀類ヲ燃ス所ノ器具ニ困ツテ居ル、是モ一部分金物ヲ使ツテ居ル關係デ非常ニ困ツテ居ル、現ニ穀類ヲ持チツツ、ソレヲ燃料トシテ使用出來ナイ、是等モ何カ器具ノ御研究デモ願ツタナラバ、餘程莫大ナ燃料資源ヲ得ラレルノデヤナイカト思フノデスガ、斯ウ云フ點ニ付テモ何カ御考ヘガアリマスカ

○岡本政府委員 洵ニ農村方面等ニ於ケル自給燃料ニ關スル有益ナ御氣付ト考ヘマス、農村方面ガ大體自給セラレル穀類等ヲ燃料ニ使フト云フコトニ付テ、更ニ其ノ器具ヲ改良其ノ他ノ適當ナル資材ニ依ツテ之ヲ作ツテ行クト云フ風ナコトノ研究モ今後各方面ト連絡ヲ取ツテ進メテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○濱地委員長代理 小串君

○小串委員 食糧管理法ガ愈々實施サレルコトニナリマス、物資ノ集散貯藏若シクハ價格ノ決定等ハ、總テ當局者ノ意ノ如クナル譯デアリマスガ、物資ノ集散或ハ貯藏ハ價格ノ決定ニ依ツテ非常ニ變化ガ多イ、詰リ成功シタリ失敗シタリスルコトガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、先般來此處

デ色々御議論モアツテ、今回ノ大東亞戰爭ノ結果ニ依リ南方方面ヲ加ヘテ全「アジア」ノ一ツノ物資計畫ヲ立テルコトハドウカト云フヤウナ御議論ガアリマシタガ、是ハ私ハマダサウ中々簡單ニ行カナイノデ、ヤハリ當局者ノ御考ヘノ通り、内地及ビ外地、滿洲等ノ間ニ於テ、食糧其ノ他ノ需給調整ヲ圖ラナケレバナラヌコト考ヘテ居リマス、所デ今申シタヤウニ、物價ガ非常ニ總テヲ支配シテ居ルニモ拘ラズ、内外地若シクハ滿洲、北支ト云フヤウナ方面ニ於テ、價格ノ差ガ非常ニアルノデアリマス、即チ同ジ品物デモ、内地ヨリモ朝鮮滿洲ガ高イ、朝鮮、滿洲ヨリモ北支ガ又高イ、ソレモ甚ダシイ差ノアルモノガアル、現ニ一例ヲ申上ゲルト、昨年私ハ滿洲ニ參ツテ色々聞イテ來タノデアリマスガ、大豆ノ如キハ、滿洲カラコチラヘ豫定ノ如ク入ツテ來ナイ、是ハ向フノ政策ガ、一昨年丁度内地ノ米ノヤウナ重要物資デアラ大豆ノ價格ヲ低物價デ抑ヘテ、他ノモノヲ抑ヘナカツタ爲ニ、幾ラカ大豆ヲ作ルモノガ少ナツタト云フヤウナコトモアリマセウガ、大體ニ於テ大豆モ相當量出來タノデアリマスガ、内地ニ持ツテ來ルノガ十分デナカツタ、滿洲國デ計畫ヲ立テテ、内地ヘ幾ラ、「ドイツ」ヘ幾ラ、支那ヘ幾ラト云フコトニナツテ居ツタガ、支那デハ稅關ヲ通關ノ關係デハ大體ノ豫定量ガアツタノデアリマセウケレドモ、實際ハ其ノ何倍ト云フモノガ北支ヘ流レテ行ツタ、是ハ地續キデアリマスカラ、多少ノ取締ヲ致シマシテモ、支那人ガ色々ナ機關ヲ以テ運ブ、牛馬ノ背ニ載セルモノモアレバ、或ハ「ジャンク」ニ載セタリシテ持ツテ行ツタモノモアリマセウ、現ニ

昨年内地デ豆ガ不足シタ場合ニ、儲カ上海カラ滿洲大豆ヲ内地ニ持ツテ來ラレタヤウナ例ヲ聞イテ居リマスガ、上海ニ滿洲ノ大豆ガ行ク譯ハナイノデアリマス、是ハ即チ價格ノ關係カラサウ云フ風ニ流レテ行クノデヤナイカ、私ノ考ヘデハ、最早今日ノ如キ秩序ガ立ツタ以上ハ、少クトモ内地ノ價格ハ、運賃トカ多少ノ狀況ヲ參酌スル必要アリマセウケレドモ、現在ノヤウナ差ヲ付ケルコトヲ速カニ止メナケレバイカス、酷イ例ヲ舉ゲマス「ビール」ノ如キハ滿洲國デハ公定價格ガ一本六十錢デ、山海關ヲ通り越スト一本一圓五十錢デアル、斯様ナ狀態デアルカラ、滿洲ノ「ビール」ガドン／＼北支ニ流レテ居ル、是ハ「ビール」ガケノ例デアリマスガ、凡ニル物資ニ付テサウ云フ疑ヒガ非常ニアルト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ物價ノ凸凹ヲ地方ニ依ツテ、即チ内地、外地、盟邦ニ付テノ關係ヲ政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ、一ツ御伺ヒシタイ

○湯河政府委員 只今ノ小串サンノ御質問ノ點ハ、獨リ食糧ノミナラズ、其ノ他一般ノ物資ニ付キマシテノ價格差ノ調整ノ問題ダト思フノデアリマスガ、是ハ尙ホ商工省或ハ大藏省ノ御當局ニモ能ク御考ヘテ願フ必要ガアルコトデアルト存ジマス、此ノ食糧管理法ニ關スル限リニ於テハ、實ハ價格ノ違ヒノアルモノハ米麥、殊ニ米ニ付テ考ヘテ見マシテモ、内地ト外地トノ間ノ價格ノ違ヒモアリマスガ、是ハ全部政府ガ買フコトコナツテ居リマス

〔濱地委員長代理退席、委員長着席〕
内外地間ニ於ケル物資ノ移動ハ、價格ニ依ツテ自然ニ流レル、丁度支那ト滿洲トノ間

ニ價格ニ依リ雜穀ガ移動ヲ起ス如キ餘地ノ
ナイヤウニスルノガ此ノ本旨デアリマス、
内外地間ニ於ケル主要食糧ノ移動ハ、之ヲ
政府ノ手ニ依ツテヤル、現ニ朝鮮ノ米ヲ内
地ニ移入スルニ付テハ、相當アチラノ經濟
事情モゴザイマシテ、政府デ負擔シテコチ
ラニ移入スル、サウシテ内地ニ配給スルト
云フヤウナコトモ致シテ居ルノデアリマス、
是ハ食糧管理ノ建前上價格ニ依ツテ自由ニ
物ガ流レルト云フコトヲナカラシメテ居ル
ノデアリマス、是等ノ價格ニ付テハ、第十
條ニ於テ政府ハ價格ヲ勅令デ以テ色々公定
スル權能ヲ持ツテ居リマス、米麥ニ付テハ
特ニ其ノ買入、賣渡ノ價格ヲ勅令ノ定ムル
所ニ依ツテ定ムルコトニナツテ居リマス、
尙ホ十一條ニ依リマシテ外地或ハ滿洲ナ
ドノ食糧價格ノ高イ所ニ輸出スル場合ニ於
キマシテ、政府ハ特ニ之ヲ内地ノ安イ價格
デ賣ルト云フコトヲセズニ高ク賣ルコトヲ
考ヘラレヤウナ處置ヲ、價格ニ於テハ色々
考慮致シテ居ルノデアリマス、併シ全般的
ニ申上ゲマシテ、價格ガ凸凹シテ居ルガ故
ニ物資ガ偏在スルト云フヤウデハ、食糧
管理ノ建前カラ言フト最モ避ケナケレバナ
リマセス、ソレハ或ハ輸出入ノ統制デア
ルコトカ、或ハ政府ノ買上、賣渡シト云フヤ
ウナ管理ノ作用ニ依リマシテ、サウ云フ風
ナコトハ御心配ガナイヤウニシテ參リタイ
思ツテ居リマス

○小串委員 只今ノ御答辯ハ其ノ通りデ
アリ、又内地トノ關係ハソレデ行クト思フ
デスガ、滿洲國ト北支ノ方ハ左様ナ考ヘ
取締ツテ居ルコトハ事實デアリマス、併
シナガラ實際ハ是ハ地續キデアリ、到ル處
垣ヲ結ツテアル譯デハナイノデスカラ、詰

リ所謂密輸出ガ盛ンニ行ハレテ居ルト考
ル、ソレガ爲ニ當然内地ヘ來ベキ數量ガ來
ナイ、去年アタリデモ大豆ハモウ少シコ
ツチヘ送ル筈デアツタノガ來ナカツタ、サ
ウ云フ點ヲ將來滿洲國トノ間ニ十分話合
シテ戴キタイト云フ意味カラ、先刻ノヤ
ウナ御尋ネラシタノデアリマスガ、尙ホ昨
年ハ滿洲國デ聽キマス、一昨年失敗シタ
トカラ、大豆ニ付テハヤハリ今回ノ内地
ノ米ノ生産獎勵金ノヤウナ獎勵ヲ加ヘテ、
分豆ノ生産ヲ圖リ、内地ノ一番必要ナ資
源即チ代表的ノ食糧品デアアル大豆ニ付
テハ困ラナイヤウニスルコト云フデアリ
マシタガ、昨年ノ作柄及ビ内地輸入ノ數
量ハ、別ニ量ハ伺ハスデモ宜イノデスガ、
食糧管理局トシテ即チ此ノ間カラ盛ンニ
議論ニナツテ居リマス味、醬油、其ノ他
大事ナ食糧資源ノ大豆デアリマスガ、是
ガ相當ナ量ガ得ラレル御見込デアリマ
スカ、ドウデスカ伺ヒタイと思ヒマス

○湯河政府委員 先程小串サンノ仰
シヤイマシタ滿洲國糧穀此方ニ取ルニ付
テ滿支間ノ密輸取締ガ徹底シテ居ナイ
デハナイカト云フ御話ハ、是ハ何分ニモ
滿洲國ノ廣イ地帯デスカラサウ云フ事
實ガナイトモ限リマセス、是ハ併シ滿
洲國當局ニモ亦北支那方面ノ當局ニモ
十分頼ミマシテ、斯ウ云フ詰ラナイコ
トノ起ラナイヤウニ、今後モ十分取締
ツテ貫ヒ、仍テ以テコチラニ入ツテ來
ル物資ガ横流スルヤウナコトガナイヤ
ウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小串委員 次ニ、内地ニ於ケル物
價ノコトヲ伺ヒマシタカラ、モウ少シ
價格ノ點ヲ伺ヒマスガ、米ニ付キマシ
テハ、政府ノ取扱方ガ非常ニオ宜シ
カタ存ジマスガ、先

般モ大臣カラ麥ノ價格ハ幾ラカ低イ
ヤウデカラ、ソレニ付テハ考慮スルト
云フコトデアリマシタガ、更ニ細カ
イ考ヘカラ行クト、米ニ付キマシ
テモ白米ト玄米トノ價格ノ開キハ
適當デナイ、玄米食ヲヤレト云フ
議論モアリマスガ、又現在ノ習慣ナ
リ、其ノ他ノモノノ原料ヲ得ル爲
ニ精白スルト云フコトガ是ハ普通
ノ日本ノ狀態デアリマスガ、精白
シテ小賣スル其ノ價格ガマダ少
シ利潤ガ多過ギルヤウニ考ヘル、
其ノ他米以外ノ品物ニ付テ、是ハ
物價審議會トカ、價格形成委員
會デ決メラレタ公定價格デアリマ
セウガ、ドウモ價格ガ實情ニ即セ
ザルモノガ非常ニアル、ソレガ爲
ニ増産ヲ妨ゲルヤウナ實例ガチ
ョイ、アルヤウニ思フノデア
リマスガ、殊ニ最高價格ヲ決メ
ルト云フヤリ方ハ狡イヤリ方デ、
是ハ高イモノガ非常ニアルカラ
最高價格ヲ決メルガ宜イト云フ
ノデ、無暗ニ物價ノ最高價格ヲ
決メラレテ居リマスガ、私ハ最
高價格ヲ決メルト云フコトハ高
イモノニ對シテ行ハルベキモノ
デアツテ、而モ價格ノ決定ハ實
情ニ即シテ、同ジ物資デモ非常
ニ優劣ガアルモノデアリマス
カラ、ソレ等ヲ見透シテ現在ノ
價格ノ甚ダシク變化ノアルモノ
ニ對シテハ、之ヲ均ラス必要ガ
アルケレドモ、サモナケレバ現
在行ハレテ居ル其ノ儘ニ對シテ
或ル程度ノ割合ニ下ゲルト云フ
ヤウナ公定ノ決メ方ガ本筋デハ
ナイカ、無論生産費ニ對シテ計
算スル、或ハ地方ニ依ツテ運賃
ヤラ、其モノノ偏在ヤラ色々ナ
コトガ考慮ノ中ニ置カレマスケ
レドモ、大體此ノ最高價格ト云
フモノヲ決メテ、ソレデ低物價
政策ノ目的ヲ達セリト考ヘル
ハ、大抵ノ場合高物價政策ヲ誘
致シテ居ルコトハ事實ダと思フ
ノデ

アリマス、例ヘバ或ルモノニ一
番高イモノガアルカラト云フ
ガ、高イモノハ僅カシカナイ、
然ルニ其ノ高イモノヲ低クシ
タト云フコトノ爲ニ、無論ハ
物資ガ足ラナイカラデハアリ
マスケレドモ、下ノ方ニ居ル
低イモノガ皆便乘シテ高値ニ
上ゲテシマフ、ダカラ若シ假
ニ或ル品物ノ最高價格ヲ決
メテ下ゲタト思フト、焉シ
ゾ知ラン内地全體ノ品物ニ
其ノ價格ヲ乘ジテ見ルト、
從來取引シテ居ツタヨリモ
總量ハ値ガ上ツテ居ルト云
フ事實ガアル、觀念的ニ申
スト何デスガ、實例ヲ見
ルト澤山アルト思フノデア
リマス、ソコデ私ハ成ベク
最高價格ト云フヤウナ考
ヘデナシニ、無論高イモノ
ヲ抑ヘルコトモ必要デア
リマスシ、又甚ダシク低
イモノハ實際増産ノ爲ニ
之ヲ直スト云フコトモ必
要デアリマセウシ、又重
點主義ニ依ツテドウシ
テモ増産ヲヤリタイト云
フ上カラモ、幾分其ノ最
高價格ノ昂騰ト云フコト
ヲ導イテ行ク、斯ウシ
ナケレバヤハリ増産ト云
フモノハ望メナイモノ
ガ澤山ニアルト思フノ
デアリマス、兎ニ角物價
ノ公定其ノ他ノ方法ガ
増産ノ上ニ非常ニ影響
ノアルト云フ考ヘハ
私ハ持ツテ居ルノデア
リマシテ、此ノ點ニ付
テノ政府ノ決定ノ方
針ハ一體ドウ云フ點
デアルカ、尤モ澤山ノ
種類ノ物資デアリマ
スカラ、之ヲ一々細
カナ決メ方ヲスルコ
トハ困難デアリマ
セウケレドモ、私ハ
サウ云フ最高價格ト
言ツタヤウナ決メ
方デナク、其ノ實際
ノ事情ヲ參酌シテ、
サウシテ其ノ品物
ニ付テ場合ニ依レ
バ高クテモ放ツテ
置イテ宜イモノモ
アルガ低物價政策
デサウ云フヤウナ
實情ニ即シタ物價
決定ノ方針ガアル
ノデハナイカ、物
價決定ノ御方針ガ
從來ドンナ風デア
リマシタカ、私共
外部カラ見

ルト、サウ云フノガ非常ニアツテ、其ノ爲
ニドウカト思フヤウナ點モアルシ、又ソレ
ヲ決メラレテ宜カウタ例モ無論アリマス
レドモ、是ハ實際ニハ最高價格ガ決マツタ
爲ニ、品質ノ惡イモノガ便乗シテ皆高クナ
ツテ却テ高物價ヲ誘致シタト云フ實例ヲ見
テ居リマスガ、物價決定ノサウ云フ方針ニ
付テ御考ヘテ承リタイト思ツテ居リマス

○湯河政府委員 只今ノ問題ハ獨リ食糧バ
カリデアリマセヌノデ、私カラ申上ゲルコ
トハ或ハ適當デナイカト存ジマスガ、併シ
食糧ニ付キマシテモ色々價格ノ決定ヲ現ニ
ヤツテ居リマス、其ノ氣持カラ御答ヘ申上
ゲマス、或ハ御質問トシツクリシナイカモ
知レマセヌガ、其ノ時ニハ更ニ申上ゲマス
ガ、實ハ最高價格ト云フ行キ方ヲ執ツテ居
リマス、所謂米ニ付キマシテモハツキリ其
ノ行キ方ヲ執ツテ居リマシテ、最高販賣價
格制度ト云フモノヲ執ツテ居リマス、是ハ
ヤハリ一本値ノ公定價格ト云フモノナ
イト云フモノデナク、ヤハリ價格ト云フモノハ
今ノ時代ニ於テ非常ニ値ガ上ルノガ困ルノ
デアリマスカラ、一應上ヲ抑ヘルト云フ形
ニナツテ最高價格制度ニナツテ居ルノデゴ
ザイマス、併シ最高價格制度ヲ立テマスニ
付キマシテハ、無論慎重ニ考慮致シマシテ、
御説ノヤウニ何モカモ最高價格ヲ決メタラ
ソレニ皆ガ便乗シテ來ルト云フヤウナコト
ノゴザイマセヌヤウニ致シマス爲ニ、規格
即チ銘柄等級等ハ是ハ相當嚴正ニ検査モ致
シマスシ、又ソレノ値段付ケト云フコトニ
付キマシテモ十分ニ考慮ヲ拂ツテヤツタ積
リナノデアリマス、唯米ニ付キマシテハ、
御承知ノ通りニ二重價格ヲ採ツテ居リマス、
一方ニ生産ヲ維持シ増産ヲ圖ル爲ニハ生産

費ヲ一パイニ見ナケレバナラヌケレドモ、
ソレニ依ツテハ消費者ノ生活ニ響ク所ガ大
キイカラ、低物價政策ノ見地カラ所謂二重
價格ト云フモノヲ採ツテ來テ居ルノデアリ
マス、國民經濟上非常ニ重要ナ位置ヲ占メ
テ居リマス米デゴザイマスカラ、サウ云フ
考慮ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス、何物ニ
付キマシテモ、斯ウ云フ風ニヤルト言フコ
トモ出來ナイカト思フノデアリマスガ、食
糧、米麥ニ付キマシテダケハ只今申シマシ
タヤウナ趣旨デ此ノ度ノ法規ニ於キマシテ
第三條、第四條ニ價格決定ノ方針ヲ示シテ、
之ニ依ツテヤツテ參リタイト云フ考ヘヲ持
ツテ居リマス

○小串委員 仰セノ通り米麥、其ノ他ニ付
テハ今ノ方針デサウ不都合ハナイノデス
ガ、其ノ他ノ日用ノ蔬菜デアルトカ水産物
デアルトカ畜産物デアルトカ云フヤウナモ
ノハ此ノ最高價格ト云フコトニ禍ヒサレル
爲ニ、實際ニハ適シテ居ナイ事實ガ私ハ澤
山アルト思フ、殊ニ今仰セノヤウニ最高價
格ヲ定メテ其ノ規格、其ノ他ニ依ツテ段階
ヲ付ケルト云フコトガ當然デアリマスノニ、
例ヘバ是ハ畜産ノ問題デスガ、畜肉——牛
馬ノ生キテ居ルモノノ方モアリマスガ茲ハ
食糧問題デスカラソレニ付テハ申シマセヌ
ガ、牛ノ如キハ既ニ四段階ニ分レテ居リマ
スケレドモ、豚ノ方ハ一段階ニナツテ居ル、
殊ニ私ガ不審ニ思ツテ居ルノハ、今一番豚
ヲ増産シナケレバナラナイ、此ノ間モ此處
デ大臣カラ大ニ豚ヲ殖ヤスト云フ御話ガ
アリマシタガ、實際ハ又此ノ頃豚ガ減リツ
ツアルヤウナ形ニナツテシマツタ、ト云フ
ノハ公定價格ニ依ツテコロノ値段ガヤハリ
今ノ最高價格のニ抑ヘラレタ、是ハコロノ

血統ノ良イト惡イトデ値段ガ違ツテ居リ
マス、二貫五百匁以上ト以下ト色々アリマ
スガ、實際取引ハ此ノ發表サレタ公定價格
ヨリモズツト高カツタ、ソレガ今度下ゲラ
レタ、例ヘバ生後二箇月ノ血統正シキ豚ニ
付テ申シマス、コロガ八圓、二箇月以上
ノモノガ二十圓、若シクハ二貫五百匁以上
ノモノガ二十圓、三貫目以上ノモノガ二十
五圓、普通ノ品種デアレバ六圓ニ七圓ニ十
三圓ト云ツタヤウニ決メラレタノデアリマ
スガ、實際豚ヲ飼フ者ガ只今ノ豚ノ公定價
格、即チ成豚ノ價格カラ考ヘテ此ノ價格デ
アリマスルト、子供ヲ殖ヤス方ガ割ニ當ラ
ナイ、是ハ豚バカリデハナク一般農作物デ
モサウデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ種ニ屬
スルモノハ寧ロソレヲ殖ヤサウト思フ時ニ
ハ値段ヲ上ゲデモ宜イト思フ、種ト云フモ
ノハ上ゲテモソレハ「インフレーション」ノ
原因ニナルト云フコトハナイノデス、其ノ
量ト云フモノハ分ツテ居ルノデアリマシテ、
現ニ豚ナドハ此ノ間ノ愛知縣ノ例ヲ申上ゲ
マスルト、連テモ子供ヲ作ルコトヲ厭ガツ
テ皆潰シニ出シテシマフ、子供ヲ作ルコト
ハ勘定ニ合ハスト云フコトデアリマシタガ、
私ノ縣ナドモサウ云フ傾向ガアル、一番生
産ノ多イ神奈川縣デモサウ云フ傾向ガアル、
斯ウ云フ公定價格ヲ種ニ付テハ、ドウシテ
モ幾分カ殖ヤサウト思フトカ、増産ヲ圖ラ
ウト思フ時ニハ、寧ロ値段ヲ吊上ゲテ宜イ
ノデヤナイカト云フヤウナ考ヘテ私ハ持ツ
テ居ルノデアリマス、ソレカラ斯ウ云ツタ
價格ノ變動ニ依ツテ物資ガ減リツツアリ、
或ハ殖エ方ガ非常ニ鈍イト云フヤウナ時
ニ、之ヲ直サナケレバナラスト云フ場合ガ
アツタラ、成ベク早ク、一旦決メタモノデ

モ審議會ヲ開クトカ或ハ當業者ノ意見等モ
御參酌ナサツテ成ルベク早ク直ス、斯ウ云フ
ヤウナ傾向デ減リツツアルト云フ事實ヲ認
メタナラバ、アア云フモノハ一定ノ期間ガ
ナケレバ殖エナイモノナンデスカラ、サウ
云ツタ考ヘ方ヲスル必要ガナイカト云フコ
トヲ尙ホ參考ニ伺ツテ置キタイ

○三浦（）政府委員 小串委員ノ御質問ニ
ナリマシタ價格ノ統制ノ問題デアリマスガ、
御説ノ通り不合理ナコトデヤ申ス勸キマセ
スモノデスカラ、能ク實情ヲ調べマシテ適
切ナモノニシナケレバナラスト考ヘマス、
今御指摘ニナツタ豚ノ價格等ニ付キマシテ
モ、專門委員等ノ意向モ聽キ相當練ツテハ
居ル譯デアリマスガ、尙ホ實情ニソグハヌ
點ガアレバ決シテ之ヲ釘付ニシテ動かサナ
イト云フモノデアリマセヌカラ、十分考
慮シテ參リタイト思ツテ居リマス、ソレカ
ラ種ニ付テハ御説ノ通り若干獎勵のノ意味
ガアルノデアリマスカラ、一般的ノモノハ
考慮シテ居ルノデアリマシテ、具體的ノ實
情ニ即シマシテ考究シタイト考ヘテ居リマ
ス

○小串委員 御答辯ニ依ツテ満足シマシタ
ガ、實際ニ種ノ獎勵ハ餘程御考慮願ヒタイ
ト思ヒマス、是ダケ希望シテ物價ノ問題ハ
打切りマス次ニ農地並ニ小作料關係ニ付テ
質シテ置キタイト思ヒマスガ、近來小作等
議ト云フモノハ私共關東方面ニハ殆ドアリ
マセヌガ、マダ東北其ノ他ニハサウ云フ所
ガアルヤウデアリマス、一體小作料ト云フ
モノハ彈力性ノアルモノデ因作ノ場合ニハ
相當ニ割引シ得ルノデアリマス、小作料ノ
引下ノコトハ餘程考ヘナケレバナラスト思
フノハ、此ノ席デモ大分皆サンカラ議論ガ

アリマシタガ、私ノ知ツテ居ル範圍デハ小作關係其ノ他モアルノデアリマセウガ、自作農ヲ創設シヨウトシテモ自作農ヲ實際ニ餘リ欲シナイ者ガアル、小作ヲシテ居ル方ガ都合ガ好イト云フ計算的ノ即チ功利的ノ者ガ大分アル、今度ハ地主ノ方ハ土地ヲ國家管理ニシテ貰ヒタイ、現ニ私共ノ方ヘハ宮城縣ノ方ノ地主ノ人デスガ、此ノ議會ニ國家管理ノ請願ヲ出シテ吳レト言ツテ文書ヲ持ツテ參リマシタガ、今ノ場合ソナモノハ出シテモ駄目デアラウト私ハ申シタノデス、其ノ人ノ言フ所ニ依ツテモ、私共ノ方ハ寧ロ土地ハ自分ノ作ル以上ノモノハ成ベク國家トカ、公共團體ノ管理ニ移シテシマヒタイ、君、ソレデ値ヲ良ク賣ル考ヘダラウ、イヤ、ソナコトハアリマセヌ、政府ノ決メタ公定價格ナラ上等デス、ソレデ公債デモ何デモ貰ツタ方ガ宜イノダト云フヤウナ地主ガ大分アルノデス、ソレデ非常ニ國家ノ期待スル、自作農ヲ作ラウト云フヤウナ、増産ヲ獎勵スル爲ニ農業ヲ勵マサウト云フ考ヘ方ト——皆端カラサウデヤナイデセウケレドモ——反對ノヤウナ地方ガ大分アルト云フ點ハ、是ハ餘程爲政者トシテハ考ヘナクチヤナラス、今ノ空氣ハ逆ニ行ツテ居ツテ、小作料サヘ下グレバソレデ増産ガ出來ルト云フ譯デヤナイト考ヘラレマス、小作料ノ適性化ト云フモノハ非常ニ難カシイモノデアリマシテ、今私ノ申ス通り、年ノ豐凶ニ依ツテ十分彈力性ヲ持ツテ居ルモノデアルカラ、之ヲ統制令ヲ實行スルニ當ツテ、引下本位デ行クト云フコトハ非常ニ却テ面倒デハナイカ、小作統制令ノ實行ニ付テノ政府ノ大方針ハドウ云フモノデアリマスカ

○岸政府委員 小作料ノ統制令ハ、時局下ニ於テ小作料ガ動モスルト上ガルト云フヤウナ傾向ガアル、若シソレガ上ガルト云フコトニナルト、米ノ生産費ニ影響シテ來ル、食糧ノ問題トシテモ非常ニ大キナ問題ニナル、斯ウ云フヤウナコトデ一方ニ於テ低物價ノ線ニ沿フ所ノ食糧問題ニ寄與スル、一方ニ於テ農業經營上耕作者ガ食糧ノ増産ニ安心シテ邁進出來ルヤウニト云フ考ヘデヤツテ居ルノデアリマス、一面ニ於テサウ云フ風ニヤツテ居リマスガ、地域的ニ小作料ニ凸凹ノアルヤウナ地方ニ付テハ、此ノ際調整シ得ルヤウナ途ヲ開ク、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、勿論今ノ小作料ハ地域的ニモ特殊ノ事情ガアルカラ、ソレハ下ゲルバカリガ能デモナイノデアリマス、又調整シテ居ル場合ニ於テ、小作料ノ或ル部分ニハ、平均サレテ上ツテ居ル部分モアリマス、デアリマスルカラ、單ニ之ヲ簡單ニ、唯下グレバ宜イノダト云フヤウナ考ヘノミニ於テ運行サレテ居ルト云フ譯デハゴザイマセヌ

○小泉委員 大體御意見ハ分リマシタ、實ハ私共モ、非常ニ田地ノ少イ爲ニ、小作人ニ強要シテ、地主ガ請求ヲヤツテ居ルト云フ者ニ對シテハ、相當引下ゲルコトガ穩當デアアル、又安イモノニ對シテハ、格段ニ安クテモ、上ゲルト云フコトハ無理ダト私ハ思ツテ居リマス、現ニ私ノ神奈川縣地方ハ、昔旗本ガ持ツテ居ツタ、旗本領デアアルガ故ニ、一郡ハ大抵二三ノ領主ガアル、隨テ領主ガ富裕ナ、懷ロノ樂ナ人ハ小作料ヲ非常ニ安くシテ居ツタ、ソレカラ財政ノ困難ナ殿様ハ非常ニ小作料ヲ高クシテ居ツタ、所ガ農家ノ小作ナント云フモノハ、今日デモ

其ノ昔ノ習慣ヲ守ツテ居ルノデアリマス、私共ノ方デ、甲部落ノ方デハ、例ヘバ畑ノ小作料ガ一反歩十圓デアアル、乙部落デハ米二俵ト云フ所ガアル、今日米二俵ノ小作料ヲ取ツタ日ニハ、之ヲ金ニ換ヘマスト三四倍ニモ當ル、サウ云ツタヤウナ例ガ澤山アリマスケレドモ、之ヲ今小作統制令ガ出タカラ一ツ直サウト云ツテモ、中々難カシイ、第一安イ方ノ地主ハ一ツ之ヲ上ゲテ貰ハウ、ソレカラ又恐シク高イ、割ヲ食ツテ居ル小作人ハ之ヲ下ゲテ貰ハウト云フコトヲ言ヒ出シタナラバ、中々是ハ喧シイコトガ起ル、私ハ農會長トシテ時々サウ云フ意見ヲ聞ク、ドウモ餘リ低過ギルカラ少し上ゲルヤウニ出來マセヌカ、ト言ツテ來ル地主サンモアレバ、又、私ノ方ハドウモ高過ギテ酷イ小作料デアアル、今申上ゲタ通り、畑デ玄米六斗乃至八斗、二俵モ取ツテ居ル、全ク亂暴ニ高イ、斯ウ言ツテ來ル小作人モアル、ソレデ私ハ地主ニ勸告ヲシテ、ソレハ下ゲサイ、ソレハ畑ガ少イカラ高イノダラウ、ト云フヤウナコトデヤツタ例モアリマス、是ハ中々難カシイ問題デアリマスケレドモ、イデルナラバ、ヤハリ其ノ地域々々ノサウ云ツタ實情ヲ調査シ、又公租公課ヤ、水利ノ關係ヤ、色々モノヲ調べテヤラスト云フト、之ヲ輕率ニ、小作料ノ輕減即チ増産ノ所以ナリト云ツタヤウナ考ヘ方デヤルト、私ハ非常ニ難カシイノデハナイカト考ヘマス、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ尙ホ一應承リタイ、サウシテ、料率ノ方針ハ大體今伺ヒマシタガ、斯ウ云フヤウナコトハ本省デモ餘程御調ベニナツテ居ルモノデセウカラ、斯ウ云フ考ヘ方ニ付テ尙ホ一應伺ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 先程申上ゲマシタ統制令デ是レ以上騰貴サセナイト言ツタノハ、要スルニ是ハ九・一八ノ物價停止ニ伴ツタ措置デアリマス、其ノ點御了承願ツテ置キマス、デアリマスカラ、現状デ止メルト云フコトガ眼目デアリマス、ソレニ應ジテ凸凹ヲ直シテ行クト云フヤウナコトヲ併セ考ヘテ居ル、是等ノコトハ其ノ運用ニ當ツテ十分注意シテ考ヘテ行ク、今ノ御話ノヤウナ點モ將來アルダラウト思ヒマスカラ、ソレハ地方的ニ、町村ノ農地委員會ナドデ研究シテヤツテ行クト云フ考ヘデアリマス

○小泉委員 實ハ昨日カ一昨日、實際ニ色事情ヲ聽イテ、サウ云フコトガ實際行ハレテ居ツタノカト思ツタノハ、秋田縣ノ實例デアリマス、私ノ聞イタ所ニ依ルト、秋田縣デハ、昨年ノ十月デスカ、小作統制令ニ依ツテ小作料ノ基準ヲ定メタ、最高ヲ一石二斗トシ、順次其ノ割デ繰下ゲタ、實際ハ一石三斗、若シクハ一石五斗ノモアルサウデアリマス、之ヲ縣令ニ依ツテ縣全體ヲサウ云フ風ニ下ゲタ、所ガ其ノ結果ハ、サウ云フ風ニ劃一的ニヤラレタ爲ニ、良イコトヲ持ツテ居ル人ハ小作料ハ從來カラ高イノダガ、ソレヲ一石二斗ニ下ゲラレト非常ニ有利ニナル、不良ノ田ノ持主ハ、二割ヤ一割引カサレテモ餘リ利益ハナイ、ソコデ小作人間ニ今度ハ非常ナ喧嘩ガ起ツテ來ル、詰リ良イ田ヲ取ラウトスル、小作料ハ安くテモ今作ツテ居ル田ハ厭ヤダ、又其ノ間ノ收益ニ非常ナ差ガ起ツテ來ルト云フコトデ、現ニ大分ゴタ／＼シテ居ルサウデアリマス、是ハ縣ノ當局ガ、斯ウ云ツタヤウニ劃一的ニ縣全體ヲ決メタト云フ所ニ誤謬ガアルノデヤナイカ、縣ドコロデハナイ、町

村毎ニ、若シクハ部落毎ニ其ノ實情ヤ、先刻伺ツタヤウナコトヲ調ベテ、サウシテ凸凹ヲ直ス、高イモノヲ下ゲテ、低イモノハ現狀ニ置クト云フコトナラバ實情ニ即スルケレドモ、今ノヤウナコトデハ相當喧シイコトニナルノデハナイカ、大分ソレガ爲ニ爭議ト云フカ、争ヒガ起ツテ居ルヤウニ伺ヒマス、之ニ付テハ農林省デ尙ホ十分實情ヲ御調ベテ願ヒタイト思ヒマシテ、希望ヲ付ケテ、御意見ヲ伺ツテ置キマス

○岸政府委員 只今御話ノアリマシタ秋田縣ノ小作料ノ問題デアリマスガ、是ハ秋田縣ニ於キマシテ、現在ノ實情ニ鑑ミテ小作料ヲ是正シヨウト云フヤウナ考ヘガ各方面ニ瀰漫シテ、サウシテハ正式ニ集マル時聞ガナカツタト云フヤウナ話デ、各地方毎ニ農地委員會ノ人々、或ハ町村長ナンカガ集マツテ協議ヲシ、サウシテ縣農地委員會ニ於テ話シ合フシテ、一石二斗ト云フモノガ決マツタサウデアリマス、是等ノ事情ハ大體縣ニ任セテアリマスカラ、地方ノ事情事情ニ應ジテ、ヤハリ色々ノ措置ヲ執ツタモノト思フノデアリマス、一部ニ色々不平ガアツテ、議會等ニ於テモ其ノ點色々御質問ガアツタヤウデアリマス、之ニ付テハ當時大臣カラ詳細御話シ申上ゲテ居ルと思ヒマス、ソレノ措置ニ付テハ、ソレハ縣ニ於テハ最高ガ決マツタノデアル、ソレハ大體秋田縣ノ實納小作料ノ實情ニ應ジテ決メタノデアツテ、隨後後ノモノヲ是正シテ行クト云フ方針ノ下ニ非常ニ慎重ニ今進行シテ居ルノデアリマス、最近ニ於テ色々報告ガ參ツテ居リマスガ、何レモ町村ノ農地委員會ノ申請ヲ俟ツテ縣ノ農地委員會ノ議ニ掛ケマシテ、町村毎ノ料率ノ是正ヲヤツテ居リ

マス、是等ニ付キマシテハ前議會ノ後能ク縣廳ノ人ニモ、成ベク順序ヲ履ンデ地域の一定メテ行クヤウニト云フ注意ヲ致シテ居リマスノデ、大體其ノ順序ヲ進ンデ居ルト考ヘテ居リマス

○森田(實)委員 一寸今ノ問題ニ關聯シテ二ツダケ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、今ノヤウニ一番上ヲ一石二斗ニ定メテアル、隨テ順次田ノ良否ニ依ツテ決定シテ行クト、最モ惡イ田ハ殆ド小作料ガ取レナイト云ツタヤウナコトニナル、是ハ極端ナ場合デスレガ生ジデ居ルト云フノハ、是ハ實際大キイ問題デアリマス、所ガソレニ關聯シマシテドウ云フコトニナツタカト云フト、其ノ小作料ガ定マラナイ間ハ小作料ヲ納メナイト云フ事情ガ起ツテ來テ調停ナドニ訴ヘ、一年デモ二年デモ小作料ヲ納メナイデヤツテ行カウト云フ非常ニ戰時下ニ於テ思ハシクナイ實情ガ實際發生シマシテ、裁判所アタリデモサウ云フコトハ餘リ能ク分ラナイデ漫然ト調停ヲ受付ケル、所ガ御承知ノ通り調停ヲ受付ケマス、執行ガ其ノ間停止サレルト云ツタヤウナコトニナル、サウ云フヤウナコトデ此ノ儘放置シテ置イタノデハ是ハ秋田縣ノ農村ノ問題トシテ非常ニ心配ニ堪ヘナイモノガアルト私ハ思フ、現ニ此ノ何日間來之ヲ非常ニ心配シテ上京シテアツチコツチニ其ノ實情ヲ懇ヘテ居ルト云フヤウナコトモアルノデアリマシテ、是ハ決シテ小サイ問題デナイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今ノ最高ガサウ決マツタカラト云ウテ劃一的ニ後ハ順次ニ下ツテ行クモノダト云フ彈力性ノナイヤウナ決メ方デソレヲ決メル農地委員會ノ中ニモ餘リ思ハシク

ナイヤウナ模様ガ盛込マレテ居ルト云ツタヤウナコト等ヲ考ヘマス、之ニ付テハ農林省デハ調査官ヲ派遣スルナリ、何ナリデ具體的ニ此ノ實情ヲ能ク御調査ヲシテ戴カナイト生産増強ノ爲ニモ非常ニ大キイ影響ヲ持ツト思ヒマス、此ノ點ハ特ニ念ヲ押シテモウ一遍伺ヒマス

○三浦(二)政府委員 先程農政局長カラモ申上ゲタヤウニ、實納小作料ハ最高ヲ取ツテ居ルノデアリマス、唯ソコニ契約小作料ノ問題ガアルドラウト思ヒマス、一面小作人側カラ言フト、是ハ秋田縣ト云ハズ、東北方面ニ能クアルノデスガ、實際ハ土地ノ面積ガ大キイノデス、所ガ耕地整理等ニナツテ來ルト、ソレガ變ツテ來ルト云フ風ナモノガアツタリシテ、必ズシモ契約小作料ダケ決定出來ナイト云フ實情ガアルヤウデアリマスガ、ソレ等ニモ牽聯スルト思フノデス、隨テ利害ガ結局一致シナイコトガアリ得ルノデス、詰リ地主側デハ從來ノ實納小作料ヲ損サセテモヤハリ文句ガアル、小作人ノ方トシテハ從來ノ實際ノ耕作反別ガ臺帳面積ヨリ多イト云フヤウナ場合ガアリ得ル、ソコデ利害上相互ノ主張ガ違ツテ來ルト云フコトガアリ得ルノデスガ、是ハマア具體的ニ個々ニ調ベナイト、善イトカ惡イトカ言ヘマセスケレドモ、サウ云フ實情モアルヤウデアリマス、唯此ノ一石二斗ニ決メラレマシタノハ、先程農政局長カラモ申上ゲタヤウナ次第デ、實納小作料ノ實體ハ取ツテアリマスカラ、縣廳デ最高ヲ取リマシタ一石二斗ト云フノハサウ實情ヲ無視シタコトダトハ考ヘテ居リマセス、相當ソレハ實情ニ即シテ居ルヤウデアリマス、ソコデ一石二斗ガ最高ト決マツタトシテモ、

後ノ土地ニ應ジテ段々調整サセテ行ク問題ガ起キテ居ルコトハ御説ノ通りデアリマス、之ニ付キマシテハ固ヨリ縣廳ニハ慎重ナル取扱ヲスルヤウニ明示致シテ居リマス、同時ニ又經濟部長モ選ラレタノデスカラ、特ニ上京ノ際ニ私モ面會シマシテ、サウ云フ問題ニ付テ能ク慎重ニ實情ニ即シタヤウニ御指導願ヒタイ、斯ウ云フ風ニシテヤツテ居リマス、決シテ怠ツテ居ル譯デハゴザイマセス、唯中ニハ農村側ニ於キマシテモ必ズシモ時局ヲ認識シテ協調的ナ態度ニ出ナイト云フ人モアルヤニ今御説ガアリマシタガ、是等ハヤハリ十分ニ指導シテ行クト云フコトニシテ、同時ニ扱ヒニ付テハ先程農政局長モ申上ゲタ通り、町村モ本當ニ能ク話シ合ツテ進メルト云フ農地委員會ヲ十分活用シテ居リマスシ、今後モサウ云フ運営ヲサセテ參リタイト考ヘテ居リマス、デスカラ尙ホ今後トモ十分實情ヲ調ベテ苟クモ戰時下ノ農村ニ於テ餘リ騒ギガナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○小串委員 只今ノ森田サンノ牽聯質問ニ對スル御答辯デ、大體政府デモ御考ヘニナツテ居ルヤウデスカラ、其ノ點ハ止メマスガ、更ニ私ハ肥料ノコトニ付テ自分ノ調べタコトヲ申上ゲテ御考ヘテ拜聽シタイト思ヒマス、農産物増産ノ一大資源デアル所ノ肥料ガドウモ十分ニ行カヌコトハ洵ニ遺憾ナコトデアリマスガ、先般大臣ノ御話ノ通りニ、本年ハ昨年ニ對シテ硫酸ガ八〇%、磷酸ガ五〇%、加里ハ皆無、是ハ無論金肥ニ付テト云フコトデアリマスガ、増産ニ對スル肥料資源ハ自給肥料ノ増強ニ依ル外ハナイト云フノガ實際デアリマス、ソコデ私ハ數年自分ノ關係シテ居ル農會デ取扱ツテ居

ツタ都市ノ尿尿及ビ塵芥ノ利用ニ付テ申上
ガテ見タイト思ヒマス、是ハ差當リトシテ
自治團體デ今ヤツテ居リマスケレドモ、國
トシテ大イニ御考ヘニナツテ、此ノ利用
ヲヤツテ戴イタラドウカ大都市ニ於ケル
尿尿ノ搬出ハ素晴シイモノデ、東京ガ一日
二万七千石、横濱ガ四千三百石、名古屋ガ
二千四百石、大阪ガ一万六千石、神戸ガ四
千七百石、京都ハ調ベテ居リマセヌガ、
是ガ三年前ニ尿尿ニ付テ市役所デ調査
シタモノデアリマス、水掃便所ヤ其ノ他ニ
依ツテ大分尿尿ノ始末ヲ付ケテ居リマス
レドモ、只今東京アタリハ現ニ市ガ之ヲ清
掃事業トシテ扱ツテ居ルモノハ一日ニ
大體三万石アルノデアリマス、此ノ不潔
物ガドウ云フ風ニ扱ヘテ居ルカト云フト、
都市附近ノ農村ニ利用サレテ居ル分ガ相當
アリマス、東京デ申上デマス東京府及ビ
埼玉、千葉、神奈川等ニ搬出サレテ居ル
デアリマスガ、近來輸送ノ不便ヤ勞銀ノ高
イ爲ニ市ガ金ヲ使フノ苦シガツテ之ヲ海
洋投棄シテ居ル、東京ナドハ一日ニ大體
私共ノ計算シタノデハ四千五百石位ヲ毎日
海ヘ棄テテ居リマス、是ハ實ニ恐ルベキデ
アリマスガ、横濱ヤ横須賀モ此ノ頃ハ仕方
ナシニヤハリ觀音崎沖ヲ通り越シタノ邊ニ
持ツテ行ツテ棄テル、是ハ衛生其ノ他カラ
言ツテモ非常ニ困ルコトデアリマスケレド
モ、サウ云フ風ニナツテ居リマシテ、私共
ノ農會デハ之ヲ何トカ利用シヨウト云フノ
デ色々協力ヲシテ市カラモ金ヲ出サシテヤ
ツテ居リマスガ、ドウモ十分デナイ、今申
ス程度ノモノヲドン／＼毎日海ヘ棄テテ居
ルノデアリマス、私ハ一寸之ヲ調ベテ見タ
ノデスガ、假ニ横濱ト川崎トノ尿尿ノ肥料

成分ヲ本年神奈川縣ニ割當ラレタ肥料ト比
較シテ見ルト面白イ形ガ出ル、一寸細カイ
コトヲ申スヤウデスガ、本年度ノ一月カラ
七月マデノ御割當ニナツタ肥料ガ、有機肥料
ガ窒素千九百「トン」、磷酸八百九十「トン」、
無機肥料ガ窒素五百六十「トン」、磷酸四百
十「トン」、加里ガ百十二「トン」ト云フコトニ
ナツテ居ツテ、即チ神奈川縣下ノ農村ニ配
ラレレ配給肥料ヲ有機、無機合計致シマシ
テ窒素ガ二千五百「トン」、磷酸ガ千「トン」、
加里ガ百十二「トン」、多少細カイコトハ違
ツテ居リマスガ、之ヲ前年同期ノ一月カラ
配給サレタ肥料ニ比ベテ見ルト、「パーセン
テージ」ハ窒素二四％、磷酸五四％、加里八
二％ノ激減ニナル、是デ以テ昨年以上ノ増
産ヲ圖レト云フコトハ、農家トシテハ苦痛
デアルト考ヘテ居リマス、斯ウ云フヤウナ
譯デアリノ縣デモ縣廳及ビ縣農會ハ政府ノ方
針ニ從ツテ自給肥料ノ増産ヲ極力實行スル
考ヘデアリマスケレドモ、今申ス通りノ實
情デアツテ、洵ニ困ツタコトデアルト思フ、
是モ今申シタ尿尿ノ利用スルコトヲ十分ニ
完全ニセラレタナラバドウナルカ、之ヲ一
寸調ベテ見マス、丁度横濱、川崎、横須
賀ノ尿尿ノ一箇年分ヲ假ニ積算シテ見ルト、
二百八十三万八千石ト云フ龐大ナ不潔物ノ
數字ガ出ル、之ヲ肥料ノ成分ニ換算シテ見
マス、窒素ガ三千「トン」、磷酸ガ七百
「トン」、加里ガ千四百「トン」デアツテ、殊
ニ尿尿ノ中ニ加里ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、是ハ尿尿検査所デ計算サシタノデアリ
マスガ、是等ヲ今年度ニ割當ラレタ肥料ニ
對シテ比ベテ見ルト、窒素ガ六〇％、磷酸ガ
二〇％、加里ガ逆ニ一七〇％割當ラレタヤ
ウニ澤山ノモノガ出來テ來ル勘定ニナル譯

デアリマス、デアルカラ此ノ尿尿ノ利用ト
云フコトハ容易ナラザル問題デアルノデア
リマス、殊ニ都市ノ衛生保持ノ爲ニ、又健
康増進ノ爲ニ非常ナ問題デアリマス、是ハ
農林省ノ考ヘト云フヨリハ、寧ロ私ハ内務
省ヤ厚生省ガ斯ウ云フコトヲ放ツテ置イテ、
市民ノ健康ナドヲ言ツテ居ルノガワカシ
イ、是ハ餘談デスガ、此ノ間「ロンドン」カラ
昨年ノ春歸ツテ來タ人ノ話ニ、空襲下ノ「ロ
ンドン」デ一番困ルノハアノ始末デ、尿尿ガ
堆積スル爲ニ非常ニ防空壕ノ中ガ臭氣紛々
デ不潔ドドウニモ仕方ガナイト言ハレマシ
タガ、全ク都市ノ惱ミデアリマス、之ヲ適
當ニ利用シテ、金ヲ少シ掛ケレバ一石二鳥
即チ農産資源ニ還元スルコトガ出來ルノデ
アリマス、單ニ尿尿ダケノコトヲ申シマシ
タガ、下水設備トカ、塵芥處分トカ云フコ
トニナツテ來ルト、中々大キナ問題デア
ルと思ヒマス、塵芥ノ如キモ神奈川縣デ農會
ガ扱ツテ居ルノハ、横濱市ダケデ塵芥ヲ無
茶苦茶ニ焼イテ、其ノ灰ヲ中ノ危險ナ物ヲ
取除イテ、依ニ入レテ農村ニ賣ツテ居ルノ
デアリマスケレドモ、是ナドモ一年ニ横濱
市ダケデ十三貫俵ニシテ四万八千八百餘俵
ヲ昨年扱ツテ居ル、是ノ肥料成分ヲ見ルト、
磷酸ガ八千四百貫、加里ガ十八万六千貫ノ
内容ヲ持ツテ居ルト云フコトガ分ツテ居
ル、此ノ塵芥處分ニ付テ、今私ハ横濱市ニ
向ツテ色々要求シテ居リマスガ、是ダケノ實
情ニ對シマシテ目下本省ニ於テハ、此ノコ
トトシテデハナク、多少ノ助成ヲ戴イテ居
リマスガ、サウシテヤルニハドウシテモ貯
溜槽ヲ農村ニ作ツテ、ソレヲ巧ク持ツテ來
ル、ソレカラ配給ノ設備機關ヲ適當ニ助成
スルコトガ必要デアリマスガ、都市デモ相

當ニ困ツテ居ツテ、或ル程度マデ金ヲ出ス
覺悟ヲシテ居ルノデスカラ、是ハ一ツ農林
省デ——是ハ農林省ノ専門ノコトデナク、
寧ロ厚生省ヤ商工省ノ關係デアリマスガ、
適當ニ各三省ニ於テ速カニ御協議ニナツテ、
今肥料ノ足ラナイ最中ニ斯ウ云ツタ大キナ
資源ヲ放置シテ、一方ニハ健康上、衛生上
ノ凡ユル損害ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ御
考慮願ヒタイ、是等ニ付テノ御考ヘヲ拜聽
致シタイト思フノデアリマス
○三浦（一）政府委員 大都市ノ尿尿ノ處理
問題ハ衛生上ノ觀點カラ見マシテモ、又肥
料トシテ利用シマスル方面カラ見マシテモ
重要デアリマスルコトハ、小串サンノ仰シ
ヤル通りデアリマシテ、實ハ私内閣ニ居リ
マシタ際ニモ、此ノ都市ノ尿尿問題ニ付テ
ハ關係省ト屢次會議ヲシタコトモゴザイマ
シテ、能ク事情モ聞イテ居ルノデアリマス、
是ハ他所ノコトデゴザイマスケレドモ、現
在ノ設備デハ中々運ビ切レナイト云フノ
デ、御説ノ通り海洋投棄ヲシテ居ル譯デア
リマス、船舶等モ足リマセヌモノデスカ
ラ、船舶ノ手當ヲスルコトニモ御協力申上
ガタコトガアルノデアリマス、現在ノ尿
尿處分デ一番難點ニナツテ居リマスノハ、
結局輸送ノ關係デゴザイマス、即チ「トラッ
ク」ト之ヲ運轉スル油ガ足リナイ、是ハ實
ニ苦シミ抜イテ居ルノデアリマスカラ、商
工省、厚生省、農林省、内務省等ガ實ハ從前
ニモ寄りマシテ、色々協議シタコトモゴザ
イマスガ、尙ホ機會アル毎ニ之ヲ促進シタ
イト考ヘテ居リマス、同時ニ東京ノ例ヲ取
リマス、大體東京ノ都心カラ十二哩ノ範
圍マデ之ヲ運搬スルコト云フ計畫ニ一應ナツ
テ居ツタヤウデアリマス、其ノ地區内ニハ

農林省トシマシテハ從前ノ經濟更生計畫ノ中ニ特別助成ノ仕事ガアツタノデスガ、ソレニモ相當投入レマシテ、貯溜槽ヲ相當増設シタノデアリマス、ソレカラ現在モマダ若干ノ助成金ハ持つテ居リマス、唯此ノ頃「セメント」ガナイノデアリマスカラ、從前ヨリハ非常ニ減ツテ參ツテ居リマス、サウ云フ風ナ資材ノ關係、交通、運輸ノ關係上カラ言ツテモ困難ガアリマスケレドモ、是非トモ其ノ困難ヲ排除シマシテ、此ノ方面ノ肥料ヘノ利用ニ盡力シタイと思ヒマス

尙ホ肥料事情ガ段々窮屈ニナツテ參ツタモノデアリマスカラ、舊臘以來關係ノ團體ヲ總動員シマシテ、此ノ尿尿ノ利用、ソレカラ塵芥等ノ利用ニ付キマシテモ、現在ハ各方面ノ協力ヲ借りテ今運動ヲ展開シテ居ル譯デアリマス、同ジ都市デアリマシテモ、名古屋ナドハ實ハ夜間ノ電車ノ利用等デ相當實績ヲ擧ゲテ居ル例モアリマス、唯東京トカ横濱ナドニハ運搬電車ガ實ハナイノデアリマス、サウ云フヤウナ點ガアリマスカラ、急速ニハ行カナイと思ヒマスケレドモ、尙ホ農林省トシマシテハ、重要問題デアリマスカラ、十分考究シテ努力シテ參リタイ、斯ウ考ヘマス

○小串委員 私ハ時間ヲ大分取りマシタカラ是デ止メマスガ、尙ホモウ一ツ希望ヲ申シテ置キタイノハ、大分本省デモ御注意ノヤウデアリマスガ、十三大都市トシテノ尿尿處分ヲ考ヘマス時ニ、是ハ可ナリノ肥料ニナルと思フノデアリマス、是ハ農林省ダケデハアリヤセヌカラ、寧ロ内務省及ビ厚生省ニ於テモ或ル程度マデ協力スルヤウニ御協議ヲシテ戴キタイと思ヒマス、以上ヲ以チマシテ質問ヲ打切りマス

○三善委員長 此ノ際御諮リ致シマス、マダ質疑ノ通告ハ大分アリマスケレドモ、大臣ノ御都合ガアツテ午前中ハ御出席ガアリマセヌ、其ノ他政府委員ノ出席ヲ請求致シテ居リマスケレドモ、マダ御見エニナツテ居リマセヌ、ダカラ其ノ政府委員及ビ大臣ガ來ラレタ際ニ質疑ヲ許スコトニ致シマシテ、委員外大島寅吉君カラ質疑ヲ致シタイト云フ申出ガアリマスガ、之ヲ許シテ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○三善委員長 ソレデハ大島寅吉君ニ發言ヲ許シマス——大島君

○大島寅吉君 私ハ農業藥品ニ付キマシテ最モ簡單ニ御伺ヒ致シタイと思ツテ居ルノデアリマス、今日食糧問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、米麥増産ノ凡ユル施設ニ對シテ農林省ガ御努力ニナツテ居ルコトハ能ク了承致シテ居ルノデアリマス、併シ今日金肥ノ不足等ヨリ見マシテ、肥料ニ依リ或ハ増反等ニ依リマシテ米麥ノ増産ヲ圖ルト云フコトハ容易デナイノデアツテ、寧ロ減産スルコトヲ漸ク防止スルト云フ位ナ消極的施設ニ終ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、此ノ時ニ於キマシテ私ハ農業藥品ヲ十分ニ使用致シマシテ、種子ノ消毒或ハ病蟲害ノ驅除ト云フヤウナコトニ御努力ナサレバ、私ガ考ヘマスト優ニ米麥ニ對シテ二割位ノ增收ヲ圖ルコトガ容易デナカラウカト思フノデアリマス、極ク少ク見マシテモ千万石位ノ増産ハ容易ナコトデアラウト思フノデアリマス、ソコデ御伺ヒ致シタイノハ、只今オヤリニナツテハ居リマセウガ、ドシナ工合ニ農業藥品ヲ使用スルコトヲ指導サレテ居リマスルカ、之ニ付テ御伺ヒシ

テ見タイと思フノデアリマス

○岡本政府委員 御説ノ通り農業藥品ノ供給量、殊ニ第三國ニ仰イデ居ツタ「デリス」根或ハ砒酸鉛、サウ云フモノニ付テハ窮屈ノ度ガ加ハツテ居リマス、仍テ此ノ際ニ處スル方法ト致シマシテハ、假令一匁ノモノト致シマシテモ節用ノ上ニ節用ニ努メル、又或ル場合ニハ展着劑ヲ之ニ加ヘテ用ヒテ多少稀薄ナル成分ヲ以テシテモ效果ガ相當ニアルヤウニスルト云フ點ニ付キマシテ、各農村指導者等ニモ呼掛ケマシテ、此ノ節用ニ付テ専ラ努メテ參ツテ居リマス

○大島寅吉君 現在ノ道府縣其ノ他ニ於キマスル使用狀況、之ヲ全部聽ク譯デハアリマセヌガ、主ナル府縣ハドウ云フ所ガ多ク此ノ藥品ヲ用ヒテ居リマスカト云フヤウナコトニ付テ其ノ現狀ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○岡本政府委員 御尋ネノ府縣別肥料實績ニ付キマシテハ生憎此處ニ其ノ資料ヲ持つテ居リマセヌデスガ、御希望トアレバ調査シテ後程申上ゲタイト存ジマス

○大島寅吉君 突然ノ御尋ネデアリマスカラ府縣別實績ナドニ付テ資料ヲ御持チニナラスト云フコトハ、御尤モデアリマス、私ハ別ニソレヲ追求スル譯デハアリマセヌガ、私ノ聞イテ居リマス所ニ依リマス、大體青森縣或ハ靜岡縣、和歌山縣乃至ハ北海道トカ新潟ト云ヤウナ所ガ大體餘計用ヒテ居ルヤウデアリマス、併シ是等ノ地方ニ於テ此ノ藥品ヲ多ク用ヒルト云フコトハ寧ロ果樹ニ對シテ用ヒルノデアツテ、大體林檎デアルトカ、蜜柑、梨ト云フヤウナモノガ出來ル爲ニ、斯ウ云フモノニ用ヒル方ガ多イノデアリマス、實際米麥ニ對シテ今日使

用シテ居ルノハ僅カニ東京附近或ハ埼玉縣邊リ、或ハ宮城縣ガ稍々獎勵シテ居ルト云フコトデ、事實ハ殆ド米麥ニハ用ヒラレテ居ラナイ、果樹ニノミ多ク用ヒラレテ居ルノデアツテ、甚ダシキハ多ク來ナイ爲ニ閣等ニ於テ果樹ノ方ニモ流レテ居ルト云フコトマデ聞クノデアリマス、併シ別ニ今是ノ調査ガ分ツテ居ラスト云フ御話デアリマスレバ、私ハソレ以上ハ追究致シマセヌガ、私ノ聞キマシタ範圍ニ於テハ左様ニ聞イテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ點モ十分ニ一ツ御研究ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、就キマシテハ尙ホ農業藥品ハ現在全國ニドノ位ノ金額ガ用ヒラレテ居リマスルカ、是モ極ク大雜把ナ金額デ宜シイノデゴザイマスルカラ、細カイ數字ハ宜シウゴザイマスガ、ドノ位ニナリマスカ

〔委員長退席、岩瀨委員長代理着席〕

又農林省ノ本年ノ食糧、農產物増産ニ關スル經費ハ四千万圓バカリデアリマスルガ、今ノ農業藥品ニ對シテモ相當金額ガ計上サレテ居ルト云フコトモ聞キマスケレドモ、ドノ位ノ金額ガ明十七年度ニ於テハ計上サレテ居リマスカ、又是ハドウ云フ方面ニ御使用ニナル御考ヘデアリマスルカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイと思ヒマス

○三浦（一）政府委員 農業藥劑ラドウ云フ方面ニ使用サセルカト云フコトデアリマスガ、是ハハツキリ致シテ居リマシテ、昨年ノ天候ガ非常ニ惡カツタノデ、稻熱病防除其ノ他ニ農林省トシテ非常ニ苦心ヲ拂ツタノデアリマス、即チ所要ノ藥劑ガ資材ノ關係デ手ニ入ラナイ、ニモ拘ラズ商工省ニ話シマシタ所、商工省デハ特ニ他ノ關係カラ此ノ方面ニ供給シテ呉レマシタ、又逡信省ニ

於キマシテモ實ハ選信省ノ業務用ノ分マデ割イテ食糧増産ノ爲ニ必要トアラバ出シテヤラウト考ヘテ與レタ位ノ重要ノ資材デアツタ譯デアリマス、之ヲ夏分ノ稻熟其ノ他ニ重點ノニ配給シテ居ル、是ハ私モ現ニ宮城縣デアルトカ、福島縣デアルトカ、其ノ他ノ地方ヲ見マシタガ、重點的ニ其ノ方面ニ向ケテ居リマス、其ノ指導方針ノ下ニヤツテ居リマス、今後モヤハリ主要食糧ノ増産ニ重點ヲ置イテ、斯様ナ貴重ナ農業藥劑ハ使用サセタイ、同時ニ之ヲ確保シマスル爲ニ今回農業生産統制令等モ制定致シマシテ、或ル程度ノ團體ノ統制ノ下ニ實施シ得ル途モ段々開ケテ參リマスシ、一層徹底スルコトト期待致シテ居リマス、ソレカララドレ位ノ金額ヲ計上シテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ増産獎勵金其ノ他相當ノ金額モアリマスシ、是モ御手許ニアリマスル豫算書ニ仔細書イテアリマス、唯藥劑トシテ幾ラト云フ風ニハ計上シテ居リマセス、大體農林省ノ指導方針トシテハ重點的ニ此ノ増産獎勵金ヲ運用シテ參リタイ、隨ヒマシテ、外ノ仕事ハヤラナクテモ此ノ農業藥劑ニ十分使ヒタイ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ、其ノ方面ニ重點的ニ之ヲ運用シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、藥トシテ何ボト云フヨリ農業増産對策トシテノ經費ガ相當額アリマスカラ、之ヲ運用シテ來年度ノ増産ニ對處シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○大島實吉君 農藥ハ最近二、三年漸ク勃興シツツアリマスガ、農藥ノ製造ニ對シマシテハ、特ニ何カ獎勵デモシテオヤリニナル御考ヘデアリマスカ、最近聽ク所ニ依リマスト、何カ原料不足トカ云フヤウナコトデ、

非常ナ統制ヲヤラレテ、寧ロ折角此ノ一二、三年勃興シ掛ツテ來テ居ル農藥ノ製業者ヲシテ萎縮セシムルヤウナコトヲ聽イタノデアリマスガ、之ニ對シマシテ所謂製業者ニ對シテ何カ特ニ獎勵デモサレト云フヤウナ方法ヲ御執リニナツテ居リマスカ

○三浦(一)政府委員 農ノ製産ニ付キマシテハ、是ハ事變以來非常ニ力ヲ入レテ來テ居リマス、即チ資材ノ供給ニ付キマシテハ最優先ト云フ權利ヲ與ヘテ居リマス、農業藥劑ニ付キマシテモ、一般藥劑ト同ジヤウニ非常ニ優待シテ、資材ノ供給ヲ圖ツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ資材ヲ確保スル場合ニハ、從前デゴザイマスト、國內デ生産スルモノト外國カラ入ルモノト二ツアツタ、ソコデ國內デ生産シマスモノニ付キマシテハ生産資材並ニ原料ヲ確保スルト云フコトデ、是ハ實ハ物資動員計畫等ノ方針モサウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレカラ外國カラ入リマスモノモ實ハ是ハタツプリ入レヨウト云フコトデ從來ヤツテ來タ經過デアリマシテ、同時ニ此ノ農業藥劑ニ付キマシテモ、農林省ハ熱心ニ其ノ主張ヲ堅持シテ今マデヤツテ參リマシタ所ガ昨年來資産凍結等デ第三國、即チ英米ノ地域デアルトカ、或ハ獨ソ開戦ニ伴ヒマシテ歐洲等カラ來ナイモノガ出來テ參ツタモノデスカラ、此ノ第三國カラノ輸入ニ非常ニ困難シテ居ル、殆ド不可能ニナツテ居リマス、國內ノ方ニ付キマシテハ所謂物動計畫等ニ付キマシテハ資材ヲ優先的ニ配給スルト云フヤウナ方針ノ下ニ進ンデ居リマスカラ、相當ニハ他ノモノヨリ重ンゼラレテ保護助成シテ居ル、斯ウ云フ形ニナツテ居リマスカ

○岡本政府委員 ソレハ大體斯ウ云フ狀況ハ硫黃合劑トカ云フヤウナ原料ノ供給量ノ激減致シマシタモノニ付テ、今後其ノ製造ヲヤツテ行キマス上ニ於テ、從來ノ在ルガ儘ノ多數ノ散在シタ小規模ノ業者ヲ自治の申合セニ依ツテ又配給上ノ便宜ヲモ考ヘマシテ、從來ノ實績モ考慮スルトカ致シマシテ、之ヲ統合スルト云フコトデ、農業整備委員會ト云フヤウナモノヲ關係業者ヲシテ結成セシメマシテ、其ノ委員會ヲ中心ニ協議サシテ居リマス、大體硫酸鉛外五品目ニ付テハ先日意見ノ一致ヲ見タト承知シテ居リマス、今マデ統合上ニ付テハ大體サウ云フヤウナコトガ行ハレテ居ツタノデアリマスカ

○大島實吉君 私ハソレ以上製造家ノコトニ對シテハ申シマセヌガ、私ノ聞ク所ニ依リマス、銅ノ製劑デアルトカ、酸鉛ト云フヤウナモノニ對シテハ、原料ガ不足デアルト云フ關係デ統制サレタ爲ニ、折角發展勃興セントシツツアル此ノ一二、三年ノ情勢ヲ全ク萎縮サセテシマフヤウナ狀態デアルト云フコトデアツテ、藥劑ノ使用等モ少ナイガラウト云フヤウナコトヲ申シテ居リマスカ、先程私ガ申上ガマシタ全國ニ於テドノ位御使用ニナツテ居リマスカ、伺ヒマス

○岡本政府委員 今ノ御尋ネガハツキリ致シマセヌデシタガ、數量ノ御尋ネデアリマスレバ此ノ程度ノコトヲ申上ゲ得ルト思ヒマス、デリス根ノ如キ「マレー」方面ノ第三國カラ輸入シテ居ツタモノデアリマスカ、

大體今年ハ昨年ノ半分弱ト云フモノヲ配給シ得テ居ル或ハ併シ此ノ米作ニ主トシテ用ヒマス硫酸銅ノ如キモノデスト昨年ヨリハ今年八九%バカリ増配シタト云フヤウナコトガ大體ノ狀況デアリマス、例ヲ以テ大體ノコトヲ申上ゲマス

○大島實吉君 私ノ聽クノハ、一々何ガ幾ラト云フヤウナコトデナシニ、一體日本全國ニ對シテハ、肥料ハ何處圓位使用スルト云フコト位ハ、恐ラクハ農林省トシテ御即答ガ出來ルデアラウト思フノデアリマス、隨テ私ハ農藥品ハドノ位ノ金額ヲ用ヒテ居レルカ、極ク大雜把デ宜シイカラト云フ質問ニ對シテモ、今マダ明確ナ御答辯ガ出來得ナイコトハ、私ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、隨テ農藥ト云フコトニ對シマシテハ、農林當局ハマダ左程深イ關心ヲ御持チニナツテ居ラヌト斯ク申上ゲテ見タイノデアリマス、現ニ今ノ銅製劑ノ如キモノデモ原料ガ不足デアルト云ハレマスケレドモ、是モ用ヒテ幾ラデモ原料ヲ節約スルコトガ出來ル、現ニ米麥等ニ最モ必要ナ硫酸銅ノ如キモノ「トシ」一箇年ニ使フノデアリマスカ、其ノ中ノ三分ノ一ハ色々ノ銅ノ製劑トシテ用ヒ、アトノ三分ノ二ノ四千「トシ」ハ其ノ儘使フノデアリマシテ、寧ロ是ハ銅ノ成分ガ多過ギテ却テ藥害ヲ來ス虞ガアルト云フコトデ、青森縣ノ如キハ石灰ヲ多量ニ入レテ居ル、石灰ヲ多量ニ入レルト云フコトハ要スルニ銅ノ成分ヲ緩和シテ有效成分ヲ少クスルト云フコトニナルノデアリマスカ、斯ウ云フ工合ニシテ用ヒテ居ルト云フ實情デアリマスカラ、御研究ニナリマシタナラバ、マダ幾多斯ウ云フ資材ニ對シテモ、節約モ出來、又良イモノモ出

來ルト思フノデアリマス、是ガ私ガ先程申シ
タ製造家ノ獎勵デモナサツテ居ラレカ否
ヤト云フコトニモ關聯シテ御伺ヒスルノデア
リマスガ、今此處デ何ガ幾ラアル、カニガ幾ラ
アルト云フヤウナ、一々ノ農藥肥料ニ對シテ申
上ダルトコトハ時間ガアリマセヌカラ止メマス

モウ一ツ伺ヒタイノハ、先程モ御説明ノ
中ニモアリマシタガ、展着劑等ヲ使ツテ成
ベク有效ニサセルヤウニスルト云フ御話デ
アリマスガ、私ノ承知致シテ居リマスル所
ニ依リマス、大豆展着劑トシテ一萬石以
上ノモノヲ年々農林省ガ滿洲カラ輸入シテ
御使用ニナツテ居ルコトハ分ツテ居ルノデ
アリマス、然ルニ今食糧問題ノ喧シイ、殊
ニ豆腐ナドハ東京バカリデナク、全國デモ
殆ド食ベラレナイヤウナ場合ニ、展着劑ト
致シマシテ大豆ナドヲ用ヒナクデモ、更ニ
礦物性ノモノデアツテ成績表カラ言フト寧
ロ大豆ノ展着劑ヲ用ヒルヨリ以上ニ效力ガ
アル、成分ノ分析表ナドモアルノデアリマ
スルガ、先ヅ是ハ學者ノ議論ハ別ト致シマ
シテモ、假ニ是ガ銅ヨリ以上ノ效力ガナイ
ト致シマシテモ、斯様ナモノニ對シマシテ
ハ、豆腐モ食ベラレナイヤウニ食糧不足ノ
場合ニハ、食糧ノ方ニ一萬數千石ノ大豆ヲ用
ヒルヤウニシテ、サウシテ礦物性ノモノヲ
以テ展着劑ニ御使用ニナルコトガ適當ナリ
ト思フノデアリマスルガ、斯様ナ點ニ付テ
モ多少御研究ニナツテ居ルノデアリマスル
カ、御分リニナツタラ御伺ヒ致シマス

今其ノ結論ヲ申上ダレ程ニナツテ居リマセ
ス
○大島實吉君 私ハ質問ヲ致ス際ニ農藥ニ
付テ質問ヲ致シタイト云フコトヲ豫メ申上
ゲテ居ツタノデアリマスルカラ、モウ少シ
農藥ノ専門的知識ヲ御持チニナル方、政府
委員デナクモ説明委員トシテ御出席ニナ
ツテ居ルモノト思フタノデアリマスルガ、農
藥ノコトヲ申上ダレコトハ少シク次官ヤ局
長サシニハ御無理カモ知レマセヌシ、私ハ
是レ以上ハ申上ダマセヌガ、斯ウ云フコト
ヲ最後ニ一ツ御註文ヲ申上ダテ置キタイト
思フノデアリマス、是ハ農藥ハ現在用ヒ
テ居ルモノハ數十種アリマスルガ、其ノ中
デ昨年農林省ガ指定サレタ統制品目、統制
ノ農藥ノ中ニモ原價ニ於テ殆ド損ニ近イヤ
ウナモノモアルノデアリマス、又中ニハ一
面カラ言フナラバ非常ナ暴利ニモナルヤウ
ナモノモアルノデアリマス、隨テ私ハ此ノ
點ヲ「メーカー」ノ言フコトノミヲ聽カズ
ニ、十分研究ナサツテ、サウシテ原價計算
等モナサレテ、折角農家ノ必要ナモノモ、
全ク損マデシテ奉仕ハ出來ナイカラ、ソコデ
自然出來ナクナルト云フヤウナコトデハ、
農家ノ必要ニ應ジナイコトニナリマスルカ
ラ、斯ウ云フモノニ對シテハ、相當利潤ヲ
與ヘルヤウニ願ヒタイ、又先程私ガ申上ダ
マシタヤウニ、暴利ニ近イヤウナモノガア
ルノニ對シマシテハ、原價計算ニ依ツテ安
ク之ヲ使ハセルト云フコトニ對シテ十分ナ
ル御考ヘヲ御持チニナツテ戴キタイ、私ハ
何ガドノ位儲カルモノデアリ、何ガ儲カラ
スト云フヤウナコトモ大體知ツテ居リマス
ルガ、私ハ今此處デ左様ナコトハ申上ダハ
セヌ、ソレハアナタ方技術官ニ能ク御話ニ

ナツテ御研究ニナレバ分ルコトト思ヒマス
ルカラ、私ハ此ノ點ヲ當局ニ御注文ヲ致シ
マス、又甚ダ失禮ナ言ヒ方デアリマスルケレ
ドモ、私ハ農藥ヲ全國ニ普及スルコトニ依
ツテ、先程モ申シタ通り一千万石位ノ米麥
ニ對スル增收ハ易々タル問題デアル、私ハ
二割ノ增收ハ容易デアルト考ヘルノデアリ
マス、斯ウ云フ位ニ考ヘルノデアリマスカ
ラ、モウ少シク農藥方面ニ對シテ御關心ヲ
持ツテ御研究ナサレンコトヲ私ハ希望致シ
マシテ、私ノ質問ハ是デ止メマス

○三浦(一)政府委員 大島君ノ最後ノ御
意見ノ中ニ農藥ノ代用ニシテ代用シ得ベキ
モノハ研究ノ上ニ之ヲ活用スルヤウニト云
フコトデゴザイマシタガ、是ハモウ其ノ通
リニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ是ハ技術
官ノ方ニ命ジマシテ能クヤリタイト思ヒマ
ス、但シ具體的ニ御話ハゴザイマセヌガ、
其ノ程度デ言付ケテモ向フデ分ルコトト思
ヒマス、ソレカラ價格ノ問題ニ付キマシテ
モ、尙ホ不合理ナモノガアルト云フコトデ
アリマスルガ、是モ能ク取調ベテ研究サセ
マス、ソコデ代用ノ材料ノ問題、價格ノ問
題デスガ、此處デハ一々大變デゴザイマセ
ウカラ、若シモ御注意下サイマスト、具體
的ナ問題トシテ又研究モサセマスルシ、適
切ナル處置ヲ執ラセルト云フテハ異存ハ
ゴザイマセヌカラドウゾ……ソレカラ農藥
ヲ普及サセルニ付テハ、御意見ノ通り吾々
トシテモ今後熱心ニ此ノ供給ノ確保ニ盡力
シタイト思ヒマス、決シテ此ノ方面ニ無關
心デアルト云フノデハゴザイマセヌカラ、
此ノ點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○岩瀬委員長代理 本日午後政府カラ祕密
會ヲ要求サレテ居リマスカラ御承知置キラ

願ヒマス、一時半マデ休憩致シマス

午後零時十分休憩

午後一時三十九分開議

○三善委員長 只今ヨリ會議ヲ開キマス、
政府ノ方カラ祕密會ノ要求ガアリマシタノ
デ、此ノ際祕密會ニ致シタイト思ヒマス、
議員及ビ政府關係以外ノ方ハ御退場ヲ願ヒ
マス

〔午後一時四十分祕密會ニ入ル〕

〔午後二時五十九分祕密會ヲ終ル〕

○三善委員長 祕密會ヲ解キマス、北君ノ
先般留保シテ居ラレタ纖維局長ニ對スル質問
ヲ局長ガ見エテ居リマスカラ此ノ際御願ヒ
致シマス——北勝太郎君

○北(勝)委員 農村ノ衣類ノ點數ガ八十點
デ都市ガ百點ト云フノハ、是ハ逆デヤナイ
カト思フノデアリマシテ、其ノ理由ガドウ
シテモ私ニハ分ラヌノデアリマス、ソレヲ
一點承リタイ、ソレカラ特ニ樺太、北海道
ノヤウナ酷寒地モ暖地モ畫一的ナ點數デア
ルト云フコトハ、是モ分ラナイノデアリマ
シテ、何カ手心ガアルノデアルカドウカ、
モウ一ツハ現在農村ノ商人購買組合等デ持
ツテ居リマスル衣類ハ、實ハ農村ノ經濟力
ノ關係カラ非常ニ安イ粗惡品ヲ多ク持ツテ
居ル、隨テ非常ニ傷ミ易イノデスガ、此
ノ過渡期ニ於ケル何カ緩和サレル方法ガナ
イカ、農村デハ斯ウ云フ點數ニナリマス、
値段ガ高クテモ宜イカラ、質ノ良イモノヲ
買ハナケレバナラヌコトニナルノデスガ、
仕入レタ商人ハ恐ラク元自分ノ手ニ入ツタ
モノヲ賣ツテシマフマデハ次ノ仕入ヲシナ

イ、足袋が一週間破レタト云フヤウナコトヲヨク聞クヤウナ狀況デス、是等モ都會ノヤウニ勝手ニ良イ店ニ行ツテ買ツテ來ルコトガ出來スト云フヤウナ農村ノ狀況デハ、非常ニ困ルコトニナルノデハナイカト思ヒマス、此ノ三點ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○梶原政府委員 都市ト農村トデ衣料ノ切符ノ點數ヲ變ヘタノデアリマスガ、從來ノ色々ノ調査ヲ參考ニシ、一應百點ト八十點トノ相違ヲ付ケタノデアリマス、唯的確ナル資料ガ實ハナイノデアリマス、大體ノ常識——常識ト申スト言葉ハ常ラナイノデアリマスケレドモ、其ノ考ヘ方カラ見マシテ、金額ノ點數言ヒマス、都會地ノ纖維製品ノ購入價格ト地方ノモノヲ比ベテ見マス、大體三分ノ一カラ半分位ニナツテ居リマス、又金額ダケデ數量ニ差等ヲ付ケルコトハ、是ハ實情ニ副ハナイノデ適當デハナイト考ヘテ居リマス、金額ハ三分ノ一程度デアリマスケレドモ、數量ハソレ程ノ開キハナイト云フ風ナ點ヲ配合セマシテ、先ツ八割デアレバサウ大キナ不自由ハナイデハナカラウカト云フノデ、都會ト其ノ他ノ區別ヲシタ譯デアリマス、是ハ都會ニ於キマシテモ御承知ノヤウニ收入ノ點ナリ、或ハ職業ノ點等デ考ヘテ行キマス、點數ニ於テ隨分差等ヲ付ケナクテハナラヌノガ寧ロ理窟ノヤウニ思ヒマスガ、ソレヲ一々ヤツテ行キマス、却テ是ハ切符制度全體ニ對シテ適當デハナイカト云フ風ナコトニ相成リマスノデ、施行致シマシタ當初トシマシテハ、大體百ト八十見當ノ所デ實施スルコトニ致シタノデアリマス

尙ホ農村ニ對シマシテハ農村ノ最モ

重要ナ纖維製品トシテノ勞働作業衣等ニ付キマシテハ、是ハ點數カラ除外ヲシマシテ特別ノ配給ニ依ツテ出シテ行ク、ソレヲ點數ニ換算シテ考ヘテ行キマス、大分差ガ縮マルヤウナコトニナツテ行キマス、ソレカラ北海道ノ如キ、或ハ東北ノ如キ、氣象條件上、暖カイ方面ト比ベテ使用量等ニ相當差モアル、之ヲ如何ニスベキカト云フコトモ實ハ色々檢討ヲシテ見タノデアリマス、相當ハツキリシタ所モアリマスケレドモ、其ノ區別ヲシテ行キマス、其ノ外ノ地方ニ於テモ相當山寄りノ方デアリマストカ、色々違ツテ參リマス云フコト、ソレカラ今日ノ切符制度ガ全國ノ地區ニシテ考ヘテ居リマスノデ、地區ノ區別ヲ付ケルト云フコトニ制度實施上一ツノ難點ガアリマシテ、地區制度ヲ採ラナカッタト云フヤウナコトカラ、多少纖維ノ消費量ノ差ハアルニシテモ、先ヅ一律ノ點數ヲ行ク方ガ却テ宜クハナカラウカ、唯寒冷地方ニ對シテハ寧ロ點數ノ問題ヨリモ、其ノ方面ニ適シタ製品ヲ特別ニ廻シテ行クト云フ方面ノ工夫ヲ十分ニスル方ガ宜イノデヤナイカト云フノデ、實質的ニ點數ニ於テハ差ハナイケレドモ、寒冷地方ニハ出來ルダケ其ノ地方ニ適スルヤウナモノヲ今度ハ廻シテ行ク、從來ハサウ云フ方面ニ對スル配給ノ統制ガ整備サレテ居ラナカッタ譯デアリマスケレドモ、今回ハ其ノ點ニ付キマシテモ相當サウ云フ段取ニ應ジテ物ヲ造リ流シテ行ク途ガ立ツテ來マシタカラ、サウ云フ工夫デ處理致シタイ、左様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ購買組合等現ニ手持シテ居ル物ノ處置デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ是ハ購買組合ダケデハナシニ、都會ニ

於キマシテモ、例ヘバ極小サイ小賣店ナドニ於キマシテハ同ジヤウナ事情ガアラウカト考ヘマスケレドモ、ソレヲ此ノ際ニ特別ニ處理ヲシテ、新ラシク良イ品物ヲ廻シテ行クト云フ段取マデ實ハ致シテ居リマセス、若シ實施シマシテ相當顯著ニサウ云フ結果ニナツテ參リマスレバ、ソレ等ニ付テノ對策ヲ考ヘルト云フコトニ致シタイ、斯様ニ現在考ヘテ居リマス

尙ホ足袋デアリマス、靴下等ニ付キマシテハ、ドウシテモ點數ヲ制限致シマスル反面ニ於テ、出來ル限り品質ノ上ニ於テヤツテ行キ得ルヤウナ工夫ヲ致シマシテ、品質的ニ改善ヲシテ、先ヅアノ點數デヤツテ行キ得ルヤウニ致シタイト云フ考ヘノ下ニ、色々ノ對策ヲ簡單ニ講ジツツアル次第デアリマス

○北(勝)委員 作業服ト云フノハ今マデ常識的ニ言ツテ居ルノハ上着ダケデハナイト思ヒマス、「ジャツ」「ズボン」下ガ其ノ中ニ入ルカ、之ヲ承リタイ

ソレカラドウモ都市ト農村トノ點數ノ差ハ、從來ノ所謂實績ト云フモノニ重キヲ置イテ決メラレタヤウデスガ、最低限度サヘモ賄ヘルカドウカト云フ配給ヲスル場合ニ、從來ノ實績ヲ考ヘラルベキデヤナイ、茲ニ大キナ誤リガアルノデヤナイカト考ヘルノデス、此ノ點如何デスカ

モウ一ツハ地區別ノ差ヲ付ケ難イト言ハレルノデアリマスガ、既ニ都市ト農村ノ地區別ノ差ヲ付ケテ居ル、ソレニ寒暖兩點ノ差モ付ケヨウトスレバ付ケ得ル譯デアルト思フ、此ノ點モドウ云フ譯デアルカ、之ヲ一ツ……

○梶原政府委員 「ジャツ」ト「ズボン」ハ作

業衣デアリマス同時ニ、一般ノ消費生活部門衣料デモアルノデアリマシテ、勞働作業衣トシマシテ特別ニ點數カラ除外シテ配給致シマスモノニハ、「ジャツ」等ハ含シテ居ラナイ譯デアリマス

ソレカラ點數ノ點デアリマスガ、最低限度トナリマス、御説ノ通りニサウ差ガアルベキモノデハナイ譯デアリマスケレドモ、ソレニシマシテモ先ヅ或ル程度ノ差ハアツテ宜クハナカラウカ、ト申シマスノハ、結局全體ノ生産量ヲアノ百點ナリ八十點ノ點數ヲ基礎ニシマシテ生産計畫ヲ立テテ行ク、サウシマスルト若シ實際ニ地方ノ方ガ數量ガ少イトシマス、ソコニ生産計畫上一ツノ相當大キナ齟齬ガ出テ來ルノデアリマス、ソレヲ實ハ懸念致シマシテ、先ヅ差ヲ付ケテ實施シテ行ク、其ノ結果ソコニ實際上、非常ナ不合理ガ起ツテ來ルヤウデアレバ、是ハ一ツ是正シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、寒冷地帯ノ點數、地域ノ差ノコトデアリマスケレドモ、勿論都市ト地方ト分ケマシタヤウニ、寒冷地帯等ニ付テ特別ノ切符ヲ出ストカト云フ風ナコトハ、ヤレナイ譯デアリマス、併シ切符制度トシテハ出來ルダケ單純ニ行キタイ、其ノ方ガ結局全體ニ分リモ宜イシ、慣レルマデハ出來ルダケ單純ニ行クト云フ考ヘ方ヲ採リマシタノデ、都會ト地方ト區別スル程度ニ止メテ、ソレ以上ハ年齡ニ依リマス差異、氣象ニ依リマス差異、或ハ職業ニ依リマス差異ト云フヤウナモノハ、此ノ制度實施ノ當初トシテハ、實施シナイト云フ考ヘ方デ參ツタ譯デアリマス

○富吉委員 之ニ關聯シテ私ハ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、今マデノ中ニ御聽キニ

ナツタ方ガアツタカドウカ分リマセスケレ
ドモ、地方ニ於キマシテ私共ハ屢見聞致シ
マスルコトハ、一般ニ配給品ハ品ガ良クテ
値段ハ安いガ、自由販賣品ハ品ガ悪クテ値
格高イ、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデ
アリマス、ソコデ國民學校ノ兒童ノ通學服
或ハ猿股、靴下、或ハ女子用ノ「スカート」
ト云フヤウナモノハ、御承知ノ通り腕白盛
リノ者トシテハ、配給品デゴザイマス相
當持チガ宜シイノデアリマスガ、自由販賣
品ト云フモノハ極メテ持チガ悪クテ、經濟
上モ困リマスルシ、又點數ノ上カラ言ツテ
モ、非常ナ矛盾ガ出テ來ルト云フノデアリ
マスガ、私共一體サウ云フコトヲ能ク存ゼ
ナイノデアリマスルガ、ドウ云フ譯デコン
ナニ違フノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ御説
明願ヒマス

○梶原政府委員 一番大キナ理由ハ、特別
ニ配給致シマスルモノノ原料關係デアリマ
ス、御承知ノヤウニ比較的安クテ品質ノ良
イモノハ綿デアリマス、隨テ特別ニ配給致
シマスルモノハ、多ク特免品ト云ツテ居ル
ノデアリマススケレドモ、本綿ニ適宜「ス・フ」
等ヲ混ゼタモノヲ廻シテ居ル、田舎ニハ
純綿ノモノモアルノデアリマス、サウ云フ
モノハ中上ガレマデモナク、原料關係ノ數
量ノ十分デナイ點カラ、勢ヒ供給スル數量
ヲ制約セザルヲ得ナイ、併シ數量ハ少イケ
レドモ、今申上ゲマシヤウナ理由デ、比
較的物ハ良イシ、價格モ綿ノ價格カラ採算シ
テ參リマスノデ、相當安イ價格ニ相成ツテ
居ルノデアリマス、自由製品ノ方ハ、サウ
云フ良イ品質ノモノヲ使ヒ得ナイ所カラ、
勢ヒ物モ悪クナツテ、價格モ綿以外ノモノ
ヲ使ヒマス關係上、比較的高クナツテ來ル

ト云フヤウナ結果ニナツテ居ル譯デアリマ
ス

○山田(六)委員 一寸御聴キシマスガ、今
同ノ配給ノ總數ガドノ位ニナツテ居リマス
カ、全國デ僅カニ三億反位アツタナラバ間
ニ合フト云フヤウナ計算ニナルノデハナイ
カト云フヤウニ想像サレルノデシテ、其ノ
内地ノ生産高ハソナモノノデ利カナイ、モ
ットモツト多イト云フヤウニ考ヘラレルノ
デスガ、現在ノ生産高ハ或ル程度壓縮スル
ト云フ御見込ニナツテ居ルノデセウカ、又切
符ノ全體ヲ渡シテ、丁度今マデノ生産ト釣
合ガ取レルト云フ御見込ニナツテ居ルノデ
アリマセウカ

○梶原政府委員 具體的ノ數字ヲ申上ゲル
コトヲ控ヘタイト思フノデアリマスガ、大
體今回ノ切符ニ對應シマスル需給ノ考ヘ方
トシマシテハ、總點數ニ相應シマスル供給
部門トシマシテハ、相當制約サレマシタ所
ノ生産ノ豫定數量、ソレカラ現在相當減ツ
テ參リマシタケレドモ、尙ホ相當數ノ製品
ガ配給ノ段階ニ於テ手持ニナツテ居ル譯デ
アリマス、此ノ數量ハ相當大キナ數量ガマ
ダアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ外
ニ昨年來色々輸出杜絶等ノ關係デ、外地向
キデヤナシニ生産シマシタモノデ、手持ニ
ナツテ居ルモノガアリマス、ソレノ一部等
ヲアノ點數ニ對應シマスル供給力トシテ計
算致シテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ生
産自體トシテハ、從來ヨリ相當程度壓縮シ
テヤツテ行クト云フコトニナツテ居ル譯デ
アリマス

○三善委員長 淺沼君、アナタノ質疑ノ中
地方局長ニ對スル分ガ留保セラレテ居リマ
シタガ、今地方局長ガ御見エニナツテ居リ

マスガ……

○淺沼委員 私ハ昨日生鮮食料品ノ末端配
給ノコトニ付テ農林當局ニ伺ツタノデアリ
マスガ、此ノ際之ニ關聯シテ內務當局ノ御
意見ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、
昨日モ申上ゲタノデアリマスガ、主要食糧
デアリマス米ニ付キマシテノ配給機構ハ、
大體ニ於テ整備ヲシテ居ルト思フノデアリ
マス、色々ノ議論モアルヤウデアリマスル
ケレドモ、米屋ノ商業組合ガ單一的ニ出來上
リマシテ、ソレヲ通シテノ末端配給機構ト云
フモノハ、大體ニ完備シ整理シテ居ルト思フ
ノデアリマスルガ、更ニ此ノ事ハ食糧營團
法ガ制定サレマシテ實施サレマスルナラバ、
今マデヤツテ居リマシタ商業組合ノ機構
モ、此ノ中ニ吸收サレルト云フコトニナリ
マシテ、更ニ整備ヲスル結果ニナラウト思
フノデアリマス、所ガ食糧營團ノ對象ノ中
ニハ、主要食糧デアリマス米麥ハ入ツテ居
ルノデアリマススケレドモ、生鮮食料品ハ入
ツテ居リマセヌ、特ニ魚介類、肉類ノ配給
機構等ヲ考ヘテ見マスルナラバ、整備ヲ要
スベキモノガ非常ニアラウト思フノデアリ
マス、殊ニ是ハ內務省ノ警保局トシテノ見
地ニ立ツテ考ヘテ見マスナラバ、修正ヲ要
スルモノガ多量ニアラウト私ハ考ヘルノデ
アリマス、現在ニ於キマシテハ、大體ニ於
テ單一ナ商業組合ヲ作ラレマシテ、其ノ商
業組合ニ加入ヲシテ居リマスル小賣業者ヲ
シテ登録制ヲ採用セシメテ、所謂買方方ノ
人ヲ登録セシメマシデ、ソレニ依ツテ配給
ヲシテ居ルノデアリマス、併シナガラ米ノ
場合ニ於キマス、大體ニ於テ隣組、町内
會、更ニ交番モ之ニ密着シテ居リマシテ、
非常ニ有機的ニ行ハレテ居ルノデアリマス、

併シナガラ魚ノ登録制ト云フモノハ、全然
隣組及ビ町内會トノ密着ハゴザイマセヌ、
更ニ販賣ニ付キマシテモ選擇ノ自由ガゴザ
イマス、又自由販賣ノ時間モアルノデアリ
マス、サウ云フヤウナ所ヨリ致シマシテ、
今マデノ御得意デアツタ者ヲ登録シテアル、
謂ハバ一番最下部ニアリマス所ノ隣組ト云
ツタヤウナモノハ、隣保共助ノ精神ニ依ツ
テ團結シテ居リマススケレドモ、ソレトハ離
レテ昔カラノ因縁情實ニ依ツテ結バレテ居
ル御得意關係ガ登録制ニナツテ現ハレテ居
ルノデアリマシテ、此ノコトガ非常ニ配給
ノ工合ヲ悪クシテ居ルヤウナ結果ニナツテ
居リハシナイカト思フノデアリマス、ソコ
デ內務當局ト致シマシテハ、此ノ際消費者
組織ト云ツテハ語弊ガアルカモ知レマセヌ
ガ、隣組或ハ町内會ト云ツタヤウナモノヲ
消費者ノ組織タラシメテ、其處ニ消費經濟
部トデモ申シマセウカ、サウ云フヤウナ機
關ヲ設ケテ、ソレニ依ツテ配給ヲ公平ナラ
シメ、又共同購入ヲヤルト云フヤウナコト
ヲ御考ヘニナラヌモノデアリマセウカ、謂
ハバ末端配給ニ付テ消費者ノ組織ヲ如何様
ニ御考ヘニナツテ居ルカト云フ點ガ一點デ
アリマス

第二點ハ、町内會ト云ツタヤウナモノハ、
隣保共助ノ精神ニ基イタ自治ノ組織デハア
リマススケレドモ、最近デハ完全ニ行政ノ延
長ニナツテ居ルノデアリマス、謂ハバ國策
遂行ノ末端機關化シテ居ルノデアリマシテ、
其ノヤツテ居ル仕事ニ致シマシテモ、從來
ヤツテ居リマシタ冠婚葬祭ノ中心トシテ結
合サレテ居リマシタモノトハ違ヒマシテ、
國策遂行ノ最末端ノ機構トシテ大キナ役割
ヲ致シテ居ルト思フノデアリマス、而モ其

ノ費用モ大分高シテ來ルヤウニナツテ居リマス、地方自治團體ヨリノ交付金等モ可ナリアルノデアリマシテ、是ガ助成ニ努メテ居リマス、更ニ其ノ他軍事援護或ハ銓後奉公會等ニ要スル費用等ヲ加算スルナラバ、町内會ニ撥ヒマス金額ハ相當額ニ上ルノデアリマシテ、是ガ監督ガ必要モアラウト思フノデアリマス、ソコデ私ノ御伺ヒシタイト思ヒマスコトハ、町内會、隣組ト云ツタヤウナモノニ一ツノ法的根據ヲ與ヘル必要ガアリハシナイカ、少クトモ大都市ニ於キマシテハ、自治ノ最下部組織トシテ、之ニ一ツノ法的根據ヲ與ヘルコトガ必要ダト思フノデアリマス、現在ノヤウニ自治ニ任シテ置クコトモ結構ダト思フノデアリマスガ、或ル程度法的根據ヲ與ヘテ規制シテ行ク必要ガアラウト思フノデアリマス、ソレニ付テノ内務當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

更ニモウ一點纏メテ申上ゲマスナラバ、ソレハ都市ノ公企業ニ關スル考ヘデアリマス、最近交通營團ノ成立ニ依リマシテ、都市デ經營シテ居リマシタ交通機關ノ或ル部分ハ、交通營團ノ中ニ吸收サレテ參リマシタ、更ニ住宅營團ガ組織サレマシテ、將來ハ都市ニ於テ住宅ヲ經營セントスルコトガ、不可能ナ狀態ニ置カレルヤウニナツテ參ツタノデアリマス、更ニ配電統制株式會社ガ出來ルヤウニナリマシタカラ、都市デ經營シテ居リマシタ配電事業モ亦此ノ國策會社ノ中ニ統制サレテ行クト云フ傾向デアリマス、本議會ニ現ハレテ居ル法案ニ致シマシテモ、醫療團ノ法案ガ現ハレテ居リマス、醫療團ノ法案ニ依リマス、都市デ經營シテ居リマス病院ハ、醫療營團ニ吸收サレン

トシテ居リマス、是デ社會事業關係ノ病院ハ除クト云フコトデスガ、都市デ經營シテ居ルモノハ、ドノ病院ニ致シマシテモ、方面事業ト關係ヲ持ツテ居リマスカラ、社會事業ト關係ガアルト思フノデアリマシテ、大部分ハ除外サレルカモ知レマセスガ、都市デ經營シテ居リマス病院ノ或ル部分ハ、此ノ醫療團ノ中ニ吸收サレテ行クノデハナカラウカト云フ杞憂ヲ私ハ持ツノデアリマス、又本委員會ニ於キマシテ現ニ成立セントスル食糧營團ト中央卸賣市場ノ機構トノ關係ニ付テハ、何等關係ガナイ、之ニ吸收サレルヤウナコトガナイト云フ言明ヲ得マシタ、併シナガラ中央卸賣市場ト云フモノハ一ツノ機能ヲ果シテ、謂ハバ歴史的使命ガ終ツテ新ナル配給、更ニハ配給物資ヲ分化スル役割カラ致シマシテ新ナル發足ヲシヨウト致シマスカラバ、都市ガ之ヲ開設シテ居リマシテモ、中央卸賣市場ト云フモノハ、何等カノ形態ニ依ツテ他ニ移行シテ行クヤウニ考ヘラレルノデアリマス、以上考ヘテ見マス、多ク都市デ經營シテ居リマシタ公益事業ト云フモノハ、漸次國策會社、營團若シクハ國營ノ方ニ吸收サレテ行クト云フ形ニナツテ參ルノデアリマス、私ハ都市ノ公企業ノ分離的傾向ト云フモノヲ見逃ス譯ニハ參リマセス、サウナツテ參リマス、私共ノ考ヘヲ以テ致シマスカラバ、都市ニ經營ヲサセテ全體のニ統制ヲ執ル、斯ウ云フヤウナコトモ考ヘ得ラレルノデアリマス、公企業ノ主體ト云フモノヲ他ニ持ツテ行クニアラズシテ、都市ヲ主體トシテ經營サセテ、ソレヲ全體のニ監督スルト云フ一ツノ行キ方モアラウト思フノデアリマス、最近ノヤウナ傾向ニ依リマシテ營

團或ハ國策會社等ガ出來テ、更ニ都市ニ支部或ハ其ノ他ノ機構ガ設ケラレルト云フコトニナリマスカラバ、之ヲ又統制スル一ツノ行政機構ガ必要ニナツテ來ルコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、サウナリマス、必然的ニソレニ伴フ都市行政機構ノ改革ト云ツタヤウナコトモ考ヘラレテ來ナケレバナラヌヤウナ氣ガスルノデアリマス、サウ云フ都市公企業ガ今言ツタヤウナ方向ニ移行シテ參リマスコトニ對シテ、ドウ云フ風ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルノカ、此ノ際伺ヘレバ幸ヒダト思フノデアリマス

更ニ之ニ關聯致シマシテ、切符制ガ施行セラレルヤウニナリマシテカラ、其ノ部分ニ關シマス國家ノ委任事務モ非常ニ龐大ニナツテ來テ居ルノデアリマス、現ニ之ニ關シマシテハ、ソレノ官廳ヨリ交付金其ノ他ガアツテヤツテ居ルヤウデアリマスガ、官廳ニ依リマシテハ全然支給ノナイモノモアリマス、例ヘバ米穀其ノ他ノモノニ付キマシテハ、大體都市ガ切符ヲ發行シテ、ソレデヤツテ居ルノデアリマスガ、其ノ費用ノ補助ト云フモノハ全然ナイト私ハ伺ツテ居リマス、サウ云フヤウナ意味合ヨリ致シマシテ、是ハ唯一例デアリマス、ケレドモ、稅制改革ニ依ツテ自然財政ガ窮屈ニナツテ來テ居ル、更ニ都市デ以テヤツテ居リマス公企業ト云フモノハ他ニ移行シテ行ク、サウナツテ參リマス、都市ヲ經營スル立場合ニ於キマシテ、何等カノ財源ト云フモノガ認メラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、政府ノ方ニ於テ或ル程度ノ補助ヲシテ行クト云フコトニナリマスカラバ別デアリマスガ、サウ云フ委任事務ニ對シマス交付金ト云フヤウナモノモ、少額ト云フ現狀

ニ置カレテ居ルト思フノデアリマシテ、サウ云フ點ハ相當考ヘテ然ルベキダト思フノデアリマス、以上三點ニ付テ内務當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○成田政府委員 只今淺沼サンノ御尋ネニ順次御答ヘヲ致シタイト存ジマス、先ヅ第一ハ、町内會或ハ隣組ト云フモノヲ消費者組織ニシテ行ツタラドウカト云フヤウナコトニ付テノ御尋ネデアツタト思フノデアリマス、御話ニアリマシタヤウニ、部落會、町内會、或ハ隣組ト云フモノガ、今日ノ時局ニ於キマシテ、色々切符制其ノ他ノ配給ノ仕事ニ付キマシテ、重要ナル役割ヲシテ居ルコトハ事實デアリマス、又今後一層斯ウ云フ經濟ノ統制或ハ切符制ノ施行ノ範圍ガ擴大サレルヤウナコトニナリマス、是等ノ町内會或ハ隣組ノ活動ノ分野ト云フモノガ一層廣クナルコトデアリマセウシ、之ニ對シテハ是等ノ町内會ナリ隣組ニ於キマシテ、ソレ等ノ仕事ガ圓滿且ツ合理的ニ行クヤウニ、吾々トシテハ指導サレテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、既ニ町内會ニ消費ノ部門ヲ設ケテ、今申上ゲマシタヤウナ配給ヲ適正ニヤツテ行クヤウナ仕事ヲ持タセルト云フコトガ宜イト考ヘマシテ、サウ云フ方向ニ向ツテ關係方面ト協議ヲ致シテ居リマス、唯誤解ノナイヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス、飽クマデソレハ配給ノ企畫或ハ計畫ヲ立テルト云フコトデアリマシテ、配給自體ヲ此ノ町内會デヤルト云フ意思デハゴザイマセス、配給自體ハ自ラソレヲ擔當スル他ノ方面ガアリマスカラ、ソレニハ觸レズ、兎ニ角配給ト云フ仕事ガ適正ニ公平ニ行クヤウニ町内會トシテハ計畫ヲ立

テル、又ソレニ付テハソレ相當ノ組織ヲ持
ツ必要ガアルノデハナイカト云フ意味デ研
究モシテ居リマス云フコトヲ御答へ申上
ガデ置キタイと思ヒマス

次ニ第二點トシマシテ、町内會、部落會
ト云フモノガ、從來ノヤウナ冠婚葬祭ト云
フ仕事ニ止マラズシテ、最近ニ於テハ市町
村等ノ行政機構ノ更ニ其ノ最下部ノ組織ト
シテ非常ニ働イテ居ルノデアルシ、又ソレ
ニ伴ツテ色々金ノ出入リガアル、サウ云フ
ヤウナコトガ間違ヒナク行ハレルヤウニ監
督スルガ爲ニ、是等町内會或ハ部落會等ニ
對シテ法的ノ根據ヲ與ヘル必要ガアルと思
フガ、之ニ對シテ内務省ハ如何ニ考ヘテ居
ルカト云フ御趣旨ノ御尋ネデアツタと思フ
ノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、私
共ハ全然同ジヤウニ考ヘテ御同感ノ意ヲ表
スル次第デアリマス、町内會、部落會ト云
フモノハ、内務省ト致シマシテハ、一昨年
ノ秋カラ之ニ對シテ訓令ヲ出シマシテ、町
内會、部落會ノ整備擴充ト云フコトニ付テ
行政的ノ指導ヲ加ヘテ居リマスルガ、未ダ
法的根據ヲ加フル程度ニ至ツテ居リマセ
ス、之ニ對シマシテハ適當ナル法的根據ヲ
加ヘルコトガ宜シイト考ヘテ居リマス、唯
此ノ點ニ付キマシテモ、市町村或ハ府縣ノヤ
ウニ非常ニ堅イ嚴格ナ型ニ嵌メテ監督ラス
ルト云フヤウナ形テナク、ヤハリ自由ナ方
面ヲ殘シテ置ク、部落會、町内會ト云フモ
ノガ自然發生的ニ隣保共助ノ精神ヲ以テ出
來上ツタト云フ其ノ精神、又其ノ働キト云
フモノヲ壞サナイヤウニ、出來ルダケハハ
緩ヤカナ法的根據ヲ與ヘルコトガ最モ適當
デハナイカト考ヘテ、實ハ腹案モナイ譯デ
ハゴザイマセヌガ、マダ之ヲ立法致シマシ

テ議會ニ出スト云フ程度ニ至ツテ居リマセ
ヌコトハ、寧ロ遺憾ト考ヘテ居ル次第デア
リマス

次ニ都市ノ公企業ノ問題ニ付キマシテ段々
ト御話ガアリマシタ、是ハ洵ニ重大ナル問題
デアルト思フノデアリマス、都市ノ市民ノ生活
ト云フ方面カラ見マシテモ、又都市ノ財政ト
云フ方面カラ見マシテモ、是ハ極メテ重大
ナル問題デアルト存ジマス、御話ノヤウニ住
宅ノ問題、或ハ配電ノ問題、東京ニ於ケル交
通調整ノ問題等ニ付キマシテ、段々都市ノ公
企業ガ國家的ノ國策會社ト申シマスカ、國
策的ナ營團ニ吸收サレテ行ク傾向ガ一方ニ
於テアルト思フノデアリマス、是ハソレダ
ケノ理由ガアルノデアリマスルカラシテ、
之ヲ一概ニ都市ノ方ガ困ルト言ツテ抑ヘル
譯ニハ參ラナイト存ジマス、唯公企業ガ總
テサウ云フ傾向ニアルカト申シマス、必
ズシモサウデハナイノデアリマシテ、例ヘ
バ配電ニ付キマシテモ、發電ノ場合或ハ
配電ニ付テハサウ云フコトニナツテ居リマ
スルガ、電車ハドウデアアルカト申シマス、
是ガ全國的ニ統制サレル營團ガ出來ルト云
フコトハ考ヘラレマセヌシ、或ハ水道ニ致
シマシテモ同ジヤウニ考ヘテ居リマス、又
交通ニシマシテモ、東京ノ例ヲ御引キニナ
ツタノデアリマスガ、東京ニ於ケル地下鐵
ニ付キマシテハ、特ニ之ヲ急イデヤラナケ
レバナラスト云フヤウナ建前カラ、東京市
ニヤツテ貫フヨリモ寧ロ特殊ノ營團ヲ作ツ
テヤツタ方ガヨリ早く出來ルデアラウト云
フ意味デ地下鐵ガ切離サレタダケデアリマ
シテ、寧ロ「バス」ニ付テハ東京市ニ統合サレ
ルト云フヤウナコトニナツテ居ルコトハ、
是ハ淺沼サンノ御承知ノ通りデアリマス

ノデ、此ノ問題ニ付キマシテハドウモハ
ツキリシタ御答ヘニナラナイと思フノデア
リマスルケレドモ、一面ニ於テ國家的ナ立
場カラ營團ノ如キ組織ガ現ハレルコトハ、
是ハ致シ方ガナイト申シマスカ、已ムヲ得
ザル進行狀態デアラウト思ヒマスガ、都市
ニ付キマシテハ、都市ノ公企業ノ性質ニ
鑑ミ、又財政ト云フヤウナ立場カラ見マシ
テモ、之ニ付テハ十分ナル考ヘヲ以テ是ガ
適正ニ動クヤウニ考ヘテ行カナケレバナラ
スト吾々ハ思ツテ居ルノデアリマス、

又ソレニ關聯シマシテ、切符制ノ施行其
ノ他ノ關係カラ市町村ニ於ケル國家ノ委任
事務ガ非常ニ殖エテ來テ居ル、然ルニモ拘
ラズ此ノ委任事務ニ對スル國家ノ助成ト申
シマスカ、其ノ費用ヲ與レナイフデ困ルト
云フ御話デアリマス、是ハ成程御尤モデア
リマシテ、最近ニ於キマシテ色々國家ガヤ
リマス仕事ヲ市町村ニ任セル、而シテ其ノ
場合ニ於テ必ズシモ經費ガ十分ニ市町村ニ
參ツテ居ラナイト吾々モ考ヘテ居リマス、

此ノ點ハ甚ダ殘念ニ思ヒマスルガ、私共ト
シマシテハ個々ノ都市ニ付テハ或ハドウ云
フ風ニナツテ居ルカ分ラナイ場合モアリマ
スガ、遠觀論ト致シマシテハ此ノ時局ニ鑑
ミテ市町村ノ事務或ハ經費ガ非常ニ増大ス
ル、ソレヲ十分ニ考ヘマシテ之ニ對シテ出
來ルダケノ財源ヲ附與シテ行クト云フコト
ヲ考慮シテ居ル譯デアリマシテハ、御承知ノ
ヤウニ二分與稅配付稅等ニ於キマシテハ十六年
度ノ三億二千萬圓ガ十七年度ニハ四億五千
萬圓ニ上ルト云フコトニナツテ居リマス、

詰リ本年ヨリモ來年ハ一億三千万圓ダケ配
付稅ガ殖エル、是デアリマシテモ私共勿論
十分デアルトハ申シマセヌ、併シナガラ吾

吾ト致シマシテハ出來ルダケ地方廳ニ對シ
マシテモ、地方團體ニ對シマシテモ財源ヲ
附與致シマシテ、此ノ時局的ニ忙シイ、市
町村ガドウシテモヤツテ行カナケレバナラ
ナイ仕事ハヤハリヤツテ戴クヤウニ出來ル
ダケノ考慮ヲシテ居ル積リデアリマス、但
シ決シテ十分デナイト云フコトダケハ申上
ガザルヲ得ナイト考ヘテ居リマス

○三善委員長 淺沼君ノ保留サレテ居ル中
デ生活局長モオ見エニナツテ居リマスカ
ラ……

○淺沼委員 今ノ御答辯ニ依リマシテ能ク
了承シタノデアリマス、私ノ申上ダタノハ
配給ノ仕事ヲ町内會デアルトカ隣組デアル
トカ云フコトヲ申上ダタノデハナイノデア
リマシテ、謂ハバ隣組、町内會ト云フモノ
ハ配給ヲ受ケル側ニ立ツノデアリマシテ、
其ノ受ケル側ノ組織ヲ如何ニスルカト云フ
コトヲ申上ダタノデアリマス、所ガソレニ
對シマシテハソレノ機構ヲ設ケテヤラ
ウト云フヤウナ御話デアリマスルカラ、サ
ウ云フヤウナ方向ニ進メテ戴キタイと思フ
ノデアリマス、消費者ノ組織ト更ニ生鮮食
糧品ノ末端組織デアリマス所ノ小賣商、斯
ウ云フモノトノ密着ガ出來マスナラバ、今
アルヤウナ好マシカラズ狀態ト云フモノハ
ナクナツテ、本當ニ配給スル者、配給サレ
ル者ガ一體トナツテ行ケルコトト思フノデ
アリマスカラ、サウ云フ方向ニ進メテ戴キ
タイト思フノデアリマス、町内會、部落會、
隣組ニ對シテモ法的根據ヲ與ヘルト云フ御
答辯デアリマシタガ、窮屈ナ法的根據ヲ與
ヘルコトハ私モ如何カト思フノデアリマスガ、
大體ニ於テヤハリ一ツノ法的根據ヲ持タセ
テ之ヲ規制シテ行クト云フコトガ必要デア

ルト思フノデアリマシテ、本會議ニ提出サレナカッタコトハ遺憾デアリマスケレドモ、成べく早イ機會ニ法的根據ヲ與ヘラレンコトヲ切望シテ置キマス、都市ノ公企業ノ分離化ノ傾向ニ付キマシテハ、問題ソレ自體ガ非常ニ大キナ問題デアリマスシ、只今本委員會會議題ニナツテ居リマス所ノ食糧管理トハ直接ノ關聯ガアルノハ中央市場ヲ通ジテアルノミデアリマシテ、ソレ以上ノコトニ付キマシテハ自ラ本委員會會議論スベキ筋合デナイト私考ヘルノデアリマシテ、只今地方局長ヨリ承リマシタ答辯ヲ以テ満足致シ、是レ以上議論ヲ進メル氣ハゴザイマセス

次ニ配給ニ關聯致シマシテ生活局長ニ御伺ヒラシテ置キタイト思フノデアリマスルガ、色々物ノ窮屈ニナリマシタコトニ付テ議論ガゴザイマス、足リナイト云フ議論モサレルヤウデアリマスルガ、私ハ物ガ窮屈ニハナツテ居ルケレドモ、足リナイトハ考ヘナイノデアリマス、殊ニ生活必需品ニ於テハ、幾分窮屈ノ點ガアラウト思フノデアリマスガ、是ハ十分間ニ合ヒ得ル、唯問題ハ窮屈デアリマシテモ、ソレヲドウモ云フ工合ニ運用シテ、本當ニ國民ニ必要ナル榮養ヲ與ヘテ行クカト云フ所ニアラウト思フノデアリマス、サウ云フ工合ニ考ヘテ見マス、食習慣ニ致シマシテモ、地方々々ニ依ツテ違フノデアリマスカラ、之ヲ一律のニドウスルト云フコトハ出來ヌカモ知レマセスケレドモ、是ダケ榮養ヲ攝レバヤツテ行ケルノダト云フ、謂ハバ標準國民榮養食ト申上デマセウカ、國民食ニ一ツノ榮養標準ヲ與ヘテ、ソレヲ全國的ニ敷衍シテ行クト云フヤウナコトモ考ヘラレテ然ルベキデハナカラ

ウカト考ヘルノデアリマス、食糧問題ニ付キマシテハ、農林大臣カラ自信アル答ヲ伺ヒマシテ、非常ニ私共ハ意ヲ強ウシテ居ルノデアリマスシ、國民モ非常ニ安心シテ居ルト思フノデアリマスガ、併シ又一面ニ於キマシテハ、此ノ時局ニ於キマシテ、國民ハ自ラノ生活ヲ動員シテ、國家ノ戰爭目的遂行ニ協力スルト云フコトヲヤツテ行カナケレバナラヌノデアリマシテ、色々議論ハアラウトモ、消費ノ部門ニ於キマシテ規正ヲシテ行ク、是亦已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ狀況ニ置カレテ居ル今日、衣食住ノ生活ニ付キマシテ、一ツノ標準ヲ作りマシテ、其ノ方ニ國民ヲ導イテ行クト云フヤウナコトモ必要デハナカラウカ、例ヘバ分量ハ窮屈デアツテモ、榮養ハ十分アルノダト云フコトガ徹底シテ居リマスルナラバ、國民ハ安心シテ居ルと思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ生活局長ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川村政府委員 物資ノ缺乏ニ關係シテ、生活基準ヲ確立スベキデアルト云フ御話デアリマスガ、洵ニ御尤モナ御意見ト存ジマス、就中食ノ問題ニ付テ、國民ノ標準食ト云フヤウナモノヲ考ヘヨト云フ御意見モ御尤モト存ジマス、唯食ノ問題ニ付キマシテハ、一方ニ於テ物資ノ生産ニ制約ヲ受ケマスノト、今一ツ地方的ニ色々特色ヲ持ツテ居リマスノデ、全國一律ニ斯ウ云フモノヲ食ヘト云フヤウナコトハ、實際問題トシテ中々難カシイノデアリマス、厚生省トシテハ、色々指導ヲ致シテ居リマスガ、此ノ地方的ノ實情ハ成べく尊重スルヤウニ、指導ヲ致シテ居リマシテ、各府縣ニモ榮養對策連絡協議會ト云フモノヲ設ケシメテ居リ

マシテ、地方々々ノ實情ニ應ジテ榮養對策ヲ確立スルヤウニ指導致シテ居リマス、又本年度カラ各地方ニ榮養ニ關スル指導員ヲ配置致シマシテ、實際ニ國民ノ榮養上ノ指導モ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、食糧品ガ或ル程度不足シテ居ルコトハ事實デアリマスガ、其ノ結果榮養上或ハ支障ガ起キテ居リハセヌカト思ツテ、色々調査ヲ致シテ見マシタノデアリマスガ、此ノ調査ハ中々困難デアリマシテ、簡單ニ正確ナ結論ヲ得ルコトハ難カシイノデアリマス、併シナガラ或ハ工場デアルトカ、或ハ學校デアルトカ云フヤウナ所デ、健康低下ノ狀況ハナイカト云フコトヲ調べサシテ見タノデアリマスガ、中ニハ多少胃腸病患者ガ殖エタトカ云フ所モアリマスガ、ソレハ果シテ食糧不足ノ爲メデアルノカ、或ハ又最近ノ勞働強化等ノ爲メデアルノカ、ドウモハツキリ致シマセス、又中ニハ食糧ガ少シ減ツタ爲ニ、却テ從來ノ過食ノ弊害ガ除カレテ、健康狀態ガ良クナツタト云フヤウナ報告ヲシテ來タ所モアリマス、先達テ商店従業員ノ更生問題ニ對シマシテ、若干ノ商店經營者ニ集ツテ貫ヒマシテ、座談會ヲ催シタ時ニモ、商店従業員ノ健康狀態ヲ色々承ツテ見マシタガ、大體餘リ健康ノ低下ヲ見テ居ラス、寧ろ過食ノ弊ガ矯メラレ、且ツ間食ナドノ機會ガ非常ニ減ツタノデ、却テ健康狀態ハ良クナツテ居ルト云フコトヲ報告シテ居リマス、勿論是ダケデ以テ安心ハ出來マセ

ス、榮養ノ問題ハ極メテ重要デアリマスノデ、極力健康ニ影響ノナイヤウニ努力ヲ致ス積リデ居リマスケレドモ、一般ニ一部ニ言ハレテ居ル程ノ影響ハナイヤウニ存ジテ居リマス

タ、私ハ先程申上ゲタ通り、色々議論ハサレマスルケレドモ、ヤリヤウニ依リマスナラバ、物ハ十分間ニ合フノダト云フ考ヘヲ強ク持ツノデアリマスルシ、更ニ將來國民ノ消費ヲ規正シテ行カナケレバナラヌコトハ當然ダト思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於キマシテモ、國民ノ生活ノ態樣ト云フモノニ、斯ウスレバ榮養ハ大丈夫ナシタト云フコトヲ呼ビ掛ケテ行クトガ必要グラウト思フノデアリマシテ、ドウカ厚生省當局ニ於キマシテハ、サウ云フ方面ニ一段ノ努力ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス、是デ私ノ質問ヲ大體終ルノデアリマスガ、最後ニ二、三點私ノ希望ヲ申上ゲ、ソレニ對スル農林大臣ノ意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

食糧管理法ノ目標ハ、大體ニ於テ米麥ヲ中心トスル主要食糧ノ全面的管理ヲヤラウト云フコトニ置カレテ居ルト思フノデアリマス、此ノ點ハ米麥ニ付テハ今マデモ或ル程度——或ル程度ト言フヨリモ、殆ド國家管理ノ完成ニ近イ所デアリマシテ、配給ノ機構ニ致シマシテモ、大體ニ於テ非難スベキ點モナイ程ニ行ツテ居ラウト私ハ思フノデアリマス、隨テ本案ガ出來上リマスルナラバ、更ニ此ノ上ニ非常ニ擴充ヲシテ參ルコトニナラウト思フノデアリマス、唯問題ハ、如何ニシテ生産ヲ確保スルカト云フコトガ問題ニナラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先程來色々御議論モアツタヤウデアリマスガ、農村ニ於テ生産ヲ阻ンデ居ルモノハ一體ナンデアルカ、色々議論ガアリマス、肥料問題ト云ヒ、農地問題ト云ヒ、或ハ勞力ノ問題ト云ヒ、色々ナコトガ言ハレテ居ルノデアリマスガ、

○淺沼委員 御答辯ハ能ク諒承致シマシ

ナント言ツテモ私ハ根本ノ問題ハ、ヤハリ
農地問題ノ解決デハナカラウカト思フノデ
アリマス、一番此ノ問題ヲ解決スルコトガ
必要ダト思フノデアリマシテ、耕ス者ト土
地ト本當ニ密着サセルト云フコトガ、生産擴
充ノ根本デアラウト思フノデアリマス、此ノ
點ニ付キマシテハ、各委員カラ色々ノ意見
ガ出デ居ルノデアリマシテ、善處セラレル
コトヲ切望スルノデアリマス、更ニ肥料ノ問
題ニ付キマシテモ、施策宜シキヲ得マスナ
ラバ、是亦農村ニ於テ、所謂有畜農業ノ普
及ニ依リマシテ、相當ノ補充ガ出來ルト思
フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テモ最大
ノ努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、唯
今現實ノ問題トシテ解決ヲ要スベキモノハ、
何ト言ツテモ私ハ生鮮食料品ノ確保ノ問題
ガラウト思フノデアリマス、更ニ是ノ配給
ノ問題デアラウト思フノデアリマス、所ガ
本案ニ對シマシテハ、此ノ點ハ本案カラ除
外ヲサレテ居ルノデアリマス、今マデノ委
員會ニ現ハレタ點ニ付キマシテモ、マダ具
體ニ私共ハ此ノ配給ヲドウスルカト云フ
點ニ付キマシテハ、ハツキリシタモノヲ擱
ム譯ニハ參ラスノデアリマス、又大臣カラモ
此ノ魚介類ノ配給統制ニ關シマシテハ、或
ル程度惡化レバ考ヘルト云フ答辯ハ伺ツテ
居ルノデアリマス、完全ニ今マデノ弊
害ヲ止メル爲ニ、惡イト思ハレル點ヲ改正
スルト云フ明答ヲ承ツテ居リマセヌ、即チ
昨日モ申上ガタノデアリマス、五「トシ」
以下ノ船ヲ統制スルトカ、或ハ五貫匁ノモ
ノモ買付ヲ止メサセルトカ、或ハ十貫匁ノ
生産地自由販賣モ之ヲ許サナイトカ、斯ウ
云フヤウナ點ニ付キマシテハ、止メルト云
フ明言ヲ承ツテ居ラナイノデアリマス、併

シナガラ私ハヤハリ是ハ統制ヲ強化致シマ
シテ、出荷ノ統制モ強力ニヤリ、配給ノ方ニ
於キマシテモ、又強力ニ之ヲ統制シテ行ク
ト云フコトヲヤラナケレバナラヌト思フノ
デアリマシテ、モウ一度是等配給統制ニ關
シマシテ確タル御答辯ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス

段々ト改善シテ行クト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、其ノ配給機構等ニ付キマシテモ、折
角今研究致シテ居リマス、段々ト改善サレ
テ行クコトト御諒承ヲ願ヒタイノデアリマ
ス

○三善委員長 村上國吉君

○村上(國)委員 私人管理食糧ノ價格決定

ノ問題、次ニ穀物検査ノ問題、食糧營團ノ
問題、特別會計ノ運營ニ關スル問題、農業
團體統合ノ問題、農業保險ニ關スル問題、
農業管理ノ内外地一元化ニ關スル問題、是
等ニ付テ極ク簡單ニ御尋ネヲ致シテ疑ヲ質
シテ置キタイト思フノデアリマス、最初
ニ委員長ニ御斷リヲ申シ、御願ヒヲ申上ゲ
テ置キマスガ、私過日二日間請假ヲ得テ缺
席致シテ居リマシタシ、又出席シテ居ツテ
モヨク離席シテ居リマス、外ノ委員諸
君カラ十分御尋ネニナツタコトニ付テ、重
ネテ私ガ御尋ネスルヤウナコトニナルカモ
知レナイト思ヒマス、サウ云フ時ニハ
宜シク御注意シテ下サルヤウニ、豫メ委員長
ニ御願ヒ致シテ置キマス、先ヅ管理食糧ノ價
格決定ノ問題デアリマス、是ハ此ノ法文ニ
掲ゲラレテ居リマスガ、其ノ買入價格ノ問
題ニナリマス、第三條ノ第二項ニ生産費及
物價其ノ他云々トアツテ、生産費ヲ價格決
定ノ最モ重要ナル要素トサレテ居ルコトハ、
是ハ十分ニ認メルコトガ出來マス、併シナ
ガラ物價其ノ他ノ經濟事情如何ヲ參酌シテ
之ヲ決定スルト云フコトデアリマス、物
價其ノ他ノ經濟事情ノ如何ニ依ツテハ、此
ノ生産費ヲ下廻ル決定ヲ見ルト云フ場合モ
ナキニシモアラズ、是ハ物價其ノ他ノ經濟
事情ノ取り方如何ニ依ツテ、ドノヤウニデモ
ナツテ行クト云フコトガ考ヘラレル、斯ウ

シタコトハ極端ナ言ヒ方ニナルカモ知レマ
セヌケレドモ、曾テ米穀統制委員會ニ於テ
價格ヲ決定スル時ニモ、隨分危イ所ニマデ
行ツテ居ツタコトモアルヤニ思ヒマス、
ソレデ私ハ此ノ法文ヲ真正直ニ見ルト生産
費ヲ割ルコトモアリ得ル、斯ウ云フコトニ
見ルノデスガ、其ノ點ハドシナモノデア
ル、次ニ又販賣價格ハ家計費カラ出デ來
ル、ソレニ物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シ
テ決メルノダ、斯ウ言ハレテ居ルノデア
リマスガ、是モ亦見方ニ依ツテハ家計米價ヲ
上廻ツタ高値ノ販賣モ出來ル、斯ウ云フコ
トニナリ得ル場合ガ考ヘラレル、之ニ付テ
御答辯ヲ願ツテ置キタイノデス、ソレカラ
勅令案ニ依リマス、法第四條第二項ノ關
係ニ於キマシテ、麥ノ價格決定ハ差當リ米
價トノ均衡ヲ考慮シテ決メル、斯ウ云フコ
トニナツテ居ルガ、此ノ米價トノ均衡ト云
フノハ、一體何處ヲ擱ヘテソレヲ決メデ行
カウト言ハレルノカ、ドウモ茲ニ私ハ可ナ
リ大キナ問題ガアルト思フ、殊ニ是ハ後程
申上ゲテ見ヨウト思フノデアリマス、麥ノ
生産費ノ調査ト云フモノハ、實際上下ウモ
是ハ中々容易ナラヌ困難ナコトダト私ハ思
フ、サウシテ其ノ上ニ米價トノ均衡ヲ考ヘ
テ行クノダ、斯ウ言ハレルガ、私ガ米ノ價
格ト大麥、稗麥、小麥ノ價格ノ割合ト言ヒマ
スカ、其ノ均衡狀態ガドウ云フコトニナツテ
居ルカト云フコトニ付テ調ベタ所ニ依リマス
ト、是ハ大正元年カラ昭和十五年マデト申
シテモ宜シイシ、十六年マデト申シテモ宜
シイガ、大麥ニ付テ見マス、大麥ノ安イ
時ニハ米ノ一〇〇ニ對シテ二五・八、高イ
時ニハ四七・六、稗麥ニ付テ見マス、安
イ時ニハ米ノ一〇〇ニ對シテ四三・七、高

イ時ニハ米ノ一〇〇ニ對シテ四三・七、高

イ時ニハ七六・九トナツテ居ル、小麦ニ至リマス、安イ時ニハ四六・九デアルガ、高イ時ニハ九三・七ト云ツタヤウナ振合デアツテ、其ノ年々ニ依ツテ非常ナ大キナ凸凹ガ出来テ居ルノデアリマスカラ、何處ヲ攔マヘテ均衡ダト云フコトノ見定メガ付カ、私ハ随分此處ニ困難ナ問題ガアルト思フカラ、ドウシテ均衡ヲ考慮シテ麥ノ値段ヲ決メラレルノカト云フコトヲ確メテ置キタイノデス

ソレカラ米麥以外ノ買上食糧ノ價格ハ一體何ニ依ツテ決メラレルカト云フコトヲ確メテ置キタイノデス、今年ノ甘藷ノ例ニ於テ見ルガ如クニ生産者ニアレダケノ不滿ヲ抱カセル、今度ノ統制ノヤリ方、其ノ値段ノ決メ方ノ問題カラ考ヘテ行キマスナラバ減産ニナル虞ハナイニ致シマシテモ、増産ナドト云フコトハ迎モ望マレナイコトニナリハセヌガラウカ、此ノ資料ニ依リマス、何デモ此ノ十七年ハ甘藷ニ於テ十六億七千二百萬貫ヲ取ルノダ、實際去年ハ何程取レテ居ルカト云フト、十四億三千万貫ノ計畫ニ對シテ十一億三千万貫ダケシカ取レテ居ラナイ、ソレヲ今度十七億萬貫ニ近イ所マデ行クノダト云フ計畫デアリマスケレドモ、ソレハ値段ノ決メ方ヤ統制ノ仕方ニ餘程御注意ナサラナケレバコンナ成績ハ迎モ望ミハ付ケラレナイ、斯ウ云フコトモ考ヘテ行キマス、米麥以外ノ買上食糧ノ價格ハ一體何ニ依ツテ決メルト云フ御方針デアルカト云フコトヲ確メテ置キタイノデス

ソレカラ價格決定ノ問題ノ其ノ二デス、是ハ生産費ガ又價格決定ノ非常ニ重要ナ點ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ生産費ノ調査ト云フコトニ付テハ多大ナル注意ヲ拂ツテ戴カナケレバナラス、大體ハ今マデノ行キ方ノヤウナコトヲ行カフト云フ御考ヘデアルト思ヒマス、併シナガラ現在ノ米ノ生産費調査ハ大體年々二千人ノ農家ヲ選定シテヤツテ居ル筈デアリマスガ、今マデトハ生産費ノ働ク重要性、又範圍ガ今度ハ非常ニ廣イモノニナツテ來マスカラ、今マデ二千戸デドウカ斯ウカ調査ガ出来タカラト言ウテ、今後ハソナコトデハ行クモノデヤナイ、是カラハモツト多クノ資料ヲ集メル必要ガアリマスカラ、之ヲ二倍ニスルナリ或ハ三倍ニスルナリセンケレバナラスガラウト私ハ思フガ、如何ナモノデセウカ、ソレカラ調査員ノ選任ニモ格段ノ注意ヲ必要ト致シマス、ソレカラ調査ノ指導ヲ監督デスガ、是ハ私ノ知レル範圍ガ餘リニ狭イカラ事實違ツテ居ルカモ知レマセスケレドモ、内地ニ於テハ此ノ調査員ノ調査ニ關スル指導監督ガ外地ニ於ケルガ如クニ、周到ナコトニ中々ナツテ居ラヌト云フ感じヲ私共トシテハ持ツテ居ルノデス、ダカラ斯ウ云フ點ニ付テモ格段ノ注意ヲ加ヘラレナケレバナラナイ、ソレカラ此ノ調査員ニ對スル手當ノ問題デスガ、是ハ一體何程出サウト云フノデスカ、何程ダナケレバナラスト云フコトハ私ハ申シマセスケレドモ、餘リニ貧弱ナコトデアツテハ到底適正ナル調査ガ上ツテ來ナイコトヲ慮リマスノデ、其ノ點ヲ確メテ置キタイ

デ行カウト云フノカ、又ハ變ツタ考ヘノ下ニ平均ヲ算出スルコト云フコトニナサルノデアルカ、其ノ方法ヲ確メテ置キタイノデス、ソレカラ、曩ニ麥ノ生産費ノ調査ハ中々困難ダト言ヒマシタガ、今度此ノ管理令ヲ施行スルニ當ツテ、麥ノ生産費ノ調査ノ計畫ハドンナコトニナツテ居ルカ、ソレヲ能ク承ハリタイト思フノデアリマス、ソレカラ又同ジ生産費調査ト申シテモ、只今モ申ス通りデアツテ、米トハ非常ニ困難性ガ違フ、畑作ト水田ノ裏作トニ依ツテスツカリ其ノ狀態ガ違フ、又裏作ノ場合ニ於テモ高畝デナケレバ出来ナイト云フ地方ト、極ク低イ平畝デ立派ナ生産ガ出来ル地方トデハ生産費ノ上ニ非常ナ違ヒガアル、前作トノ關係ニ於テスツカリ其ノ生産狀態ガ違ツテ來ル、肥料ノヤリ方ダケデモ收穫ノ上ニハ大キナ相違ガ起ツテ來ル、是ガ麥ノ特性デアリマス、此ノ特性ヲ吞ミ込ミンデ、サウシテ以テ適正ナル生産費ヲ調ベ出スト云フコトハ、是ハ中々容易ナ業デハ出来ヌト云フコトヲ考ヘマスノデ、之ニ對シテ一體ドウ云フ御用意ガアルノカ、其ノ計畫ノ程ヲ伺ヒタイノデアリマス、先ヅ此ノ價格決定ノ問題ニ付テハ、概要以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ御願ヒスルコトニ致シマス

○井野國務大臣 私カラ主ナ點ヲ申上ゲマシテ、詳細ハ又食糧管理局長カラ御答ヘ申上ゲマス、食糧管理法ニ基ク主要食糧ノ買入價格、賣渡價格決定ニ付キマシテ、生産費ナリ或ハ家計米價ヲドウ扱フカト云フ御尋ネデアリマス、即チ生産費ダケデナク、其ノ他經濟事情モ參酌スルコト云フコトニナルト、生産費ヲ下廻ハツテ買入レル場合モ起ツテ來ハシナイカト云フ御心配デア

リマス、此ノ點ハ法文ノ立テ方カラ申シマス、或ハ生産費ヲ基準ト致シテ居リマセスカラ、或ハ生産費ヲ下廻ハルト云フ經濟上特殊ノ事情モアリ得ル譯デアリマス、併シ此ノ條文ハ、曾テノ米穀統制法其ノ他ノ法制ニアリマシタト同ジ文句デアリマシテ、曾テ今マデ米穀生産費ヲ下廻ハツテ價格ヲ決定シタコトハ殆ドナイノデアリマス、是ハ法文ノ精神カラ考ヘテ見マシテモ、成ベク農家ノ増産ヲ期待シマス以上ハ、其ノ生産費ヲ償フコトヲ建前デ買入レテ行カケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、此ノ食糧管理ノ施行ニ當リマシテハ、特ニヤハリ委員會ヲ設ケマシテ、サウシテ十分ニ委員ノ意見モ伺ツテ、サウ云フ點ヲ決定シテ參リタイト考ヘテ居リマスカラ、御懸念ノヤウナ運用ハ今後モアリ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ソレカラ主要食糧以外ノ買入價格ハ何ニ依ツテ決メルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ法文ニモアリマスカラ、時價ニ準據シテ買ウト云フコトニナツテ居リマス、其ノ時價トハドウ云フモノカト言ヘバ、結局現在デハ最高價格ガ決定サレテ居リマスカラ、其ノ最高價格ノ範圍内デ、其ノ當時ノ時價ニ依ツテ買フ、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、唯最高價格ノ決定ニ當リマシテ、諸ノ問題、其ノ他雜穀ノ問題等ニ付キマシテモ、價格決定ニ偶、低過ギタト云フモノモアラウト思ヒマス、是等ハ其ノ事情ニ應ジテ漸次是正シテ行クト云フ方針ヲ執ツテ居リマスカラ、是ハ買入價格決定トハ別デアリマシテ、最高價格決定ノ仕方ニ付テ考慮シテ行クト云フコトニナル譯デアリマス

ソレカラ生産費調査ニ付キマシテハ、是モ現在ノ米ノ生産費調査ニ付テ、現在行ツテ居ルモノガ必ズシモ妥當トモ考ヘマセヌガ、併シ是モ非常ナ澤山ノ數ヲ集メテ、果シテ正鵠ヲ得ルカドウカ、中々難カシイ問題デアリマス、現在ノ數ヲ以テ、其ノ調査方法等ニ付キマシテハ、今回ノ決定ハ最低價格ノ決定ナクシテ、買入價格ノ決定デアリマスルカラ、相當ニ從來トハ違ツテ利潤ヲ見ナケレバナリマセヌシ、其ノ他色々ナモノヲ加ヘテ行クコトニナリマスルカラ、生産費ノ調査方法ニ付キマシテハ、更ニ委員會等ニ御諮リシテ決メテ参リタイト思ヒマス

麥ノ生産費ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ御説ノ通り非常ニ難カシイ問題デアリマスガ、是モヤハリ何トカ調査ヲシナケレバナリマセヌノデ、此ノ點モ色々案ヲ持ツテ居リマスガ、御相談ヲ申上ゲマシテ決メテ参リタイト考ヘテ居リマス、唯麥ノ買入値段ヲ米ノ買入値段ノ何割ニスルカト云フヤウナコトニ付キマシテモ、現在デハマダ生産費ガハツキリ分ツテ居リマセヌノデ、先ヅ大體ノ所決メテ行クヨリ外仕方ガナイト云フ見地カラ、サウ云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、是モ生産費ノ或ル程度ノモノガハツキリシテ來マズレバ、先ヅ大體ソレヲ基トシテ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○湯河政府委員 只今大臣ノ御答ヘニナリマシタコトデ漏レテ居ルモノハゴザイマセヌガ、調査農家ノ選定ノ問題デゴザイマス、之ニ付キマシテハ戶數ヲ種ヤセト云フ御要求モゴザイマスルガ、吾々其ノ點モ必要ガアレバ無論考ヘナケレバナラヌカトモ思ヒ

マスルガ、ソレヨリモ寧ロ只今マデノ調査農家ノ分布ノ取り方、之ヲ改メマシテ、モツト普遍的ニ各地ノ事情ヲ反映スルヤウナ農家ノ選定ノ仕方ヲシタラ宜カラウト云フコトモ考ヘテ居リマス、併シ具體的ニ其ノ農家ノ選定ハ是ヨリスルノデアリマス、マダ若干時間ガアリマスノデ、十分其ノ間ニ良イ案ヲ得タイト考ヘテ居リマス

ソレカラ調査ノ指導監督ノコトニ付キマシテハ、是ハ從來トモ實ハ生産費調査ノ專任職員ヲ各地方廳ニ配屬シテ居ルノデアリマス、植民地程ニ徹底シテナイト云フ御話モゴザイマシタガ、實ハ内地ノ農家ハソレゾレ相當程度ノ低イ外地ノ人達ヨリハ、斯ウ云フコトニ付テハ物價レテ居ルノデハナイカド思ハレルノデアリマス、併シ一面カラ申シマシテ、生産費調査ト云フコトハ、非常ニ正確公正ニ行ハナクテハナリマセヌノデ、サウ云フ點ヲ確保スル意味カラ致シマシテ、指導監督ハ今後一層嚴重ニシテ行ク必要ガアルノデアリマス、吾々ト致シマシテモ十分ニ努メテ参リタイト思ツテ居リマ

ソレカラ調査農家ニ對スル手當ノ問題デゴザイマスガ、是ハ毎年實ハ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、何分ニモ財政上ノ都合等モゴザイマシテ、大體現在ノ程度ニ止ツテ居リマス、是ハ今度モ豫算ヲ要求致シテ居リマセヌ

ザイマスガ、是モ今確實ニドウト云フコトヲ申上ゲニクイノデアリマス、併シ大體只今差掛リマシテハ少クトモ從來ノ資料ヲ活用シテ行ク、此ノ點ニ於キマシテハ從來通リ全國平均ヲスルコトニナラウト思ヒマス、併シ其ノ際ニ於キマシテハ、無論ノコト非常ニ異例ニ屬スルモノヲ省クベキコトハ、是ハ平均方法ヲ採ツテ居リマス以上ハ當然ノコトダト思ツテ居リマス

○村上(國)委員 此ノ決定サルベキ價格ニ付テ大臣ノ御答辯ハ米麥ニ付テ言ヘバ、生産費ヲ割ルナドト云フガ如キ決定ニハ決シテナラナイヤウニスルノダ、斯ウ云フ御意思ト了承シテ宜イノデアリマセウカ、事ガ餘リ重要デアリマスカラ、重ネテ此ノ點ヲ確メテ置キタイノデス

ソレカラ此ノ調査員ノ手當ハ現狀ノ通りト云フ、其ノ現狀ハ一體何程御拂ヒニナツテ居ルノダカ、ソレヲ確メテ置キマス

次ニ食糧管理委員會ノ構成ト云フ問題デスガ、是ハ一體何人程ニスル積リナノカ、ソレカラ又ドウ云フ方面カラ人ヲ採ル積リナノカ、ソレヲ一應確メテ置キタイト思フノデス、是ハ私モ斯ウシタ委員會ナドニ何回カ出タ經驗ガアルノデアリマスガ、ドウモ私ノ感じヲ申シマス、何處ノ委員會デモサウデナイカト思ハレルコトハ、政府カラ出テ居ル委員ガ餘リニ多過ぎル、殊ニ農林省ニ關スル委員會ト云ツタラ、農林省ノ才役人サンガ澤山出テ居ル、ドウシテアレダケ澤山ニ總動員デモスルガ如キ狀態デ、委員ヲ御出シニナル必要ガアルノダラウカ、説明サヘシタラ、委員ノ數ヘハ、サウシタ農林省ノ才役人サンハ御入りニナラナクテモ宜イノデハナイカ知ラ、斯ウ云フコ

トヲ今マデニモ感じテ來タノデ、セメテ食糧管理委員會ト云フモノハ、サウシタ構成ニナサラスノガ宜イノデハナイカト云フ意思ヲ以テ、茲ニ此ノ御尋ネヲスルノデス

ソレカラ今一ツハ、ドウモ委員會ヲ開イテ見ルト、其ノ委員會ノ終了ヲ餘リニ御急ギナサル、大概一日ニ片付ケテシマツテ貰ハネバナラヌト云フコトヲヤツテ居ル、サウシテ今日ドシナ問題ガアルノダカ、ドウ云フ案ガ出ルノダカ、委員ハ何ニモ知ラズニ出テ來テ、サウシテバタ／＼ト其ノ日ニ片付ケテシマハナケレバナラヌト云フヤウナコトニ仕組マレテ居ルノデモナカラウケレドモ、サウシタヤウナ狀態デアルガ爲ニ、本當ニ慎重ニ研究スルナント云ツタヤウナコトハ、練達堪能ノ士デアツテモ、中々是ハ容易ナコトデハナイ、殊ニ農林計畫委員會ノ如キヲ見マス、此ノ計畫行ツタ時ニハ何處ガドウナルノダ、斯ウナルノダ、委員ナント云フモノハ、一人モ何ニモ知ラズニ濟マシテシマフト云フヤウナコトニナツテ居ルコトハ、是ハ餘リニ其ノ終了ヲ御急ギニナルカラデアアルカラ、假令ソレガ三日掛カラウガ、五日掛カラウガ、重要ナコトナラバ十分ニ審議ヲ盡スト云フ方針デ御掛リニナル必要ガアルト思フ、殊ニ此ノ食糧管理委員會ト云フモノハ、餘リニ重大ナル任務ヲ持ツテ居ルノデアラカシテ、斯ウシタ感じヲ一層深クシテ居ルノデアリマス、以上ノ點ニ付テ尙ホ御答ヘヲ願ヘレバ結構デアリマス

○井野國務大臣 米麥ノ買入價格決定ニ當リマシテ、生産費ヲ必ズ割ラナイヤウニスルカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハサウ云フ風ナ努力ハ無論致シマス、併シ

例へば低物價政策ハドウシテモ堅持シナケレバナラス、國家財政ハ是レ以上ノ補助ハ出セナイ、併シ農民ニ或ル程度ノコトハ忍シテ貰ハナケレバナラスト云フ事態モ全然ナシトハ言ヘマセヌ、デスカラ吾々ハサウ云フ場合ニ於テモ、農林大臣トシテハ出來ルダケ生産費ヲ維持スルヤウニ努力スルト云フコトシカ此ノ際ハ申上ゲル譯ニハイカスト思フノデアリマス、併シ今マデノ實績ヲ御覽願ヘバ、大體ニ於テ生産費ヲ割ルヤウナコトハ殆ドナク、價格決定ガ出來テ居リマスカラ、其ノ點ハ御信賴ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ、委員會ノ構成等ニ付キマシテハ、度々此ノ委員會デモ御質問ガ出テ居リマスカラ、其ノ内容ハ速記録デ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ運用ニ當ツテノ御注意ニ付キマシテハ私モ十分注意シテ參リマス、唯農林省ノ役人ガ多ク入り過ギテ居ルト云フコトデアリマスガ、結局ヤハリ委員會ニハ委員トシテ入ツテ、サウシテ色々ノ御質問ニモ御答ヘシ、又自分ノ意見モ披露シテ行クト云フコトノ方ガ運用上巧ク行クト云フ意味デ入レテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ人數ヲ妨ガタリナンカハ致シマセヌ、臨時委員デモ何デモ宜イノデアリマスカラ、各局長ヲ成ベク多ク入レテ、皆様ノ御質問ナリ、御希望ニ合フヤウニシテ行ツタ方ガ適當デアルト私ハ考ヘテ居リマス、又其ノ取扱ニ付キマシテモ、一日デ出來ルダケ早ク終ヘタイト云フ風ニ、ドウモ急ギ過ギルト云フ御話デアリマスガ、是ハ委員會ノ性質ニ依リマス、價格決定ノ如キモノハ、其ノ日ニ決メナイト工合ガ惡イト云フモノモアリマス、サウ云フモノハ、豫メ委員等ニ於テモ御必要

ガアレバ、又準備ノナ知識ハ御與ヘスルコトハ出來ルト思ヒマスガ、サウ云ツタ性質ノモノハ或ハ一日モ終ヘルト云フコトハ御許シ願ハナケレバナラスト思ヒマス、併シ計畫委員會ノ如キモノハ是ハ相當ニジツクリ研究致サナケレバナラス問題モアリマスノデ、現在農林省ノ農林部會トシテ開イテ居リマスル戰時食糧部會ノ如キハ、非常ニ急ヲ入レテヤツテ居リマス、決シテ一日デ終ヘルヤウナ仕組ニハ致シテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ委員會ノ性質ニ依リマシテ自ラ取扱ガ違フト云フコトダケハ御諒承願ヒタイノデアリマス

○湯河政府委員 村上委員ニ先程御答ヘ致シマセヌデシタ手當ノ點ハ、今數字ヲ一寸覺ヘテ居リマセヌノデ、取調ベマシテ後ニ御答ヘ致シマス

○村上(國)委員 次ハ検査ノ問題ニ付テ御尋ネスルコトニ致シマス、其ノ一ツハ、手數料ノ問題デス、手數料ハ取ルコトニナツテ居ル、今日マデ各府縣デヤツテ居リマシタ検査ニ付テハ、皆手數料ヲ取ツテ居ル、併シ今度ノハ今マデノ検査トハ餘程觀念的ニ違ヒガナケレバナラスト思フ、從來ノハ検査ヲ受ケルコトニ依ツテ、自己ノ生産シ販賣スル所ノモノハ必ズ市場ニ於テ有利ニ賣レルト云フ所ニ検査ヲスルト云フ考ヘガアリ、又サウシタ構ヘニナツテ居ル、所ガ今度ノハサウデナクシテ、國ガ管理上ノ必要カラシテ検査スルノダ、ガカラシテソレニ付テ生産者ニ、受檢者ニ手數料ヲ負擔サセテ検査スルト云フコトハ、觀念的ニ見テドンナモノダラウカ、色々斯ウ云フコトニナツタト云フ事情ニ付テハ、多少聞イタコトガナイデモアリマセヌケレドモ、ドウモ

私ハ感心セヌ、又第七十七議會デ、農林大臣ハ土屋委員ノ質問ニ對シテ、ドウモ國家デ買取ル米デアリマスカラ、米ノ検査ト云フコトニナリマスレバ、成ベク農村ニ負擔ヲ掛ケナイヤウニスルコトガ私ハ適當ダト思ヒマス、ト云フ所マデノ御答辯ハアツテ居ル、但シ財政上ノ云々ト、斯ウ云フ話デ逃ゲラレテ居ルケレドモ、ドウモココマデ大臣ガ適當ト思フト云フ御信念デアラセラレタナラバ、是ガ手數料ハ要ラナイモノダト云フ結果ニナルヤウニ御努力ニナツテコソ然ルベキモノデハナカラウカト私ハ思フドウモ觀念的ニ見テ、此ノ手數料ヲ取ルト云フコトハ甚ダ感心シナイト私ハ思ヒマスノデ、是ハモウ一ツ御考ヘ直シニナル

今ト云フ譯ニハ行キマセヌ、今年ト云フ譯ニハ行キマセヌカ——御考ヘ直シニナル餘地ハナイノデアルカドウカト云フコトヲ一ツ確メテ置キタイノデアリマス

次ニ、此ノ検査問題ニ付テ、曩ニ政府ノ方カラ示サレタ要綱ニ依リマス、此ノ法案ハドウモ要綱トハ少シ趣旨ガ違ツテ來テ居ルヤウニ思フ、米麥ハ行政官廳ノ検査ヲ受ケタルモノニアラザレバ之ヲ受授スルコトヲ得ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、受ケルコトモナラネバ渡スコトモナラス、斯ウナツテ居ル、所ガ今度ノハ、第三條第一項ノ者ハ……其ノ者ガ政府ニ賣渡スベキ米麥ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ検査ヲ受ケベシ、此ノ法文ヲ此ノ通りニ解釋シテ行クト、地主ガ小作料デ受取ツタ米ヲ賣ルト云フ時ニハ、地主ガ検査料ヲ出サナケレバナラス、検査料ヲ出シテ検査ヲ受ケテ、サウシテ政府ニ賣渡スノダ、斯ウ云フコトニナル、併シナガラ、前ニアル如ク、検査ヲ受ケタモノデナケレ

バ受渡シガ出來スト云フ規定デ行キマス時ニハ、小作者ガ地主ノ所ニ米ヲ納メルト云フコトニ付テモ検査ヲ受ケタモノデナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテ來ルト思フ、是ハ此ノ要綱ニ示サレテ居ルノガ善イノカ、此ノ法案ニ示サレテ居ル方ガ善イノカ、私ハ敢テ其ノ是非ヲ言ハウトハ思ヒマセヌケレドモ、併シ結果ニ於テハ是ガ大分ニ違フヤウニ思フ、此ノ要綱ト法案ノ違フト云フコトハ、ソレハ要綱ヲ斯ウ決メタノダケレドモ、其ノ後ニ於テ色々研究シタ結果斯ウ云フヤウニ變ヘタト云フ譯ノモノデアリマス、其ノ點ヲ私ハ確メテ置キタイノデアリマス、検査ニ關スル問題ハ先ヅ此ノ二點デス

○井野國務大臣 此ノ度ノ食糧國家管理ニ基キマシテ、検査制度モ國營検査ニ移スト云フコトニ致シマシタ結果、検査手數料ニ付テ、只今村上委員ノ御述ベニナリマシタ御意見ニ付テハ私モ同感デアリマス、成タケ検査料ハ無手數料ニシタイト云フ氣持ヲ實ハ持ツテ居ツタノデアリマス、所ガ、獎勵金ノ制度ヲ見マスト云フト、検査手數料ヲチャント織込シテアルノデアリマス、五圓ノ獎勵金ヲ決メマシタ時ノ生産費ノ計算ノ中ニ、検査手數料ガ現在拂ツテアリマス、ソレヲ織込シテ出來テ居リマスカラ、隨テ國トシテハ、一方ニ於テ検査手數料ヲ補助ヲシテ置キナガラ、又一方ニ於テ免除ヲスルト云フコトニナリマス、其ノ點ダケガ計算上ヲカシクナルノデアリマス、デアリマスカラ、此ノ際ハ、獎勵金トシテ與ヘテアル以上ハ、ヤハリ検査料ヲ取ルガ適當デアル、而モ其ノ手數料ハ、計算ノ中ニ入ツテ居ル手數料ヨリモ今度ノ方ハ安ク

取ツテ居ル、デアリマスカラ、各府縣デ區區ナ手數料ヲ取ルヨリハ、一般ニ均一的ナ手數料ニ致シマシテ、サウシテ取ツテ行クコトガ適當デアルト考ヘテ、今度ノ制度ヲ採ツタ譯デアリマス

ソレカラ、檢査ノ方法ニ付キマシテ、今要綱ト條文トノ違ヒヲ御指摘ニナリマシタガ、是ハ同ジ意味デアリマス、法文ニサウ云フ風ニ現ハシマシタ爲ニ形ガ違ヒマシタケレドモ、精神ハ同ジデアリマスカラ、チツトモ要綱ト違ツテ居ナイト御諒承願ヒタイト思ヒマス

○湯河政府委員 今大臣ガ仰セニナリマシタ要綱ト法律トノ關係デアリマスガ、御説明申上ゲテ置キタイト思ヒマス、要綱ノ時ニハ元ノ農產物檢査法ノ字句ヲ其ノ儘取リマシタノデアリマス、今度管理法ヲ制定スルニ付キマシテ法制局ト打合セラシマシタ時ニ、寧ロ管理法ノ建前トスレバ、授受スルコトヲ得ズト云フ風ナ檢査本位ノ建前ヨリモ、國家管理ノ食糧ハ檢査スルノダト云フコトヲ明確ニシタ方ガ宜イデハナイカト云フコトデ、サウ云フ體裁ニ改メマシタ、併シ授受スルコトヲ得ズト云フヤウナ規定ハ、法律ノ第八條デゴザイマスカ、其ノ規定ニ依リマシテサウ云フ制限ヲナシ得ルコトニナツテ居リマスノデ、ソレヲ以テヤハリヤツテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、唯御指摘ノゴザイマシタ小作人ノ小作米ニ付キマシテ、要綱ナラバ、小作米ハ授受スルコトヲ得ズ、斯ウナリマス、法律ノ方デ行クト其ノ方ガハツキリセスデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハヤハリ兩方トモ同ジデゴザイマス、唯小作米ノ檢査ニ付キマシテハ此ノ前申上ゲマシタガ、強制

檢査ハ地主ト小作人トノ間ニ於キマシテ、檢査料ノ負擔ガ地主ニ歸屬スルト云フ建前ヲ執リマシタ時ニスルト云フ考ヘデゴザイマス、此ノ點ハ大體農產物檢査法ト今度ノ法律ハ同ジ法式ニナツテ居ルノデアリマス

○村上(國)委員 其ノ點ニ付テ尙ホ私疑義ガアルケレドモ、一寸急ギマスカラ是レ以上申シマセス、次ニ食糧營團ノ問題デス、是ハ政府ノ出資ト地方營團トノ關係ガドウナツテ來ルカト云フ問題デス、中央營團ニ對シテハ政府ガ五千萬圓マデ出資スル、中央營團ハ地方營團ニ對シテ出資ガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソコデ中央營團ハ政府ノ出資金ノ一部ヲ以テ地方營團ニ出資サセルト云フ構ヘ方デハナイカ、斯ウモ考ヘラレル、若シサウダトスルナラバ、政府ハ中央營團ニハ中央營團デ出資スルガ、地方營團ニハ地方營團デ出資スル、斯ウシタ方方宜イデハナイカト私ハ思ヒマス、ソコガドウモ私ハ判斷ガ付カナイノデ、此ノ點ヲ一ツ御尋ネシテ置クノデアリマス

ソレカラ次ニハ營團ノ役員ノ問題デス、是ハ農地開發營團ノ問題カラ來ルノデス、農地開發法ノ第二十一條ニ依リマス上「理事長、副理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトニ原則的ニ決メラレテ居ル、他ノ業務トハドウ云フ意味合ヲ言フノカ、例ヘバ茲ニ衆議院議員ガ居ル、其ノ衆議院議員ヲヤツテ居ル者ニ付テハ、是ハ他ノ職業ニ從事シテ居ルト云フ見解ヲ採ツテ、之ヲ兼ネルコトハ出來ナイノカト云フコトヲ其ノ當時私ハ聽イタコトガアル、廣イ意味ニ於テハサウデアリマスナ、必ズサウスルト云フ御答辯デハナカウツケレドモ、マアサウモナリマ

スト云ツタヤウナ意味ノ御答ヘデアツタ、所ガ今度ノ此ノ食糧管理法ニ依リマス上、農地開發法ノ第二十一條ノ如キ制限ガ何モ設ケラレテ居ナイ、是ハドウ云フ譯ナノデス、同ジ農林省ノ所管デアツテ、一方ハ斯ウシタ規定ガ設ケラレタシ、一方ハ斯ウ云フコトガナイ、ソコニハ相當ナ理由ガナクテハナラヌト思フ、又農地開發ノ如キハ理事ヤ何カガ外ノ職業ヲ兼ネタイケナイト云フコトカラ制限シタガ、食糧管理ノ方ハサウ云フ制限ヲスル必要ハナイト云フコトカラ來テ居ルノデアルカ、此ノ點ヲ確メテ置キタイノデアリマス

○井野國務大臣 地方營團ノ出資ノ問題ハ政府ガ直接スルヨリハヤハリ中央トノ結付キノ上ニ、政府ガ中央ニ出資シテ、其ノ出資ヲ中央カラ地方ニシタ方方宜イト云フ意味デ、現在ノ制度ヲ採ツタノデアリマス、ソレカラ兼業ノ問題ハ農地開發法ヲ準用シテ居リマス、從テ同ジデアリマス

○村上(國)委員 農地開發法ヲ準用スルト仰シヤルト、實施ノ上ニ於テハアノ農地開發法ノ規定ト同ジヤウナ考ヘ方ニスルノダ、斯ウ云フ譯デスネ

○井野國務大臣 同ジ條文ヲ準用シテ居リマスカラ、規定シタト同ジコトデアリマス、農地開發法ノ何條ヲ準用ストアリマスカラ……

○村上(國)委員 ソレデハ私ノ研究ガ足りテ居リマセスデシタ、ソレカラ特別會計ノ點ニ關スル問題ガ一ツアルノダケレドモ、何ダカ將來ヲ案ジ過ギテ、夢ヲ見テ居ルヤウナ感ガアルカモ知レマセスカラ、此ノ點ハ此ノ際差控ヘテ置キマス

次ニ農林團體統合ノ問題、之ニ付テ先ヅ

大臣ニ御伺ヒシタイノハ、此ノ議會ニ農林團體法ヲ御出シニナラナカウツト云フコトハ、其ノ事情モ間接ナガラ私ハ承ツテ大體承知シテ居リマス、所ガ其ノ後ニナツテ必ズシモ法律ニ依ラナクテモ、別個ノ方法モ考ヘラレルト云フコトヲ御話ニナツテ云ルヤウデアリマスガ、農林省ノ内部ニモ亦サウシタヤウナ考ヘ方モアルヤウニ聞イテ居リマス、大凡此ノ別個ノ方法ト云フノハ、シナコトヲ言フノカ、ソレヲ具體的ニ、例ヘバ斯ウ云フモノダト云フコトヲ御示シ願ヒタイ

○井野國務大臣 別個ノ方法ト申上ゲタノハ、結局現在ノ農林關係ニシテ見マスレバ、中央農林協力會ト云フヤウナモノガ出來テ居リマス、之ヲ或ル程度法制化スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマス、其ノ他團體統制法ニ類似シマシタヤウナ立法ヲ總動員法デ研究スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマス、色々マダ研究シテ居リマス、ドウ云フ案デ進シダラ宜イカト云フコトニ付テ研究ヲシテ居リマスカラ、別個ノ方法モ考慮出來ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、必ズソレニ依ツテヤルト云フコトハハマダ申上ゲテ居リマセス

○村上(國)委員 其ノ程度ナラバ是レ以上此ノ問題ニ付テハモウ伺フ必要ハアリマセス、唯總動員法ヲ發動シテ、是デ行カウデヤナイカト云フガ如キ氣配ガチラホラ見エスデモナイ、ケレドモ此ノ團體統合ノ問題ノ今日ニ至ルマデノ經過ナリ、又沿革ナドヲ考ヘテ見タ時ニ、私ハ總動員法デヤルナドト云ツタ譯ノモノデハナイト思フ、若シサウ云フコトヲスルト云フノデアルナラバ、是ハ農林當局自ラガ、飛ンデモナイコトヲシ

テシマフモノダ、今日マデ農林當局ノ十分ノ責任ニ於テ、是ハ斷行ナサレナケレバナラヌ筈ダカラ、ソレヲ法律ヲ決メラレヌカラト云ツテ、總動員ヘ持ツテ行ツタト云フニ至ツテハ論外ノ話、若シソノナコトナラ私ハ眞向カラ反對スルト云フ積リデ居ルノデアリマス、ソレカラ今何カ外ニ名案ガアレバ或ハドウカモ知レナイケレドモ、協力會ノ如キヲ云々ト言ハレデ居リマスガ、アシタ協力會ヲ作ツテ見タガ、ドウニモ是デハ本當ノ時局ノ要請ニ應ズル働キガ付カスト云フコトカラ、團體統合ノ問題ガ再燃シテ來タ、此ノ事實ヲ考ヘテ見マスナラバ、協力會ノ如キニ依ルト云フコトハ、是亦以テノ外ノコトダト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ問題ハ今大臣ノ御答辯ノ如クナラバ、是レ以上私ハ申シマセヌ、唯ドウ致シマシテモ、モウ既ニ團體自身ハ何レモ覺悟ヲ十分ニシテ居ル譯デアル、又議會ノ如キモ前第七十七帝國議會ニアシテ建議案マデ出シテ、政府ヲ大ニ鞭撻シタ積リデアリマス、此ノ團體統合法案ガ議會ニ出サレルト云フコトニ付テ誰一人トシテ反對シテ居ル者ハナイ、機ハ正ニ熟シテ居ル、政府ガ斷乎トシテ出サレサヘスレバ、私ハモウ今日マデニ成立シテシマウテ居ル法案デアルカノヤウニ思フ、デアルカラシテ切ニ政府ノ勇斷ヲ望ムコトニシテ、此ノ問題ニ付テ異議ヲ申スコトハ致シマセヌ

次ニハ農業保險ニ關スル問題デアリマスガ、此ノ保險法ノ改正案ガ此ノ議會ニ出サレルヤウニナルデアラウト云フコトヲオ互ヒハ期待シテ居ツタガ、是ハ到頭出ナイコトニナリマシタ、サウシテ一時ノ方法トシテ或ハ冷害ニ對シテ斯ウスルト云ツタヤウナ

措置ヲ講ゼラレタト云フコトハ承知致シテ居リマス、同時ニ又施行後數年經過シタノデ、此ノ際保險料ヲ改正スルト云フコトダ其ノ計畫ガ立テラレテ居ルト云フコトモ承知ヲ致シテ居リマスガ、昨年來ノ經過ヲ見マスト、此ノ保險料ヲ改訂スルトノ如キハ制度全體ヲ改メルト云フコト同時ニ、ソレハ考ヘラレルコトニナツテ居ツタト思ヒマスガ、今日ニナツテ結果ヲ見マスト、法其ノモノハ先ヅ手ヲ着ケズニ其ノ儘ニ置イテ、保險料ダケ上ゲルト云フコトニナツテ來マスト、色々ノ意味合、色々ノ關係カラ關係者ニモ隨分種々ノ感ジヲ持タセルコトニナルデアラウト思フ、此ノコトハ農業保險ヲ發達セシムル上ニ於テ決シテ結構ナコトデナクテ、却テ其ノ發達ヲ阻礙スル虞ナシトハ致シマセヌ、ソコデ此ノ際ドウセヨト云フコトヲ私ハ要求スル譯デアリマセヌガ、ソレ等ノ多クノ關係者達ヲシテ、今年ノ場合ハ保險料ハ斯ウナルニシマシテモ、必ズ農業保險法ハ根本的ナ改善ガ行ハレルノダト云フ強イ期待ヲ持タセルコトニ依ツテ、初メテ今日ノコトハ餘リ問題ニナラナイデ済マシ得ルノデハナイカ、斯ウ云フコトニ考ヘマスノデ、此ノ際力一杯、極ク近イ機會ニ於テ是ハ改正スル積リデアルト云フコトヲ此ノ機會ニ大臣ノ方カラ、ハツキリト御言明ヲ願フ譯ニハ行カナイモノデアアルカ、此ノ點ヲ確メテ置キタイノデアリマス

○井野國務大臣 農業保險ノ問題ハ成立シマスル時十分調査モ致シ、保險ノ危險率ナリ、危險分散ヲ算定シテ制定致シタノデアリマスガ、制定後異常ナル年ニ打ツカリマシタノデ、非常ニ經營上苦シクナツテ來タト云フ次第デアリマス、デアリマスカ

ラ已ムヲ得ズ保險料モ上ゲネバナラスト云フ事態ニ當面シタノデアリマスガ、併シモモツト根本的ニ研究シナケレバナラスト私モ思ツテ居リマス、從來委員會等ニ於テモ研究シマシタガ、今ノ儘デハ經營上中々巧ク行カナイト思ヒマスノデ、出來ルダケ十分ニ又速カニ研究シマシテ、適當ナル對策ヲ立テタイト考ヘテ居リマス

○村上(國)委員 大分長クナリマシタカラ簡單ニ申上ゲマス、丁度農林大臣ガ拓務大臣ヲ御兼任ニナツテ居ラレルノデ至極便宜ヲ得ル譯デス、隨テ此ノ一點ハ農林大臣ニ對シテノ御尋ネデナク、拓務大臣ニ對シテノ御尋ネダト御諒解ヲ願ヒマス、ソレハ朝鮮並ニ臺灣ニ於ケル食糧管理ノ方針トカ方法ト云ツタモノハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、既ニソレノ定ツテ居ルモノガアルト思ヒマス、嘗テ内地トハ甚ダシイ行キ方ガ違ツテ居ツタ筈デス、ソレヲ今マデ通リデ進ムト云フ御方針デアアルカ、又ソレヲ改メルト云フ御方針デアアルカ、ソコ一ツ第一ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○井野國務大臣 食糧對策ニ付キマシテ、朝鮮臺灣共ニ勿論自ラ生産シマシタモノヲ以テ島内ノ需給ニ當テ、其ノ餘分ノモノハ内地ニ移出スルト云フ方針デ、現在モヤツテ居リマス、而モ現在ニ於テハ、此ノ大東亞戰爭遂行ノ道程ニアツテ内地ヲ通ジテ國內ニ食糧不安ガアツテハナラスノデアリマスカラ、オ互ヒニ同ジヤウニ辛抱シ合ツテ、サウシテ出來ルダケ食糧ト云フモノノ交流ヲ圓滿ニシテ行クト云フ方針ノ下ニ總テノ食糧對策ヲ執ツテ居リマス

○村上(國)委員 ソレニ付テ内地ト外地トノ間ニ委員會ノ如キモノヲ組織シテ緊密ニ

其ノ連絡ノ上ニ遺憾ノナイヤウニシヨウト云フ御考ヘガアツタカノヤウニ承知シテ居リマスガ、其ノ事實ハ如何デセウカ

○井野國務大臣 内地ニ互リマス食糧ノ交流ニ付キマシテハ企畫院ヲ中心ニ物動計畫ヲ作ツテ居リマス、其ノ計畫ノ運用宜シキヲ得レバ大體ニ於テ目的ヲ達スルノデアリマス、其ノ運用ハ私ガ農林大臣ト拓務大臣ヲ兼ねテ居リマスカラ、現在ニ於テハ適正ヲ得テ居ルノデアリマス、併シ制度トシテ何カ是モ考ヘナケレバナラス、詰リ農林拓務ノ大臣兼任ト云フ人的ノ結付キデナシニ、制度トシテモ何カ考ヘテ行ク必要ガアルノデハナカラウト云フノデ、今御話ノ委員會等ニ付テ研究ハシテ居リマス、併シマダ具體案ハ得テ居リマセヌ

○村上(國)委員 ソレデ大體ノ行キ方ハ分ツテ來マシタガ、要スルニ今朝鮮ヲ臺灣ニ於ケル食糧管理ノ方向ハ今マデ通りニヤツテ行クト云フ考ヘ方ニナルヤウニ思ヒマス、唯外地トノ交流ニ關シテサウシタ調整ヲ圖ル途ヲ採ルノダト云フ風ニ了解サレルヤウデアリマス、ソコデ一體日本ノ食糧ハ大臣モ屢、申サレテ居ル如クニ今後大東亞ノ共榮圈全體ヲ睨合ハシテ總テノ國策ヲ立テテ行クノダト致シマシテモ、食糧ニ關シテハ自給デ行クノダト云フコトハ屢、御言明ニナツテ、恐ラク此ノ點ハ動カヌ所ダト思ツテ居リマス、サウスルト食糧自給ノ立場カラ行キマスナラバ、内地ト外地ト是ガ完全ニ抱合ツテ行カナケレバナラス、サウシタ所ニ需給ノ自ラナル調整ハ出來テ行クノダト云フコトニナリマス、所デ現在ノ狀態、現在ノ組織ヲ一瞥シタ時ニハ中々ソレハ容易ナコトデハサウ云フヤウニ完全ナル調整ト云

フコトニハ行カヌノデハナイカ、本日モアノ祕密會ニ於テ内地ニ於ケル食糧消費ノ狀況ニ付テモ御説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、アレヲ聽イタ時ニ、ドウモ外地ト内地トハ其ノ消費規正ト言ヒマスカ、ソレノ上ニ於テモ相當大キナ隔リガアルゾト云フコトヲ私ハ感シタノデアリマス、是ハ強イ言葉デハ言ヘナイカモ知レスケレドモ、朝鮮ニハ朝鮮ノ一ツノ「ブロック」ガ出來テ居ル、臺灣ニハ臺灣ノ「ブロック」ガアリ、内地モ亦内地トシテ「ブロック」ガアルガ如キ狀態デアツテ、向フハ外地ハ外地各、十分ナル食糧ノ配給ノ上ニ遺憾ノナイヤウニ之ヲ確保スル、丁度今日ハ内地ニ於テハ斯ウシテ政府ガ積極的ニ強力ヲ以テ之ヲ管理スルト云フコトニナツタノデ——今デモマダアリマ스가、併シナガラ此ノ府縣「ブロック」ノ姿ハ段々消エテ行ク、恐ラク今度ノ此ノ管理法ノ施行ニ依ツテ綺麗ニナルコトデナイカト思ハレルガ、丁度内地ニ各府縣ノ「ブロック」ガアツタノト同ジヤウナ感じヲ持タサレルノデス、内地ニ於テ此ノ府縣「ブロック」ガアツタガ爲ニ、國ノ全體ノ食糧ノ調整ノ上ニドレダケ困ツタカト云フコトハ、政府當局ガ一番能ク御承知ナノデス、内地ト外地ノ間ニ於テモマア何ダカ斯ウシタヤウナ「ブロック」的ナ考ヘ方ガ現存シテ居ル、此ノ事實ハ言ヒ表ハシ方ガ間違ツテ居ルカモ知レスケレドモ、斯ウシタ事實ハ私ハ爭ヘナイ事柄ノヤウニ思フ、ソレカラ又同ジ管理ヲスルト申シマシテモ、内地ニ於テハ其ノ管理ヲ徹底シナケレバナラヌト云フノデ、斯ウシタ食糧管理法ノ如キモ茲ニ制定スル、サウシテソレノ運用ニ充テル資金ハ特別會計ヲ以テ二十一億圓ヲ備ヘテ居ル、

ソレデ之ニ依ツテモウ遺憾ノナイ管理ガ出來テ行クヤウニシヨウト云フ時ニ、ソレナラバ朝鮮ハドウ云フ構ヘ方ニナツテ居ルカト云ヘバ、其ノ點ニ於テハ全く違フ、サウシタヤウナ資金ノ用意ナド今尙ホナイデハナイカト私ハ思フ、臺灣ニハアシアタ一ツノ管理法ガ施行サレテ居ル、併シ臺灣ノアノ管理ト云フモノハ、食糧ヲ管理センケレバナラヌト云フコトカラ出發シタモノデハナイ、臺灣産業上ノ調整ノ必要上カラ、アシアタ管理ヲ施行スルコトニ依ツテ、米トソレカラ砂糖トノ適當ナル調整ガ出來得ルヤウニシヨウト云フコトカラ出發シテ居ル管理法デアリマスカラ、ソレデ内地ノ此ノ管理ト言ツテ居ルノトハ名ヘ同ジデアリマシテモ、何トナクソコニハ一脈ノ相通ジ難イモノガアル、是デハ私ハイカヌノデハナイカト思フ、ダカラ之ヲ完全ニ内外地ヲ通ジテ、食糧需給ノ完全ナル調整ノ圖レルヤウニスル爲ニハ、ドウシテモ茲ニ政府ノ方ニ於テ之ヲ一元的ニ統制シテ行クノダ、一元的ニ其ノ行政ヲヤツテ行クノダ、斯ウ云フ考ヘガナクテハ此ノ問題ハ何時マデ經ツテモ滑ラカニハナラヌノデハナイカ、少クトモ内地ト朝鮮ト臺灣トハ同ジ方向デ進ムノダ、斯ウ云フコトニナラナケレバナラナイト思フノデアラガ、是等ニ付テ農林大臣デアリ拓務大臣デアラセラレル大臣ノ御所見、ソレカラ之ニ付テノ御方針ヲ此ノ機會ニ於テ伺フコトガ出來タナラバ、是ハ非常ナ仕合セデハナイカト思ヒマスノデ、此ノ點ヲ御尋ネスル次第デアリマス

行ツテ居リマス、村上委員ハ會テ其ノ間ニ於テ色々支障ノアリマシタ時代ノコトヲ能ク御承知デアリマスカラ、御心配ニナルダラウト思ヒマスケレドモ、今日ニ於テハ非常ニ好ク行ツテ居リマス、殊ニ其ノ方向ニ至リマシテハモウ殆ド同ジ方向ニ向ツテ居リマス、朝鮮モ最近ハ特別會計ニ依ツテノ管理ハ致シテ居リマセヌガ、民間ノ特殊會社ニ依ツテノ内地ニ近イ管理ヲ最近致シテ居リマス、隨テ朝鮮ノ各道等ニ於キマシテハ、其ノ統制ハ殆ド完全ニ進ンデ居リマス、又臺灣モ立法ノ沿革ハ、是ハ色々御見方モアラウト思ヒマスガ、今日デハヤハリ完全ナ管理ヲ致シテ居リマス、内地ト歩調ヲ合ハセマシテ、米ニ付キマシテハ同ジ方向ノ管理ニ進ンデ居ルト思ヒマス、而モ内外地ヲ一體トシマスル行政運用ニ付キマシテハ、私ガ當ツテ居ルノデアリマス、是ハ從來ヨリ餘程改善サレタル方向ニ進ミ得ルト信ズルノデアリマス

シタヤウニ、此ノ法ヲ制定スル手段方法ニ付テハ色々アリマセウガ、兎ニ角近イ内ニ是ガ實現スルコトニナツテ參リマシタコトハ、吾々多年叫ンデ參リマシタ者ト致シマシデハ、一ツノ光明ガ見エタヤウナ感じガスルノデアリマス、之ニ對シマシテ過日農林次官ヨリ其ノ統合ニ對スル内容ヲ明カニサレタノデアリマス、私ノ尋ネントスルハ、農林次官ノ仰セラレタコトハ、町村及ビ其ノ他ノ産業團體トノ關係ハ、昭和二年ニ定メラレタコトニ依ツテ何等ノ摩擦ナク今日行ツテ居ルカラ、町村ト是等ノ團體ヲ一ツニスルノ必要ハナイ、是ハ町村ノ自治團體ト別ニ統合スベキデアルト云フ御見解ノヤウニ拜承致シマス、是ハ私ノ意見ヲ申上グルノデハアリマセヌ、質問ヲ申上グルノデアリマスガ、農林省ノ統裁セラレル所ノ各團體ノ意見ト、内務省ノ統裁セラレル各團體ノ意見トニ二ツノ流れガ、現在ノ日本ニアルカノヤウニ存ジマス、昨年末ニ吾々議員ノ手許ニ全國町村長會カラ一ツノ「パンフレット」ガ届イテ居リマス、其ノ内容ハ時間ヲ要シマスカラ茲ニ讀ミ上グルコトヲ止メマスガ、大體ニ於テ町村ハ町村長ヲ中心ニシテ、町村長ガ農會長、産業組合長、漁業組合長、森林組合長等ノ團體長ヲ兼任スルコト、サウシテ一體のニ融合シテ、統合一體のニナツテ其ノ活動ヲ促進シテ行クト云フコトガ中心ニナツテ居ルヤウデアリマス、更ニ本年ニナリマシテカラ「自治行政」云フ雜誌ノ卷頭ニ書イテ居リマスコトハ、大體只今申上ゲマシタヤウナ理念ニ依ツテ相當細カシク微ニ入り細ニ入ツテ其ノコトガ現ハサレテ居ルノデアリマス、サウ致シマス團體統合ヲ受ケヤウトスル所ノ

人々ニハ、二ツノ指導ガ今日行ハレテ居ルヤウデアリマス、斯カルコトデハ其ノ目的ヲ達成スルコトガ出来ナイと思ヒマスガ、内務次官ニ於カレマシテハ、斯ウ云フ方針ヲ進ンデ居ル所ノ町村會ト云フモノヲ此ノ儘ニ何處マデモ「スタート」サセテ、町村長會方面ノ意見ヲ通サレ御考ヘデアルカ、或ハ農林省トノ間ニ上ノ方デ話合ヲ付ケテ、サウシテ統合ノ實施ニ當ル前ニ於テ、全一體のノ氣分ニナツタ時ニ於テ此ノ統合ニ手ヲ着ケラレ御考ヘデアルカ、若シ此ノ儘ニ放置シテ上ノ方デ決メラレコトニナリマシタラバハ何處マデモ二ツニ流レテ參ルノデアリマシテ、之ヲ統合スルト云フコトニ依ツテ摩擦ガ一層激化スル、一ツノ町村内ニ公法人ガ二ツ出来マシテ、ソコニ非常ナ摩擦相起ラシテ、團體統合ノ最終ノ美飾ルコトガ出来ナイと思ヒマスガ、之ニ對シマスル内務次官ノ御見解及ビ今後御執リニナル方針ヲ承ツテ置キタイと思フノデアリマス

内務省ニ對シマシテモウ一點御伺ヒ致シマスコトハ、是ハ地方局長ニ對スル問題デアリマスガ、昨年ノ議會ノ終リニ於キマシテ突如トシテ現ハレマシタルモノハ森林ノ特別課稅デアリマス、所謂立木ノ伐採稅、流送稅、移出稅、斯ウ云フモノヲ抜打的ニ全國ノ知事ニ通牒致シマシテ其ノ價格ノ千分ノ二十ノ特別稅ヲ課スルコトニナリマシタ、是ハ全國ニハ、相當此處ニ色々ナ統計ガアリマスガ、其ノ内容ヲ讀ムガナクテモ既ニ地方局長ニ於キマシテハ御分リノコトト存ジマス、相當各府縣各町村ニ於キマシテ此ノ特別稅ヲ課ケテ居ルノデアリマス、此ノ特別稅ヲ課ケルト云フコトハ、町村財政ノ窮迫カラ起ツテ來ル

コトハ當然デアリマス、併シナガラ稅ヲ課ケラレル方面ノモノニ取ツテ見マス、今年度ノ伐採稅ハ立木ヲ買ツタ材木屋ガ拂フノデアリマス、此材木屋ガ拂フト云フコトハ、其ノ利潤ノ中カラ拂ヘルト云フコトニナリマシテ、之ニ對スル負擔ニ應ゼラレルノデアリマスガ、之ヲ毎年取ツテ行クト云フコトニ目安ガ付キマス、此ノ立木ノ價格ト云フモノハ逆算法ノ方法ニ依ツテ決メルモノデアリマシテ、其ノ千分ノ二十ト云フモノガ加算セラレバ、結局立木ニ參リマシテハ千分ノ四十ト云フモノヲ取ラナケレバナラスコトニナリマス、ソレダケ立木ガ安クナル、之ヲ全國のニ計算シテ見マスと私ノ概算デハ全國ノ立木價格ト云フモノハ八億圓ニ上ツテ居リマス、千分ノ二十ヲ取ルト千六百萬圓ノ課稅ヲシナケレバナラス、然ルニ戰時下ニ於テ此ノ植伐ノ均衡ヲ失シテ荒廢林ノ續出スル今日、之ヲ防止シ之ヲ培養センガ爲ニハ、政府ニ於キマシテハ昨年度五千三百萬圓ノ造林助成金ヲ十年間ノ繼續ニ於テ出ス、去年ハ三百九十四萬圓バカリノ助成金ヲ出シテ居リマス、三百九十四萬圓ノ助成金ヲ出シテ、其ノ反面ニ千六百萬圓ノ課稅ヲ取ラレト云フコトニナツテハ、何處ニ森林ノ永遠性ガアルカ、サウ云フコトデ一體造林スル氣分ニ造林業者ガナルデアラウカ、實ニ私ハ愚ダト思フノデアリマス、併シ一方ヲ見レバ町村財政ノ窮迫カラ之ヲ助ケテ行カナケレバナラスト云フコトモ是ハ理ノ當然ナンデアル、ソコデ今年分與稅制度ノ改正ヲ行ハレマシテ、相當多額ノ割戻金ヲ各町村ニヤラレト云フコトニ依ツテ、ソコデ町村財政ト云フモノハ確保サレト云フコトニナレバ此ノ惡稅

ハ將來、來年度カラ撤廢スル御考ヘハナイカドウカ、此ノ二ツヲ先ヅ以テ御尋ネ致シマシテ更ニ御尋ネシタイと思フノデアリマ

○湯澤政府委員 私ハ最初ノ方ノ御尋ネノコトニ付キマシテ御答ヘ申上ゲタイと思ヒマス、農業團體法、詰リ農業諸團體ノ統合ノ問題ト、ソレカラ町村行政ノ統一性ト云フコトニ付テドウ之ヲ調整スルカ、斯ウ云フコトニ關スル御尋ネデゴザイマスガ、農業團體法ニ付キマシテ最モ内務省ノ立場カラ考ヘナケレバナリマセヌ點ハ、此ノ農業團體法ノ出來マスルコトニ依ツテ、町村ノ行政ガ綜合性ヲ失フカ失ハナイカ、斯ウ云フ點ダト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ我が國ノ町村ノ現狀ヲ見マスルト、國家カラ與ヘラレマシタ委任事務ガ非常ニ多忙ニナツテ參リマシテ、殆ド其ノ固有ノ町村民ノ福利ヲ發達サスト云フヤウナ事務ノ方ニ十分ナル力ガ伸バセナイデ參ツテ居ル、是ハ昨今ニ始ツタコトデハアリマセヌ、ズツト前カラ町村ノ發達ヲ圖ル上ニ於テ十分ニ固有事務、町村民ノ福利ヲ増進スルト云フヤウナ方面ニ十分ナル能力ノ發揮ガ出來ナクナツテ居ル、斯ウ云フヤウナコトデ、町村ノ現狀ヲ見マスル者ガ色々心配ヲ致シマシテ、其ノ發達ノ方法ニ付テ、或ハ國家的ナ監督ノ上カラモ、又地方民ノ自覺ノ上カラモ、色々ナ施策ヲ要求サレテ居ル現狀デアリマス、殊ニ此ノ時局下ニナリマシテカラ非常ニ町村ニ對スル時局ノ事務、國家カラ要請サレタヤウナ事務ガ複雑ニナツテ參リマスルガ爲ニ、益、固有事務ノ方ノ發達ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ現狀デアリマスノデ、何トカ此ノ町村ノ一ツハ財政上ノ

負擔モ相當ニ輕減シ、又此ノ財政上ノ力モ十分伸展サシテヤリタイ、又國カラ課セラレタ所ノ事務モ、成ベク之ヲ國家ノ負擔ニ依ツテ賄ツテ行クト云フヤウナ風ニ仕向ケタイ、サウシテ町村ノ固有ノ仕事ヲ出來ルダケ町村民ガヤツテ行ケルヤウナ風ニ導キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソコデ吾々サウ云フヤウナ要望カラ見マシテ、町村内ニ於ケル別個ノ國家ノ要求カラ出テ居リマス產業ノ各種團體ヲ統合スル、斯ウ云フ又他面ノ要求ガアル譯デアリマス、是ハ或ル意味カラ申シマスルト、町村内ノ福利ヲ増進スル方法トシテ、町村自體ノ發達ヲシテ之ヲ増進スル方ガ適當デア

ル、或ハモウ既ニ明治三十年代カラ出來テ居リマスヤウニ、農會ト云フヤウナ團體ガアツタリ、色々ナ團體ガ出來テ居リマスガ、サウ云フ團體ヲ結成シテ特殊ノ目的ノ爲ニ町村民ヲ働カセル、サウ云フヤウナ方法デ町村民ノ幸福ヲ圖ツテ行クトガ適當デア

ルカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ガアリマシテ、實ハ是ガ十分ニ統合或ハ整理サレテ居ラナイト云フノガ今日ノ現狀ダト思フノデアリマス、ソコデ自然ノ其ノ時ノノ要求カラ、各種ノ法律ナリ施策ナリガ出テ參リマシテ、町村内ニモ各種ノ團體ガ出來テ居ル、是ハ單リ產業團體バカリデハナク、教育ノ方面ニ於キマシテモ色々ナ方面ニ於キマシテ出來テ居ル譯デアリマス、獨リ產業ダケノコトニ付テ考ヘテ見マス、町村内ニ幾多ノ小サイ團體ガアルノデス、ソレデハ十分目的ガ達セラレナイカラ之ヲ一ツニ統合シテ國家ノ要求デアリマスル生産ノ増強ト云フヤウナコトニ付テ時局下ノ要求ニ應ジサセタイ、是ハ當然ノ要求ダト考ヘラレ

ルノデアリマス、斯ウ云フ二ツノ矛盾シタ要求ガ茲ニ存在シテ居ル、是ハ現實ノ姿デアリマス、一面ニ於テハ町村ノ行政ヲ綜合的ニ發達サセタイト云フ要求、又特殊ノ目的ノ爲ニハ特殊ノ團體ヲ強ク育成致シマシテ、端的ニ其ノ目的ヲ達成スルヤウニ働カシタラドウカ、斯ウ云フ二ツノ要求ガ存在シテ居ル、之ヲ調和綜合スルト云フコトニ付テハ、餘程ノ何ト申シマスカ、強力ヲ要スルト思フノデアリマシテ、現在ノ段階ニ於キマシテハ私ハ其ノ各種ノ産業ニ關係アル團體ヲ一ツニ統合シテ、サウシテ端的ニ國家ノ要求ヲ充シテ行クト云フ此ノ要求ガ已ムヲ得ナイ要求ダト思フノデアリマス、ソコデサウナレバ町村ノ綜合性トドウ云フ風ニ調和シタラ宜カラウカ、茲ニ政府部内ニ於キマシテモ種々苦心ヲ要スル點デアリマシテ、此ノ點ガ農林當局ト内務當局ト重要産業團體法ヲ制定致スニ付キマシテモ、十分ナ打合セヲ致シマシテ、其ノ連絡ガ取レルヤウニ考ヘナケレバナルマイ、斯ウ云フ點ニ努力シテ居リマス、先程御述ベニナリマシタ地方町村長アタリガ、出來ルダケ此ノ産業上ノ方面ノ活動力ヲ町村ニ付與シテ町村自體ノ活動力トシテヤツテ行キタイト云フ希望モ是ハ無理ノナイ希望ダト思ヒマス、町村ノ現狀ヲ見マス、殆ド昔ノ謂ハバ維新前ノ役場ト申シマスカ、國ノ仕事ヲスルダケノ機關ニナツテシマフヤウナ狀況ニナツテ參ツテ居リマス、之ヲ此ノ儘放任シテ參リマス、結局ハ今御話ノアリマシタヤウニ、町村内ニ二ツノ團體ガ出來テ來ル、出來テ來テ此ノ利害關係者ガ互ニ相抗争スル、町村ハ結局分裂ヲ免カレナイト云フコトニナリハセヌカ、斯ウ云フ點

ヲ憂ヘラレルノデアリマス、私ノ見解ヲ述ベロト云フ御話モアリマシタカラ、私ノ見解トシテ一部分申上デサシテ戴キタイノハ、町村ノ發達ノ本當ノ理想カラ申シマス、之ヲ町村ノ活動力トシテ總テノ産業ニシロ教育ニシロ、凡ユル活動ガ綜合サレルト云フコトニナルコトガ理想ダト思フノデアリマス、之ニ達スルノニハ相當ノ段階ヲ經テ參ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、今日ノ段階デハ一面ニ於テ時局下ニ於ケル生産ノ發揮ト云フ點カラ考ヘマシテモ、チリデリバラノ各種ノ團體ヲ一ツニ統合シテ、力強い活動ヲ要求スルト云フ要求ト、其ノ町村ノ綜合性トノ要求ヲ何トカシテ、之ヲ連絡アル統一ノアルヤウニシテ、二ツノ團體ガ相抗争シナイヤウナ、人的ナリ或ハ組織ノ上ナリノ方法ガゴザイマスマイカ、之ヲ農林當局トノ間ニ、私ノ方トシテ發見ヲ致シマシテ、兩方ノ要求ヲ、此ノ時局下ニ於テ矛盾ナク達成スルヤウナ工夫ヲ拂ヒタイ、斯ウ云フコトニ折角私共トシテ努力致シテ居ル次第デアリマス、御尋ネノ事柄ニ對シテ御満足ヲ申上ゲル答辯ニナラヌカモ知レマセヌガ、私ノ見解竝ニ現在執ツテ居リマスコトヲ申上ゲテ答辯ト致シマス、

○成田政府委員 立木ノ伐採税ニ關スル御尋ネニ付キマシテ私カラ御答ヘ致シタイト思ヒマス、立木伐採税ニ付キマシテハ、今段々ト御話ガアツタノデアリマスガ、吾々ト致シマシテモ、此ノ税ニ付テハ特別取扱ヒヲ致シテ居ル積リデアリマス、詰リ此ノ立木伐採税ノ課税ニ依リマシテ林業ノ經營ニ支障ヲ來サナイヤウナ十分ノ心構ヘヲ致シナガラ、監督ヲ致シテ居ル積リデアリマス、即チ立木伐採税ヲ新シク設ケマス場合ニ於キマシテハ、二ツノ點カラ之ヲ嚴重ニ調査シテ、認メテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、先ヅ其ノ一ツハ其ノ町村ノ財政ノ事情ヲ十分ニ調査シテ居ルノデアリマシテ、此ノ立木伐採税ヲ新シク設ケルコトヲ認メマスノハ、原則トシテ地租營業税、家屋税ノ三收益税ノ附加税ノ賦課率ガ、本税ノ百分ノ三百ヲ超ユルノデアリマシテ、外ニ適當ノ財源ガナイ、財政上洵ニ已ムヲ得ナイ事情ガ存ズルト云フヤウナ町村ニ於テ、初メテ此ノ立木伐採税ノ新設ヲ認メルヤウニ致シテ居リマス、モウ一ツノ點ハ賦課ノ率ノ程度デアリマス、之ニ付テハ今一寸御話モアリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ、從來此ノ立木伐採税ヲ課税シタ場合ノアリマス道府縣内ノ町村ニ於キマシテハ、其ノ道府縣ノ道府縣税デアリマス雜種税ノ額ト之ニ對スル附加税ノ額トノ合算額ノ二分ノ一程度ト云フコトデ制限ヲスル、是ハ勿論原則デアリマシテ、特別ノ場合ハ又特別ノ扱ヒヲ致スノデアリマスガ、原則トシテハ二分ノ一程度ニ止メル、是ハ從來立木伐採税ヲ課税致シテ居リマス道府縣内ニ於ケル町村ノ扱ヒ方デアリマス、ソレカラ其ノ他ノ町村ニ付キマシテハ只今御述ベニナリマシタヤウニ、立木價格ノ千分ノ二十以内ト云フ範圍デ認メル、此ノ二ツノ條件ヲ充タシマス場合ニ於テ初メテ此ノ税ノ新設ヲ許スト云フヤウナ譯デ、内務省ト致シマシテモ慎重ニ取扱ツテ居ル積リナノデアリマス、ソコデ只今十七年度ニナレバ配付税ナドモ相當殖エラドウダ、止メル意思ガアルカドウカト云フ御尋ネデアツタノデアリマス、此ノ點ニ

付テハ御話ノ通り昭和十七年度ニナリマス、配付税ハ相當殖エル見込ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ是モ御承知ノヤウニ市町村ト致シマシテハ或ハ府縣ト致シマシテハ、時局ニ鑑ミマシテ、非常ニ時局關係ノ支出ガ多クナツテ居ルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、委任事務ト云フヤウナモノガ非常ニ殖エテ居リマシテ、非常ニ財源ノ涸渇シテ居ルヤウナ現狀デアリマスノデ、配付税ガ來年殖エル或ハ還付税ガ或ル程度殖エマス、或ハ三收益税ノ附加税ガ殖エルト云フコトガアリマシテモ、果シテ市町村ノ財政ガ十分ニ行クカドウカト云フコトニ付キマシテハ必ズシモ樂觀ガ出來ナイ、ドウニカ斯ウニカヤツテ行クノデハナイカト云フ程度ノヤウニ吾々ハ見テ居ル狀態デアリマス、隨ヒマシテ今日ノ狀況ヲ以テ致シマスレバ、直チニ此ノ立木伐採税ヲ廢止スルト云フコトハ申上ゲ兼ネルト思フノデアリマス、唯取扱ニ付キマシテハ今申上ゲマシタヤウナ事情デアリマシテ、十分ニ注意ヲ致シマシテ扱ツテ參リタイ、斯様ニ存ジテ居リマス、

○松浦(周)委員 前段ノ次官ノ御答辯デアリマスガ、大體ニ於テ一體體制ニナルヤウニ順次機構其ノ他ニ於テヤツテ行キタイト云フ御意向デアリマシテ、表現ノ方法ハ違ヒマスガ、町村長會其ノ他雜誌ニ出テ居ルヤウナ意見ニ稍、一致スルモノデアルト私ハ思フノデアリマス、之ニ對シマシテ農林、次官ニ御問ヒ致シタイノデアリマスガ、私ノ御問ヒ致シマシタ時ノ御見解トヤハリ變ラズ、町村トドモマデモ切離シテヤツテ行クト云フ御考ヘデアリマスカ、之ヲ再度御尋ネ致シタイ

○三浦(一)政府委員 此ノ前御答辯申上ダ
タ際慎重ナ御答ヘヲ申上ダタノデアリマス、
本日モ私其ノ速記録ヲ讀ミ返シテ私ノ答辯
ノ誤ラザルコトヲ確信シテ居ルノデアリマ
スガ、此ノ前申上ダタヤウニ、松浦サシノ
御尋ネノ印象ハ、町村ノ機能ノ發揮ト農業
團體ノ機能ノ發揮ト分離シテ居ルノダト云
フコトヲ豫斷シテ居ルカノ感ヲ私ハスルノ
デス、私ハサウ云フ者ヘデハナイト前ニ申
上ダタ、ト云フノハ農業團體ハ沿革のニ相
當ナ發展ヲシテ參ツテ居ル、之ヲ而モ各種
ノ團體ガ亂立シテ居ツテ、其ノ間ノ活動ニ
齟齬ヲ來シテ居ル、而モ經費ノ點カラ云ツ
テモ或ハ人的構成カラ云ツテモ之等ヲ整理
セヨト云フコトハ多年ノ農政上ノ問題デア
リマス、ノミナラズ事變勃發以來更ニ今日
ノ大東亞戰爭ノ發展段階ニ於キマシテ、ド
ウシテモ是デハ其ノ持ツテ居ル所ノ固有ノ
機能サヘ十分ニ發揮ハ出來タデヤナイカ、
デアルカラ農業團體ノ關係者悉ク此ノ整理
統合ヲ斷行セヨト云フコトニナツタノデア
リマス、而シテ既ニ町村制アリ、同時ニ團體法
アリ、此ノ兩者ノ間ニ付キマシテハ調整ヲ取
ツテ參ラナケレバナライ、其ノ調整ヲ取
ツテ參リマス方針ニ付キマシテハ、嘗テ農業
恐慌時代ニ、即チ經濟更生運動ヲ展開シタ
際ニモ、町村ノ機能ト同時ニ産業經濟ノ方
面ヲ分擔シテ居ル農業團體ノ機能發揮ニ付
テ十分ニ連絡調整ヲシツツ、所謂全村一體
的發展ニ寄與スルヤウニ指導シテ參ツタ、
此ノ根本精神ヲ私ハ申上ダテ居ツタノデア
リマス、而シテ町村制ニ全部統合スルト云
フコトハ現段階ニ於テ到底考ヘラレスト思
フノデアリマス、而シテ現在ノ農會法ナリ
産業組合法ナリ、或ハ畜産組合法等ニ依ツ

テ居リマス各種團體ヲ統合調整シマシテ、
更ニ町村行政トノ機能ノ連絡調整ト云ヒマ
スカ、所謂全村一體の事實ヲ發揮スルト云
フコトニ付テハ、此ノ間ニ相當ノ工夫ヲ凝
ラサナケレバナラヌト云フコトヲ申上ダタ
ノデアリマシテ、私ノ御答ヘ申上ダタ根本
ノ精神ト内務次官ノ御答ヘニナツタ點ハ變
リハナイト思ヒマス、而シテ是等ハ先般來
實ハ色々ノ折衝ヲシタ経緯モアルノデアリ
マス、即チ一村一内ニ對立の關係ヲ以テ左様
テコトヲ考ヘテ居ルト云フ豫斷的ナ御質問
ハ私ノ本意デナイ、斯ウ思フノデアリマス
○松浦(周)委員 只今ノ御答辯ニ依ルト大
體御考ヘニナツテ居ル點ハ同ジヤウデアリ
マス、御二人ガスツカリ手ヲ握リ合ツテ本
當ニ一體態勢ニ上ノ方ノ指導ガナラナケレ
バナラス、同ジヤウナ意味ガ今月號ノ「自
治行政」ノ卷頭ニモ書イテアリマス、先月
ハ斯ウ云フ「パンフレット」ヲ吾々ノ手許ニ
送ツテ居リマス、ソコデ農林省ノ統制サレ
ル農會方面ノ諸團體ノ方ハ之ニ反對ノ傾向
ニ進ンデ居リマス、現ニ代議士ノ中ニ町村
長ヲヤツテ居ル方ガアリマシテ、其ノ人々
ノ御意見ヲ聽キマシテモ之ヲ立證スルコト
ガ出來ルノデアリマス、サウ云フコトデハ
本當ノ統合ハ出來ヌ、命令デ一通ニヤツテ
シマヒマシテモ斯ウ云フ二ツノ指導デ分レ
テ居ツタノデハ國家ノ爲ニ面白クナイ、ソ
コデ此ノ話ガスツカリ付クマデハ斯ウ云フ
別々ノ運動ヲシナイヤウニ、ソシテソレニ
皆ガ一體ニナツテ行ケルヤウナ氣持デ今後
御指導ヲ下サルヤウ私ハ希望ヲ申上ダテ置
クノデアリマス
モウ一點ハ此ノ法律ニ直接關係ノアル澱
粉ノ問題デアリマス、北海道ノ馬鈴薯澱粉

ノ機構ノ問題デアリマス、丁度此處ニ澱
粉方面ノ社長サンモキラウシヤルノデアリ
マスカラ、私ハ實情ヲ申上ダマシテ善處ヲ
願ヒタイト思フ、北海道ノ馬鈴薯澱粉ノ問
題ニ付キマシテハ、前ニ製粉工業組合ト云
フモノガ出來テ居リマシテ、其ノ製粉工業
組合ガ農村カラ未粉ヲ買入レテ、之ヲ製粉
シ、移出致シテ居ツタノデアリマス、所ガ
昨年ニ至リマシテ未粉業者ヲ統合スル未粉
工業組合ト云フモノガ結成サレマシタ、其
ノ未粉工業組合ハ農村ノ澱粉製造業者ヲ未
粉製造業者トシテ出來上ツテ居ルノデアリ
マス、所ガ此ノ運用ニ至リマシテ、澱粉業
者ノ方面ニハ産業組合ノ資金ヲ流用致シテ
居リマスガ、産業組合ノ資金ナント云フモ
ノハ非常ニ少イ限度シカ與ヘラレテ居ラ
ヌ、所ガ未粉業者ニシマスト數千圓若シク
ハ數萬圓ノ資金ヲ必要トスル、之ヲ産業組
合ニダケ依存シタノデハ完全ニ其ノ業務ヲ
行フコトガ出來ナイ、ソコデ製粉工業組合
ノ方ノ資金ヲ利用致シマシテ、或ハソレ
ノ持ツテ居ル倉庫ヲ利用シ、或ハソレノ持
ツテ居ル製粉工場ヲ利用致シマシテ是ガ完
成ヘ向ツテ來テ居ツタノデアリマス、ソコ
デ製粉工業組合ハ直接未粉工業組合ニ關係
スルコトガ出來ナイヤウナコトニナリマシ
テ、此ノ方ノ資金ガ打切ラレシマツタ、
ソコデ芋代金ヲ拂フコトモ出來ナケレバ、
袋代金ヲ拂フコトモ出來ナイト云フノデ、
昨年ノ年末ニ於ケル未粉業者ノ困憊ハ實ニ
其ノ極ニ達シタノデアリマス、サウシテ雪
ガ早く來マシタ關係上、北見地方ニ於テハ
摺リ殘シタ人モ少クナイノデアアル、サウ云
フコトハ非常ニ面白クナイト思フ、茲ニ二
ツノ方法ガアルヤウニ思ヒマスガ、産業組

合ヲシテ未粉業者ニ對シテハ普通ノ限度デ
ヤナシニ、何千何萬圓カノ限度ヲ決メテ、
其ノ間ニ金融ヲシテヤル方法ヲ採ル、若シ
クハ此ノ二ツノ工業組合ヲ一體化シテ、一
ツノ工業組合ニ合同サセ、ソレニ依ツテ此
ノ資金ヲ利用シ、製粉業者ノ資金ヲ利用シ、
同時ニ倉庫工場ヲ利用シ、完璧ヲ期スルヤ
ウニ行動セシメテ行カレナケレバナラス、
斯ウ云フ風ニ私ハ現在ノ實情カラ考ヘルノ
デアリマスガ、御當局ハドウ御考ヘニナリ
マセウカ
モウ一點ハ農地營園ノ北海道ニ對スル現
況デアリマス、是ハ相當各地ニ候補地モゴ
ザイマシテ、昨年來着々進ンデ居リマス
ガ、其ノ候補地ニナツテ居ル所ノ地方ノ人
人ハ自分ノ持ツテ居ル所有地ヲ買上ダテ賣
ヘル計畫ニナツテ居ルガ、今以テソレニ對ス
ル逼ビガ付カヌノデソレガ決定セラレナケ
レバ今年ノ作付ニ至ルマデ賣レルモノデア
ルカ賣レナイモノデアアルカ分ラヌ、隨テソレガ
放置サレタ儘開墾サレナイト云フ結果ニナ
ルノデアリマスガ、其ノ方面ニ對シテ現在
オヤリニナツテキラウシヤル所ヲ促進シテ
行カレルカドウカ、御考ヘヲ御尋ネシテ置
キタイト思ヒマス
○岸政府委員 北海道ノ未粉工業組合ト澱
粉工業組合ノ關係ハマダ私聞イテ居リマセ
ヌガ、サウ云フヤウナコトガアツテハ甚ダ
遺憾ノコトデアリマスルカラ、御注意ノ點
ハ取調ベマシテ善處致シマス、ソレカラ農
地開發營園ノ方ノ購入スル土地ノ決定ガ大
分遅レマシテ、北海道ナドモ冬ニ掛ツテド
ウニモナラヌ分ガアルノデアリマス、サウ
云フヤウナ關係デ遅レテ居ルノダト思ヒマ
スガ、是等ニ付キマシテモ成ベク取急イデ

決定スルヤウニ致サセマス、内地方面ニ付テハ、是ハ來年ノ増産ヲ急ゲモノデスカラ、非常ニ取急イデ、面積等モ六千町歩カラ七千町歩購入サセテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ點デ行惱ンデ居ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ善處致シマス

○三善委員長 山川君ノ質問ノ殘ツテ居ル部分ダケヲ此ノ際許シマス

○山川委員 私ハ此處デ問題ダケヲズツト述ベテ置キマスノデ、答辯ハ明日ニ廻シテ貰ヘマシタラ其ノ方宜イト思ヒマス、成ベク簡單ニ速カニヤリマスカラ、ドウゾ一ツ問題ダケヲ失ハヌヤウニ御願ヒ致シマス、私ノ御伺ヒ申シタイノハ、今日マデ年

今デモ南洋ニ參リマシテモ、佛領印度ニ參リマシテモ、作物ヲ作ルノニ肥料ヲヤツテ居リマセヌ、日本モ昔ハサウデアリマシタ、生産漸増ノ土地デアツタ、今ハ生産漸減ノ土地ニナツタノデアリマス、ソレニ對シテ肥料ヲヤラナケレバナラス、昔ハヤラナカツタ、今ハ農民ガ自ラ肥料ヲ負擔シテ、少數ノ農民ガ作ツテ多數ノ國民ヲ養ハナケレバナラス、肥料ノ力ト技術ノ進歩ニ依ツテ

デアリマスカ、最モソレハ結構ナコトデアリマス、努メナケレバナラスガ、茲ニ忘レテ居ル所ノ冬ノ休閑地ノ問題ガアルノデアリマス、夏ノ作物ハ各、甲ア作レバ乙ガ減ル、乙ア作レバ丙ガ減ル、面積的ニ相剋ガアル、ケレドモ冬ノ休閑地ヲ利用スルト云フコトニナリマシタラ其ノ相剋ハナイノデアリマス、麥ニ於テ十分ノ増産計畫ヲ圖ラレタイ、是ハ麥價ノ引上、肥料ノ配給、之ニ一ツノ力ヲ盡サレナカツタナラバ、麥ノ増産ハドウシテモ行ハレナイノデアリマス、米ノコトハ村上サニ對スル所ノ御答辯ニ依ツテ承知ヲ致シテ置クコトニ致シマス

ノ石數ヲ現ハシタノデアリマス、是ハ加里ノ缺乏デアリマス、加里ハ稻ノ節、稻ノ葉、稻ノ幹、ソレノ構造分子デアリマス、其ノ構造分子ガ細イモノガ太イモノニ包藏サレテ居ル、加里ヲ入レタナラバ其ノ構造分子ガ細カイモノガ太イモノニ出來ルヤウニナル、此ノ加里ガ缺乏シタラ如何ニシテモ秋ノ違作ハ免レナイノデアリマス、昨年ノ思ハザル所ノ秋ノ違作ハ是ガ原因デアリマス、其ノ加里ニ付テドウシタラ宜イカ、是ハ素人考ヘデハ昔カラ灰ヲ以テヤツタノデアリマスガ、今ハ外國カラ持ツテ來イト云ツタトコロデソレハ方法ハ立タナイ、ソナナ無理ハ申シマセヌケレドモ、今現ニ六大都市、日本國中ノ町ニ於テ無用ニナツテ居ル所ノ塵芥、此ノ塵芥ノ處理如何ニ依リマシテハ十分此ノ加里ヲ求メルコトガ出來ルト思フノデアリマス、此ノ方法ヲ昔ノ習慣ノ儘ノ唯燒イテ棄テシマフト云フヤリ方デナシニ、茲ニ一ツノ立派ナ所ノ組合カ統制營團ノヤウナモノデモ作り上ゲテ、一ツノ法律ヲ拵ヘテ、サウシテ日本全國ノ塵芥ヲ應用ナサツタナラバ、我國ノ肥料大ノ部分ヲ補充シ得ラレルト私ハ信ズル者デアリマス、殊ニ加里ガ百分ノ六含ンデ居ル所ノ肥料ヲ取ルコトガ出來ルノデアリマス、其ノ外窒素モ含ンデ居リマス、斯ウ云フ結構ナモノガアルノデアリマス、之ヲ忘レラレテ居ル、之ヲ甚ダ悲シム者デアリマス、尙ホ木灰デアリマスガ、此ノ木灰ヲドウ云フ風ニ集メテ居ルカ、度々ヤカマシク言ウテ都會地デモ木灰ノ問題ガ起ツテ居ル、東京市ニ於テモ灰ヲ入レル所ノ箱ガ別ニ置イテアル、私ハソコヲ箱ヲ皆蓋ヲ開ケテ見テ歩キマシタ、アレハ朝

決定スルヤウニ致サセマス、内地方面ニ付テハ、是ハ來年ノ増産ヲ急ゲモノデスカラ、非常ニ取急イデ、面積等モ六千町歩カラ七千町歩購入サセテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ點デ行惱ンデ居ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ善處致シマス

○山川委員 私ハ此處デ問題ダケヲズツト述ベテ置キマスノデ、答辯ハ明日ニ廻シテ貰ヘマシタラ其ノ方宜イト思ヒマス、成ベク簡單ニ速カニヤリマスカラ、ドウゾ一ツ問題ダケヲ失ハヌヤウニ御願ヒ致シマス、私ノ御伺ヒ申シタイノハ、今日マデ年唱ヘラレテ來マシタ増産計畫ナルモノガ毎年齟齬シテ、其ノ成績ガ擧ゲラレテ居ラス、其ノ擧ゲラレテ居ラスト云フコトハ、ドウ云フモノガドウ云フ原因デ此ノ結果ニナルカト云フコトヲ考ヘラレテ、ソレヲ次ノ増産計畫ニ盛り込マレテ居ルカドウカ、又本年ノ七千七百石ノ計畫モ、其ノ中カラ災害ガアツタラ減ルノデアル、其ノ中カラ蟲害ガアツタラ減ルノデアル、斯ウ云フ計畫デアリマスカ、昔カラ災害モアリマス、蟲害モアリマス、總テノサウ云フ臨時的ノモノハアリマシテモ、ソレヲ差引イテヤルノデアルカ、災害ノコトハ豫期スルコトガ出來ヌカラソレハ別モノデアル、七千七百石ノ中カラ減ルモノデアルト云フ御計畫デアリマスカ、其ノコトニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、之ニ付テハ最モ大切ナ問題デアリマスカラ十分ノ御研究ガ願ヒタイノデアリマス

次ニ肥料國營無料給與ノ問題デアリマス、會テ此ノコトハ唱ヘタコトガゴザイマスガ、今デモ南洋ニ參リマシテモ、佛領印度ニ參リマシテモ、作物ヲ作ルノニ肥料ヲヤツテ居リマセヌ、日本モ昔ハサウデアリマシタ、生産漸増ノ土地デアツタ、今ハ生産漸減ノ土地ニナツタノデアリマス、ソレニ對シテ肥料ヲヤラナケレバナラス、昔ハヤラナカツタ、今ハ農民ガ自ラ肥料ヲ負擔シテ、少數ノ農民ガ作ツテ多數ノ國民ヲ養ハナケレバナラス、肥料ノ力ト技術ノ進歩ニ依ツテ

ノ石數ヲ現ハシタノデアリマス、是ハ加里ノ缺乏デアリマス、加里ハ稻ノ節、稻ノ葉、稻ノ幹、ソレノ構造分子デアリマス、其ノ構造分子ガ細イモノガ太イモノニ包藏サレテ居ル、加里ヲ入レタナラバ其ノ構造分子ガ細カイモノガ太イモノニ出來ルヤウニナル、此ノ加里ガ缺乏シタラ如何ニシテモ秋ノ違作ハ免レナイノデアリマス、昨年ノ思ハザル所ノ秋ノ違作ハ是ガ原因デアリマス、其ノ加里ニ付テドウシタラ宜イカ、是ハ素人考ヘデハ昔カラ灰ヲ以テヤツタノデアリマスガ、今ハ外國カラ持ツテ來イト云ツタトコロデソレハ方法ハ立タナイ、ソナナ無理ハ申シマセヌケレドモ、今現ニ六大都市、日本國中ノ町ニ於テ無用ニナツテ居ル所ノ塵芥、此ノ塵芥ノ處理如何ニ依リマシテハ十分此ノ加里ヲ求メルコトガ出來ルト思フノデアリマス、此ノ方法ヲ昔ノ習慣ノ儘ノ唯燒イテ棄テシマフト云フヤリ方デナシニ、茲ニ一ツノ立派ナ所ノ組合カ統制營團ノヤウナモノデモ作り上ゲテ、一ツノ法律ヲ拵ヘテ、サウシテ日本全國ノ塵芥ヲ應用ナサツタナラバ、我國ノ肥料大ノ部分ヲ補充シ得ラレルト私ハ信ズル者デアリマス、殊ニ加里ガ百分ノ六含ンデ居ル所ノ肥料ヲ取ルコトガ出來ルノデアリマス、其ノ外窒素モ含ンデ居リマス、斯ウ云フ結構ナモノガアルノデアリマス、之ヲ忘レラレテ居ル、之ヲ甚ダ悲シム者デアリマス、尙ホ木灰デアリマスガ、此ノ木灰ヲドウ云フ風ニ集メテ居ルカ、度々ヤカマシク言ウテ都會地デモ木灰ノ問題ガ起ツテ居ル、東京市ニ於テモ灰ヲ入レル所ノ箱ガ別ニ置イテアル、私ハソコヲ箱ヲ皆蓋ヲ開ケテ見テ歩キマシタ、アレハ朝

鮮人カシラト思ハレルカモ知レマセケレドモ、私ハ何遍モ開ケテ見テ歩イタ、所ガ上ニ打ツテアル板ガ斯ウ云フ風ニ打ツテアルノデス、オ日様ガ當ツテ板ガ縮ンデ其ノ隙ガ二分程空イテ居ル、三枚ノ板ヲ打ツテアル、上ノ所ニ溝ガ出来テ居ル、其處ヘ降ツタ雨ガトロ／＼流レテ箱ノ上ニ落チテ、一番終ヒノ板ガ外ニ出テ居ル、デアリマスカラ灰ハ雨ノ爲ニ肝腎ナ肥料ニナル所ノ部分ハ皆流サレテシマツテ居ル、灰ハ濕ケタラ效カスト云ハレテ居ル、濕ケタラ效カナイト云フ位デスカラ、雨デ洗ハレテ居ルノデスカラ其ノ後ニ殘ルモノハ本當ノ灰粕デアリマス、アンナコトデハドウモナラヌ、三杯ノ飯ヲ戴イタラ一杯ノ灰ハ濕ラナイヤウニシテ大切ニシテ農村ノ人ニソレヲ返スト云フ觀念ガナクチヤナラヌ、米ハ唯出来テ居リハシナイ、此ノコトヲ考ヘマスノデ加里ト云フモノト塵芥ノ處理ト云フコトニ付テ十分ノ施設ガ肝腎ダト思フノデアリマス、是ハ厚生省ニ屬スル所ノ法律デアリマスケレドモ、厚生省ハ唯塵芥ノ處理ニ付テハ衛生上微菌ヲ恐レルダケノ問題カラシテ出来テ來タ所ノ規則デアリマシテ、之ヲ應用スルト云フコトニ付テハ厚生省ノ仕事デハナイノデアリマス、規則ハ厚生省ノモノデアリマスケレドモ、之ヲ應用ナサルト云フコトハ即チ農林省ノ仕事デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスカラ十分ノ御研鑽ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ其ノ次ニハ陰伐勵行ノ問題デアリマス、農村ノ山ノ谷間ニアリマス所ノ田地ニハ昔カラ蔭伐ト云フコトガアル、蔭伐トハ表ヲ五間蔭八間ト云フ習慣ガ昔カラアル、下ニ田地ガアツテ其ノ上ニ山ガアル、

山ハ田地ト別ノ所有デアリマス、同じ人ガ持つテ居ツテモ所有權ハ一個ニナツテ居ル、此ノ上ニ木ガ翳シタラ、下ニアル稻ハ出来ナイノデアリマス、下ニアル麥ハ出来ナイノデアリマス、木ヲ伐ツテ蔭ガ稻ノ上ニ蔭ラナイヤウニスルノヲ蔭伐ト言フ、ソレデ表五間、裏ハ八間、是ガ規則デアリマス、所ガ今ソレハ段々勵行シナイヤウニナツテ、木ヲ生ヤシタリ、又柿ノ木ナドノチト金ノ上ガリサウナモノハ殘シテ置クヤウナコトニナツテ來タ、ソレ以外ノ藪トカモ、溝ノ傍ニアル所ノ藪ノ如キハ、元ハ藪ガ生エテ居ラナカツタ所デモ、藪ガ段々生エテ來テ、大キナ藪ニナツテ來マシテ、藪蔭ノ田地ハスツカリ物ガ出来ナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、溝ノ傍ナリ畑ノ端ナリニハ、他所ノ樹ノ枝ガ出テ來、又自分ノ樹ノ枝モ出テ來ル、栗ノ木ナドハ此ノ木ヲ伐ツタラ惜シイ、柿ノ木ヲ伐ツタラ惜シイト云フノデ、自分ノ作ツテ居ル田地ニモ拘ラズ陰伐ヲセヌガ爲ニ、非常ニ收穫ガ減ツテ居ル、而シテ此ノ陰伐ヲ完全ニ行ハレタナラバ、一箇年恐ラク三百万石位ノ米ハ確カニ穫ルコトガ出来ルト信ジマス、私ガコンナコトヲ言ヒマスレバ、オ前ハ日本全國皆山ト思ウテ居ルノダラウト皆サン仰シヤルカモ知レマセスケレドモ、ソレハ實ニ大キナモノデアリマス、ドウカ此ノ陰伐ヲ勵行シテ、田地ニ陽ガ當ルヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマス

次ニ減反ニ對スル課税ノ問題デアリマスカ、所謂耕地ヲ潰ス者ニハ税金ヲ課セ、其ノ税金ハ生産費カラ割出シテ、生産費ノ額ニ依ツテ大キナ税金ヲ取り、其ノ取ツタル税金ヲ片方ノ開墾助成費ニ向ケテ百姓ニヤ

ル、斯ウ云フ風ニシタナラバ非常ニ好イ、是ハ土地ヲ潰サウト思フ者ニハ御機嫌ガ惡イカモ知レマセスケレドモ、現ニ一反歩カラ三石乃至三石五斗穫レル一番良イ中央ノ土地ヲ潰サレルカラ堪ラナイ、一方開墾シテ居ル所ノ田地ハ氣候ガ惡イトカ、或ハ開墾シテモ十年モシナケレバ一人前ノ田地ニナラナイ、サウ云フモノヲ片方デ拵ヘテ、上等ナ所ヲ潰シテ行クト云フノデアリマスカラ、之ニ付テハ大キナ税金ヲ取ラナケレバナラヌ、罰則ノ高額ナル所ノ課税ヲスル必要ガアルト思フノデアリマス、ドウカ御案ヲ願ヒタイノデアリマス、大藏大臣ト御相談下サイマシタナラバ、大藏省ハ之ニ付テハ大變喜ブコトダラウト思フノデアリマス

次ニ管理米ノ制度デアリマスカ、是モ會テ言ツタコトデアリマスケレドモ、玄米ダケト云フコトニセズニ、玄米モ白米モ、農林省ノ命令ニ依ツテ是ハ白米ニシテ寄コセ、斯ウ云フ風ニヤツテ貰ヒタイ、玄米ヲ何處ヘ送レト言ハズニ、白米ニシテ地元ニ糠ハ置イテ、飼料ト肥料ヲ其ノ村ニ殘シテ貰ハナケレバナラヌ、玄米デ糠ヲ持ツテ行カレテシマツテ、肥料ト飼料ノ持逃ゲヲ喰ツテハ、農村ハ是ガ爲ニ畜禽ヲ飼畜スル所ノモノモナケレバ、肥料ノ原料ヲモ失フ譯デアリマス、何卒此ノ制度ヲ設ケラレタイノデアリマス

次ニ牛乳ノ販賣デアリマス、此ノ價格ガ統制サレタサウデアリマスカ、大變安イコトニナツテ、四十七錢カニナツタサウデアリマスカ、元ハ七十五錢モ掛カルモノデアアル、是ハ山勘ガアルカドウカ知リマセヌガ、先ヅナイト思ヒマス、是ハヤカマシイコト

ニナツテ居リマス、私ハ其ノ詳細ナル所ノ表ヲ持つテ參ツテ居リマスカ、是ハ大變ナ問題デアリマス、又皆サンモヤカマシク言ハレテ居リマスアノ食牛ノ問題デアリマスカ、此ノ問題ニ付キマシテモ、殆ど牛ヲ顧ミナイ、又豚ヲ顧ミナイ、斯ウ云フ風ナ政策ヲ御執リニナツテ居ルノデアリマスカ、イケレドモ、自然ニサウ云フ風ニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、他ノ物價ハ随分上ツテ居リマスカ、農産物ダケハ惡性「インフレ」ノ爲ニイツモカモ犠牲ニナツテ、低物價政策ノ中心ノ柱トナツテ、農産物ニ限ツテソコデ辛抱シテ居レト云フコトニナツテ居リマス、是ハ洵ニ忍ビ難イコトデゴザイマスノデ、ドウカ引合フヤウニ御考ヘテ願ヒタイノデアリマス、農業保險ノ問題ハ、是ハ村上サンカラ御話ガアリマシタカラ止メマス、次ニハ統制ニ關スル組合ヤラ、統制會社ヤラ、營團ヤラノ其ノヤリ方ガ、今マデ御ヤリニナツテ居ルノガ成績ガ舉ツテ居ナイト云フコトハ、皆サンカラ言ハレテ居ルコトデアリマスカ、今更申上ゲマセヌガ、此ノ組合ヤ營團ガ澤山上カラ下マデ出来テ來マシテ、四ツトカ五ツトカ云フ中間搾取ノモノガ出来タト云フコトガ、此ノ統制ノ成績ヲ惡カラシメル本デアリマス、此ノ結果ハ所謂根本ノ生産地ニ戻ツテ來ルノデアリマスカラ、結局ハ農村ノ損失ニナルノデアリマス、サウシテ中央ニ於ケル營團トカ、或ハ縣ノ聯合ノ營團トカ、或ハ統制會社トカ云フモノガ、手數料ヲ五分以下ト云フ規定ヲ拵ヘテ居ルガ、是ハ實ハ組合ナドデ勝手ニ決メタノデアリマシテ、役員ナリ理事ガ寄ツテ決メタ、サウシテソレ以下ナラ幾ラデモ宜イト云フヤウナコト

ヲ言ウテ居ルケレドモ、コシナ大難把ナヤリ方デハ大變アリマス、一箇所五分ツツ取ラレタラ、五箇所デ二割五分ニナル、デアリマスカラ、是ハ總テノ品物ノ種類ト等級ニ依ツテ、是ハドノ位ノ手數料ヲ許ス、是ハドノ位ノ手數料ヲ許スト云フ基準ヲ農林省デ作ツテ置ク、例ヘバ米、麥、馬鈴薯、其ノ農産物ニ付テハ、是ハ千分ノ三デ宜イ、是ハ千分ノ八デ宜イ、或ハ百分ノ五デ宜イト云フ風ニ、各、基準ヲ定メテ戴キタイ、木材デ申シマス、精材ト粗材デ分ケル、杉、檜等ハ各、違フ、粗材デモ「パル」用材ト坑木用材トハ違フ、樹脂ニ付テモ松脂ト松ノ根ノ油、所謂「テレビン」油ニスルモノトハ違フ、ソレカラ雜木デモ、家庭木炭用ノ木ト、瓦斯用木炭ノ木、或ハ薪木ト云フヤウナモノハ各、違フ、ソレデアリマスカラ、是等ノモノノ中ニハ千分ノ三デモ宜イモノガアルシ、百分ノ五デモ足ラナイモノモアルノデアリマスカラ、ドウカ一ツ農林省デ基準ヲ定メテ、ソレニ依ツテ認可ヲ得サセルヤウニシテ戴キタイ、之ヲ唯五分以下ト云フコトニ決メテ置イタノデハ、ドンナコトニナルカ分ラナイ、其ノ他色々アリマスケレドモ、モウ最後ノ時間ニナリマシタシ、又皆様モ大變御迷惑デアラウト思ヒマスノデ、是デ止メマス、ドウカ然ルベク御答辯アラシコトヲ御願ヒ致シマス

シテ、將來ノ増産對策ニ資シテ居ルカドウカト云フコトガ第一點デアリマス、是ハモウ毎年ノヤウニ各地方ノ計畫ノ實行ノ狀況ヲ見マシテ、昨年ノ如キハ特ニ冷害等モアツタ譯デアリマスガ、是等ハ關係官ヲモ現地ニ派遣シマスルシ、更ニ又農林省ニハ中央技術本部ヲ置キマシテ、詳細ナル檢討ヲ致シテ居ルノデアリマス、地方ノ農事試驗場其ノ他ノ技術陣營ト相俟ツテ、齟齬シタル原因等ハ十分檢討シテ、増産對策ノ參考ニ資シ、其ノ計畫ノ齟齬ナキヲ期シテ居ル譯デアリマス、更ニ又七千百万石ノ増産目標ニ付テノ御意見ガアリマシタガ、是ハ前前カラ御説明申上ゲマシタ通り、此ノ目標ヲ以テ豫算ヲ組ミ、或ハ増産對策ノ各般ノ施策ニ遺憾ナキヲ期スルノ態勢ニ進ンデ居ルコトヲ御諒解願ヒタイト存ジマス、第二點ノ凡ニ肥料ヲ國ニ於テ生産シテ、無料給與スル意思ハナイカト云フコトデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ、肥料ノ對策ニ付キマシテハ特ニ力ヲ注イデ居リマス、即チ肥料生産力擴充計畫ヲ遂行デアルトカ、更ニ又肥料ノ輸入デアルトカ、更ニ又肥料ノ中化學肥料等ノ増産ニ付キマシテハ、多額ノ助成金等モ出シテ、其ノ確保ヲ期シテ居ルノデアリマス、更ニ又自給肥料等ニ付キマシテモ相當助成ヲ致シテ居リマシテ、今後尙ホ一層肥料對策ニ付キマシテハ、十全ヲ盡ス積リデアリマスケレドモ、國自ラ生産シテ之ヲ無料給與スルト云フ考ヘハゴザイマセヌ、ソレカラ第三ニ、休閒地ニ於ケル麥作ニ對スル肥料ノ手當ガナケレバ、到底所期ノ目的ハ達セラレナイト云フコトデアリマスガ、昨秋ノ麥ノ増産ニ付キマシテハ、所要ノ手當ヲ致シテヤツタ譯デアリ

マス、今秋ノモノニ付キマシテモ、我が國ノ南洋方面カラ取リマス過磷酸デアルトカ、其ノ方ニ十全ヲ盡シ、尙ホ一層ノ手當ヲ致シタイト考ヘマス、其ノ次ノ肥料對策ノ中塵芥處理ト加里ノ問題ニ付テノ御質疑デアリマシタ、塵芥ニ付キマシテハ、御指摘ノヤウニ、厚生省ノ援助モ借リマシテ、此ノ塵芥等ノ處理ニ付キマシテ相當便宜ヲ圖ルコト云フコトニ致シテ居リマス、只今各地方ノ團體等ヲモ總動員致シマシテ、自給肥料ノ増産ニ付テハ、此ノ方面ニモ手ヲ加ヘテ進ンデ居リマス、同時ニ又木灰ノ利用ニ付キマシテハ、帝國農會等ヲ總動員致シマシテ、相當ノ回收利用ノ方法モ講ジテ居ル譯デアリマス、同時ニ、先程申上ゲマシタ通り、自給肥料増産ノ施設ヲモ講ジテ居ルコトモ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、加里ニ付キマシテハ、零デハゴザイマセヌ、數、パーセントハ供給シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、從前ト比ベマスと數量ノ減ツタコトハ洵ニ遺憾デアリマスガ、何等放置シテ居ル譯デアリマセヌノデ、苦汁加里等ハ努メテ増産ヲシテ居ル次第デアリマシテ、是ハ取得次第地方ニ配布シテ居ル次第デアリマス、次ニ加里資源ノ開發ニ付キマシテハ、乏シイ資源デアリマスケレドモ、内地ノ資源、更ニ朝鮮等ノ外地ニ於ケル資源ノ開發等ニモ手ヲ盡シテ居リマス、加里資源ハ共榮圈ニハ乏シイノデアリマスケレドモ、尙ホ滿洲、支那等ニモ絶無デアリマセヌノデ、此ノ方面ニモ相當遠大ナル計畫ヲ以テ資源ノ探究ヲシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、其ノ次ノ増産ノ障礙ニナル陰樹伐採ノ獎勵ニ付テノ御意見デアリマスガ、此ノ前ニモ大臣ガ御答辯ヲ申上ゲタ通り

ニ、獎勵ヲシテ參リタイト考ヘマス、ソレカラ減反シタル者ニ對シテ高稅ヲ課スル考ヘハナイカト云フコトデアリマスガ、課稅ノ問題デアリマスカラ、農林省トシマシテハ尙ホ關係當局ト相談シナケレバナラヌ譯デアリマスガ、唯農業生産ヲ維持スルト云フ觀點カラ見マスルト、農地管理令等モアリマスルシ、是等ニ依ツテ寧ろ農村ノ實情ニ適シタ指導方針ヲ以テ進ミタイト考ヘマス、其ノ次ハ牛乳販賣價格ノ問題デアリマスガ、是ハ先程農政局長カラ御答辯申上ゲマシタ通り、具體的ナ實情ヲ取調ベマシテ改善是正ニ努メテ參リタイト思ヒマス、最後ニ國策會社ノ手數料ノ問題デアリマスガ、是等ハ各事情ニ應ジマシテ手數料ヲ定メテ居ル譯デアリマスガ、勿論大臣モ度々申上ゲマシタ通り、業務ノ改善刷新ニ付キマシテハ、隨時其ノ實情ニ應ジテ改善シテ參リマスカラ、具體的ニ調査研究ノ上ニ善處シタイト考ヘマス

○山川委員 管理米ノ玄白併用ノ問題ハドウデゴザイマスガ、ソレハ考ヘテ戴ケマスカ

○湯河政府委員 政府米ヲ買上ゲマス時ニ、白米デ外ヘ持出スヤウナコトヲ致シマシテ、糠ヲ殘スト云フコトハ、此ノ間大臣カラモ御答ヘガアリマシタヤウニ、地方ノ實情ニ即應致シマスヤウニ處置致シマス

○三善委員長 大體質疑ハ是ニテ終ルコトニ致シマシテ、簡單ナ御質疑ニ對シマシテハ、或ハ討論ニ入ル前ニ御許シテ致シタイト思ヒマス、尙ホ綜合的ニ御聽キシタイト云フヤウナコトガアリマスレバ、委員長ニ於テ一括シテ御聽キスルコトニ致シマシテ、大體ノ質疑ハ本日ヲ以テ終了スルコト

ニ致シテ置キマス、左様御承知ヲ願ヒマス、
次回ハ公報ヲ以テ御通知スルコトニ致シマ
ス、本日ハ是ニテ散會スルコトニ致シマス
午後六時散會

昭和十七年一月三十一日印刷

昭和十七年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局